

タイプVT

VK24V/TA-J、VK24W/TA-J、VK24X/TA-J、VK24Y/TA-J
VJ24V/TA-J、VJ24X/TA-J

活用ガイド

Windows 8.1 Pro Update 32ビット
Windows 8.1 Update 32ビット

■ はじめに..... 6	■ メンテナンスと管理..... 233
本マニュアルの表記や、商標などの情報を記載しています。 最初にご覧ください。	本機の内蔵フラッシュメモリのメンテナンス方法やバックアップ環境の構築などについて記載しています。
■ 本機の機能..... 28	■ 別売のOSを利用する..... 238
本機の各部の名称やインターフェイスについて記載しています。	本機で別売のOSを利用する場合にご覧ください。
■ システム設定..... 183	■ トラブルの予防と解決のヒント..... 240
本機のBIOSセットアップユーティリティの使い方、設定項目一覧などを記載しています。	トラブルの予防や解決のヒントについて記載しています。
■ 便利な機能とアプリケーション..... 200	■ トラブル解決Q&A..... 252
本機にインストール、また添付されているアプリケーションの概要やインストール、アンインストール方法について記載しています。	本機をお使いになっているときのトラブル事例や解決法について記載しています。
	■ アフターケア、改造について..... 370
	本機のアフターケアやサポートに関する注意事項について記載しています。
	■ 譲渡、廃棄について..... 377
	本機の譲渡、廃棄時の注意事項について記載しています。
	■ 仕様一覧など（タイプ別仕様詳細）..... 384
	Webにて、仕様などの情報を公開しています（インターネットへの接続環境が必要です）。

はじめに	6	マウスを使用する.....	79
はじめに.....	7	液晶ディスプレイ	81
本マニュアルの表記について.....	8	使用上の注意.....	82
タッチキーボードについて.....	10	画面表示の調整.....	83
「ユーザー アカウント制御」について.....	11	画面の回転.....	85
基本操作.....	12	ディスプレイストレッチ機能.....	86
サポート技術情報について.....	14	外部ディスプレイ	88
ご注意.....	15	使用上の注意.....	89
Windows 8.1の画面操作について	17	microHDMIコネクタ.....	90
チャーム（チャーム バー）.....	18	外部ディスプレイ接続時の表示機能.....	92
アプリ バー、ナビゲーション バー.....	20	表示先、表示機能の設定.....	93
画面やアプリを切り替える.....	22	ディスプレイに合わせた設定.....	96
2つのアプリを並べて表示する.....	25	Webカメラ	98
アプリを終了する.....	26	Webカメラについて.....	99
本機の機能	28	内蔵フラッシュメモリ	100
各部の名称	29	使用上の注意.....	101
各部の名称と説明.....	30	内蔵フラッシュメモリのメンテナンス.....	102
電源	35	microSDメモリーカードスロット	104
電源の入れ方と切り方.....	36	使用上の注意.....	105
電源の状態.....	38	セットのしかた／取り出し方.....	107
スリープ状態／休止状態使用上の注意.....	39	サウンド機能	109
スリープ状態.....	41	音量の調節.....	110
休止状態.....	44	マイクの設定.....	112
電源の設定.....	45	LAN機能	113
電源の自動操作.....	48	本機を安全にネットワークに接続するために.....	114
省電力機能	49	使用上の注意.....	116
省電力機能について.....	50	LANへの接続.....	117
Intel SpeedStep® テクノロジー.....	51	LAN機能の設定.....	119
バッテリー	52	無線LAN機能	121
バッテリー（二次電池）について.....	53	概要.....	122
使用上の注意.....	54	本機を安全にネットワークに接続するために.....	124
バッテリーの充電.....	55	無線LAN製品ご使用時におけるセキュリティに関	
バッテリーの使い方と設定.....	56	するご注意.....	126
バッテリー診断ツール.....	58	使用上の注意.....	128
タッチパネル	60	無線LAN機能のオン／オフ.....	130
使用上の注意.....	61	無線LANの設定と接続.....	132
タッチパネルでの操作方法.....	62	無線LANに関する用語一覧.....	138
タッチパネルの設定.....	64	モバイルブロードバンド	141
タッチパネルでの文字入力.....	66	概要.....	142
デジタイザーペンについて.....	67	使用上の注意.....	143
キーボード	68	モバイルブロードバンドを使用する準備.....	144
各部の名称と役割.....	69	モバイルブロードバンドのオン／オフ.....	146
キーの名称.....	73	接続とセキュリティ.....	148
キーの使い方.....	75	USBコネクタ	153
キーボードの設定.....	77	使用上の注意.....	154
マウス	78	USB機器の取り付け／取り外し.....	156

Bluetooth機能	157	トラブル解決Q&A	252
概要.....	158	電源	253
セキュリティに関するご注意.....	160	はじめに確認してください.....	254
使用上の注意.....	161	電源が入らない.....	255
Bluetooth機能の設定と接続.....	163	ディスプレイに何も表示されない.....	256
Bluetooth機能のオン/オフ.....	167	Windowsが起動しない.....	258
セキュリティ機能	169	「自動修復」画面が表示された.....	259
セキュリティ機能について.....	170	「パスワードが正しくありません。入力し直して	
スーパバイザパスワード.....	171	ください。」と表示された.....	260
I/O制限.....	172	パスワードを忘れてしまった.....	261
指紋認証機能.....	173	電源が切れない.....	262
DEP (Data Execution Prevention) 機能.....	176	自動的にスリープ状態にならない.....	264
暗号化ファイルシステム (EFS).....	177	スリープ状態または休止状態から復帰しようと	
ウイルス検出・駆除.....	178	したらWindowsのサインイン画面が表示された.....	265
NFCポート.....	179	スリープ状態から復帰できない、復帰に	
システム設定	183	失敗した.....	266
BIOSセットアップユーティリティについて	184	休止状態にできない.....	267
BIOSセットアップユーティリティの起動.....	185	休止状態から復帰できない、復帰に失敗した.....	268
BIOSセットアップユーティリティの基本操作.....	186	Windowsの電源設定ができない.....	269
BIOSセットアップユーティリティの終了.....	187	本機を一定時間放置すると、スリープ状態になっ	
工場出荷時の設定値に戻す.....	189	てしまう.....	270
設定項目一覧	191	デタッチャブルキーボードやUSBマウスでスリープ状	
「Main」メニュー.....	192	態から	
「Config」メニュー.....	193	復帰する／しないを設定したい.....	271
「Security」メニュー.....	194	バッテリー	272
「Startup」メニュー.....	197	タスク バーの通知領域に電源アイコンが表示さ	
システム管理の使用.....	199	れない.....	273
便利な機能とアプリケーション	200	タッチパネル	274
アプリケーションの種類と機能.....	201	タッチした位置と反応する位置がずれる、タッチパネ	
アプリケーションのインストール/アンインストールに		ルに反応しない領域がある.....	275
ついて.....	202	マウス	276
Office Home and Business 2013.....	204	はじめに確認してください.....	277
Access Connections.....	209	マウスを動かしても、何も反応しない.....	278
Adobe Reader.....	214	マウスの動きが悪い.....	279
画面表示設定切替ツール.....	217	表示	280
mazec for Windows日本語版.....	220	はじめに確認してください.....	281
フリック入力補助ツール.....	222	電源を入れてしばらくすると、画面が真っ暗に	
拡張ディスプレイ操作ツール.....	225	なる.....	282
マカフィー リブセーフ.....	227	表示できるはずの高解像度を選択できない.....	283
メンテナンスと管理	233	ディスプレイに何も表示されない.....	284
内蔵フラッシュメモリのメンテナンス.....	234	画面が回転しない.....	286
お手入れについて.....	236	画面の色調を調整したい.....	287
別売のOSを利用する	238	再生中の動画がとぎれる、なめらかに再生され	
別売のOSを利用する.....	239	ない.....	288
トラブルの予防と解決のヒント	240	動画の再生中に画面が消えてしまう.....	289
トラブルの予防.....	241	画面の表示位置やサイズがおかしい.....	290
ウイルスから守る.....	243	外部ディスプレイで画面が流れるように表示さ	
トラブル発生に備えて.....	245	れる.....	291
解決のヒント.....	246	HDMI接続したテレビや外部ディスプレイに映像	
Windowsヘルプの紹介.....	249	が表示されない.....	292

microHDMIでテレビに接続すると、画面の周りがはみ出してしまい、表示されない部分がある.	293	別売の周辺機器を取り付けたが動作しない、周辺機器を取り付けたら本機が起動しなくなった、他の機能が使えなくなった.	340
デスクトップ上のアイコンの名前が隠れてしまう	294	周辺機器のドライバをインストールできない、ドライバを更新できない.	343
文字入力.	295	Bluetooth機能.	344
はじめに確認してください.	296	はじめに確認してください.	345
キーボードのキーを押しても、何も反応しない.	297	NFCポート.	347
記号などで入力できない文字がある.	298	NFC対応カード、またはNFC対応機器をかざしても何も反応しない、データを読み取れない.	348
別売のキーボードを接続したが、キーを押しても反応しない。使えないキーがある.	299	指紋センサ.	349
ファイル保存.	300	指紋登録ができない.	350
内蔵フラッシュメモリに保存できない.	301	照合でエラーとなる.	351
LAN機能.	302	認証がスムーズにいかない、照合結果にムラがある	352
はじめに確認してください.	303	アプリケーション.	353
ネットワークに接続できない.	304	はじめに確認してください.	354
ドライブやフォルダが共有できない.	305	表示されなくなった、動作が遅い、動かなくなる	355
動作が不安定になった.	308	ことがある.	356
無線LAN機能.	309	アプリケーションをインストールできない.	357
はじめに確認してください.	310	アプリケーションを強制的に終了させたい.	357
通信ができない.	311	アプリケーションが本機で利用できるか	358
通信がとぎれる、または通信速度が遅い.	312	知りたい.	358
「ネットワーク」で相手のコンピュータが表示されない.	314	使用しているWindowsへの対応が明記されていないWindows用アプリケーションを使用したい.	359
「ネットワーク」上のコンピュータのアイコンをダブルクリックしても内容が表示されない.	315	Internet Explorerや関連製品に関するサポート技術情報について知りたい.	360
接続している無線LANアクセスポイントから、いつのまにか切断されてしまう.	316	Internet Explorerが起動しない.	361
モバイルブロードバンド.	317	再セットアップ.	362
はじめに確認してください.	318	「再セットアップをすることはできません。」と表示される.	363
通信ができない.	319	再セットアップが終了しない.	364
サウンド.	321	その他.	365
はじめに確認してください.	322	日付や時刻が正しく表示されない.	366
音が出ない.	323	クリップなどの異物が本体内部に入ってしまった.	367
HDMI接続した機器から音声が出力されない.	324	本機が動かなくなった（フリーズした）.	368
印刷.	326	マニュアルをなくしてしまった.	369
はじめに確認してください.	327	アフターケア、改造について.	370
プリンタから印刷が正しくできない.	328	保守サービスについて.	371
PDF形式のマニュアルがうまく印刷できない.	329	添付品の再入手方法について.	372
内蔵フラッシュメモリ.	330	消耗品と有寿命部品について.	373
内蔵フラッシュメモリに障害が起きた.	331	24時間以上の連続使用について.	375
内蔵フラッシュメモリに保存できない.	332	本製品の改造、修理について.	376
内蔵フラッシュメモリの空き領域が足りない.	333	譲渡、廃棄について.	377
領域作成できる容量が、カタログなどに記載されている値より少ない.	334	本製品の譲渡について.	378
複数のパーティションを利用したい.	335	本製品の廃棄方法について.	379
内蔵フラッシュメモリをメンテナンスする方法を知りたい.	337	パソコンの廃棄・譲渡時の内蔵フラッシュメモリ上のデータ消去に関するご注意.	380
周辺機器.	338	ハードディスクのデータ消去.	381
はじめに確認してください.	339		

仕様一覧など（タイプ別仕様詳細）	384	仕様一覧など（タイプ別仕様詳細）	385
----------------------------	-----	----------------------------	-----

[010000-28]

➤ はじめに.....	7
➤ 本マニュアルの表記について.....	8
➤ タッチキーボードについて.....	10
➤ 「ユーザー アカウント制御」について.....	11
➤ 基本操作.....	12
➤ サポート技術情報について.....	14
➤ ご注意.....	15
➤ Windows 8.1の画面操作について.....	17

はじめに

[010001-00]

本マニュアルには、本機の機能についての説明、添付またはインストールされているアプリケーションの情報、トラブル発生時などの対応方法を記載したQ&A、アフターケアやサポートに関する情報など、本機を利用する上での情報が記載されています。

本マニュアルは、Windowsの基本的な操作がひと通りでき、アプリケーションなどのヘルプを使って操作方法を理解、解決できることを前提に本機固有の情報を中心に記載されています。

もし、あなたがコンピュータに初めて触れるのであれば、上記の基本事項を関連説明書などでひと通り経験してから、本マニュアルをご利用になることをおすすめします。

本機の仕様、アプリケーションについては、お客様が選択できるようになっているため、各モデルの仕様にあわせてお読みください。

仕様についての詳細は、下記のリンクよりお使いのモデルの「仕様一覧」をご覧ください。

<http://121ware.com/e-manual/m/nx/ac/201405/bios/v1/mst/index.html>

本マニュアルの表記について

[010003-28]

本マニュアルで使用しているアイコンや記号、アプリケーション名などの正式名称、表記について、下記をご覧ください。

■ 本マニュアルで使用しているアイコンの意味

アイコン	意味
 チェック	してはいけないことや、注意していただきたいことを説明しています。よく読んで注意を守ってください。場合によっては、作ったデータの消失、使用しているアプリケーションの破壊、パソコンの破損の可能性があります。
 メモ	利用の参考となる補足的な情報をまとめています。
 参照	マニュアルの中で関連する情報が書かれているところを示しています。

■ 本マニュアルで使用しているアプリケーション名などの正式名称

本文中の表記	正式名称
Windows、Windows 8.1	次のいずれかを指します。 ● Windows 8.1 Pro Update 32ビット ● Windows 8.1 Update 32ビット
Windows 8.1 Pro、Windows 8.1 Pro 32ビット	Windows 8.1 Pro Update 32ビット
Windows 8.1 32ビット	Windows 8.1 Update 32ビット
Internet Explorer、Internet Explorer 11	Internet Explorer 11
Microsoft IME	Microsoft® IME 2012
Windows Media Player	Microsoft® Windows Media® Player 12
Office Home and Business 2013	Microsoft Office Home and Business 2013
マカフィー リブセーフ	McAfee LiveSafe™
Adobe Reader	Adobe® Reader® XI

■ 本マニュアルで使用している表記の意味

本文中の表記	意味
--------	----

本機、本体	本マニュアルの対象機種を指します。 特に周辺機器などを含まない対象機種を指す場合、「本体」と表記します。
モバイルブロードバンドモデル	docomo LTE「Xi（クロッシィ）」に接続可能なモバイルブロードバンドが搭載されているモデルを指します。
ワイヤレス機能	無線LAN機能、Bluetooth機能、モバイルブロードバンドを指します。ご購入時に選択したモデルによって異なります。
NFC対応モデル	「NFCポート」が搭載されているモデルを指します。
内蔵指紋センサ（ライン型）モデル	内蔵指紋センサ（ライン型）が搭載されているモデルを指します。
Office Home and Business 2013モデル	Office Home and Business 2013のセットアップ モジュールがあらかじめインストールされているモデルを指します。
アプリケーションディスク	本機に添付されているアプリケーションを格納したディスクを指します。
SDカード、SDメモリーカード	「microSDメモリーカード」、「microSDHCメモリーカード」、「microSDXCメモリーカード」を指します。特定のSDカードを指す場合、個別に記載します。
BIOSセットアップユーティリティ	本文中に記載されているBIOSセットアップユーティリティは、画面上では「System Setup」または「Setup」と表示されます。
「コントロール パネル」を表示し、「システムとセキュリティ」→「管理ツール」→「システム情報」	「コントロール パネル」を表示し、「システムとセキュリティ」→「管理ツール」→「システム情報」を順にクリックする操作を指します。
チャーム バー	チャームの載った右端から表示されるバーを指します。
【 】	【 】で囲んである文字はキーボードのキーを指します。 【Ctrl】 + 【Y】と表記してある場合、Tablet PC 入力パネルでは【Ctrl】をクリックし、続けて【Y】をクリックすることを指します。 デタッチャブルキーボードでは【Ctrl】キーを押したまま【Y】キーを押すことを指します。
『 』	『 』で囲んである文字は、マニュアルの名称を指します。

■ 本マニュアルで使用している画面、記載内容について

- 本マニュアルに記載の図や画面は、モデルによって異なることがあります。
- 本マニュアルに記載の画面は、実際の画面とは多少異なることがあります。

タッチキーボードについて

[010002-08]

次の方法でタッチキーボードを表示できます。

■ タッチキーボードを表示する

1 チャーム バーを表示し、「設定」をクリック

2  をクリック

タッチキーボードが表示されます。

「ユーザー アカウント制御」について

[010005-08]

アプリケーションを表示したり、本機を操作したりしているときに「ユーザー アカウント制御」画面が表示されることがあります。

「ユーザー アカウント制御」は、コンピュータウイルスなどの「悪意のあるソフトウェア」によって、本機のシステムに影響を及ぼす可能性のある操作が行われるのを防ぐため、これらの操作がユーザーが意図して行った操作によるものかを確認するためのものです。

「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、表示された内容をよく確認し、操作を行ってください。



チェック

「ユーザー アカウント制御」画面で管理者（Administrator）権限を持つユーザーのパスワード入力が求められる場合があります。その場合は、画面の内容を確認し入力を行ってください。

基本操作

[010006-08]

➤ アプリ画面の開き方.	12
➤ コントロール パネルの開き方.	12
➤ デバイス マネージャの開き方.	12

アプリ画面の開き方

メールやフォトなどのアプリを使用するときは、はじめにアプリ画面を表示します。

タッチ操作の場合

1 スタート画面を上をスライド、またはスタート画面にあるをタップ

アプリ画面が表示されます。



メモ

デスクトップ画面からは、「スタート」ボタン () をタップしてスタート画面を表示させてから、上の操作を行ってください。



参照

タッチパネルの操作について

「本機の機能」 - 「タッチパネル」 - 「[タッチパネルでの操作方法 \(P. 62\)](#)」

コントロール パネルの開き方

コントロール パネルは、Windowsの各機能や画面の表示のしかた、アプリケーションのインストール／アンインストールなど、さまざまな設定ができます。

1 スタート画面から「デスクトップ」をクリック

2 デスクトップでチャーム バーを表示し、「設定」をクリック

3 「コントロール パネル」をクリック

コントロール パネルが表示されます。

デバイス マネージャの開き方

デバイス マネージャは、本機を構成している部品やディスプレイなどの周辺機器が正常に認識されていることを確認したり、ドライバの更新をしたりすることができます。

1 スタート画面から「デスクトップ」をクリック

2 デスクトップでチャーム バーを表示し、「設定」をクリック

3 「コントロール パネル」をクリック

コントロール パネルが表示されます。

4 「システムとセキュリティ」をクリック

5 「システム」をクリック

6 「デバイス マネージャー」をクリック

「デバイス マネージャー」が表示されます。

サポート技術情報について

[010007-00]

マイクロソフトで確認された問題の説明や解決方法がサポート技術情報として公開されています。

サポート技術情報を参照するには、「マイクロソフト サポート」にアクセスし該当する文書番号を入力して検索してください。

マイクロソフト サポート

<http://support.microsoft.com/>



チェック

サポート技術情報のタイトルや内容は変更される場合があります。

ご注意

[010004-28]

1. 本マニュアルの内容の一部または全部を無断転載することは禁じられています。
2. 本マニュアルの内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
3. 本マニュアルの内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、ご購入元、または121コンタクトセンターへご連絡ください。
4. 当社では、本装置の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、3項にかかわらずいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
5. 本装置は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みや制御等の使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本装置を使用され、人身事故、財産損害などが生じて、当社はいかなる責任も負いかねます。
6. 海外における保守・修理対応は、海外保証サービス [UltraCareサービス] 対象機種に限り、当社の定めるサービス対象地域から日本への引取修理サービスを行います。
サービスの詳細や対応機種については、以下のホームページをご覧ください。

<http://121ware.com/navigate/rescue/ultracare/jpn/index.html>

7. 本機の内蔵フラッシュメモリにインストールされているWindowsは本機でのみご使用ください。また、本機に添付の「再セットアップ用メディア」は、本機のみでしかご使用になれません（詳細は「ソフトウェアのご使用条件」および「ソフトウェア使用条件適用一覧」をお読みください）。
8. ソフトウェアの全部または一部を著作権者の許可なく複製したり、複製物を頒布したりすると、著作権の侵害となります。
9. ハードウェアの保守情報をセーブしています。
10. 本製品には、Designed for Windows[®] programのテストにパスしないソフトウェアを含みます。
11. 本マニュアルに記載されている内容は制作時点のものです。お問い合わせ先の窓口、住所、電話番号、ホームページの内容やアドレスなどが変更されている場合があります。あらかじめご了承ください。

■ 輸出に関する注意事項

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様であり、外国の規格等には準拠していません。

本製品を日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。

また、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポート等はありません。（ただし、海外保証サービス [UltraCareサービス] 対象機種については、日本への引取修理サービスを実施致します。）

本製品の輸出（個人による携行を含む）については、外国為替及び外国貿易法に基づいて経済産業省の許可が必要となる場合があります。

必要な許可を取得せずに輸出すると同法により罰せられます。

輸出に際しての許可の要否については、ご購入頂いた販売店または当社営業拠点にお問い合わせください。

■ Notes on export

This product (including software) is designed under Japanese domestic specifications and does not conform to overseas standards.

NEC^{*1} will not be held responsible for any consequences resulting from use of this product outside Japan.

NEC^{*1} does not provide maintenance service or technical support for this product outside Japan. (Only some products which are eligible for Ultracare Services can be provided with acceptance service of repair inside Japan.)

Export of this product (including carrying it as personal baggage) may require a permit from the Ministry of Economy, Trade and Industry under an export control law. Export without necessary permit is punishable under the said law.

Customer shall inquire of NEC sales office whether a permit is required for export or not.

*1:NEC Personal Computers, Ltd.

* * *

Microsoft、Windows、Internet Explorer、Windows MediaおよびWindowsのロゴは、米国 Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Windowsの正式名称は、Microsoft Windows Operating Systemです。

インテル、Intel、Intel SpeedStep、インテル Coreはアメリカ合衆国およびその他の国におけるインテルコーポレーションまたはその子会社の商標または登録商標です。

McAfee、マカフィーは、米国法人McAfee, Inc.またはその関係会社の米国またはその他の国における登録商標または商標です。

Adobe、およびReaderは合衆国およびその他の国におけるAdobe Systems Incorporatedの商標または登録商標です。Bluetoothワードマークとロゴは、Bluetooth SIG, Inc.の所有であり、NECパーソナルコンピュータはライセンスに基づきこのマークを使用しています。

HDMI、High-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLCの商標または登録商標です。

Wi-Fi、Wi-Fi Alliance、Wi-Fiロゴ、Wi-Fi CERTIFIEDロゴ、Wi-Fi CERTIFIED、WPAおよびWPA2は、Wi-Fi Allianceの商標または登録商標です。

Access Connectionsは、米国とその他の国々のいずれかまたはその両方におけるLenovoの商標です。

「Xi」、「Xi/クロッシィ」および「Xi」ロゴは、株式会社NTTドコモの商標または登録商標です。

その他、本マニュアルに記載されている会社名、商品名は各社の商標または登録商標です。

© NEC Personal Computers, Ltd. 2016

NECパーソナルコンピュータ株式会社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。

Windows 8.1の画面操作について

[010100-08]

Windows 8.1のスタート画面やアプリの画面での基本操作などを紹介します。

➤ チャーム（チャーム バー）	18
➤ アプリ バー、ナビゲーション バー	20
➤ 画面やアプリを切り替える	22
➤ 2つのアプリを並べて表示する	25
➤ アプリを終了する	26

チャーム (チャーム バー)

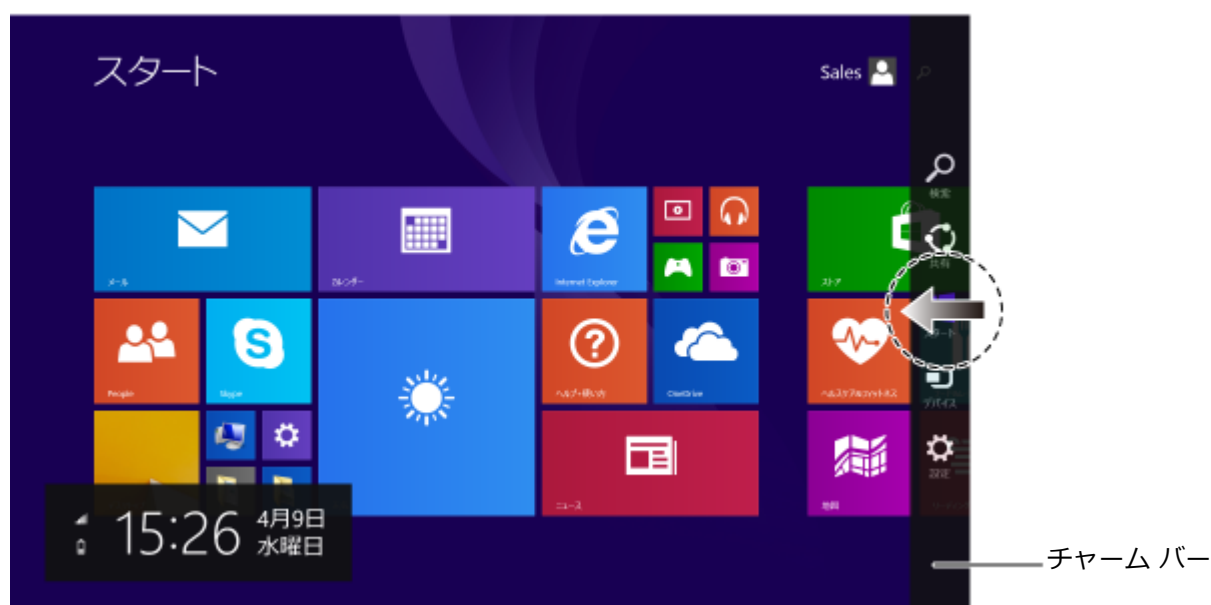
[010101-28]

チャーム バーは、よく使う機能を集めたメニューです。表示しているアプリに応じて、いろいろな機能を利用できます。

チャーム バーを表示する

タッチ操作の場合

チャーム バーを表示するには、画面の右端から、左にスワイプします。



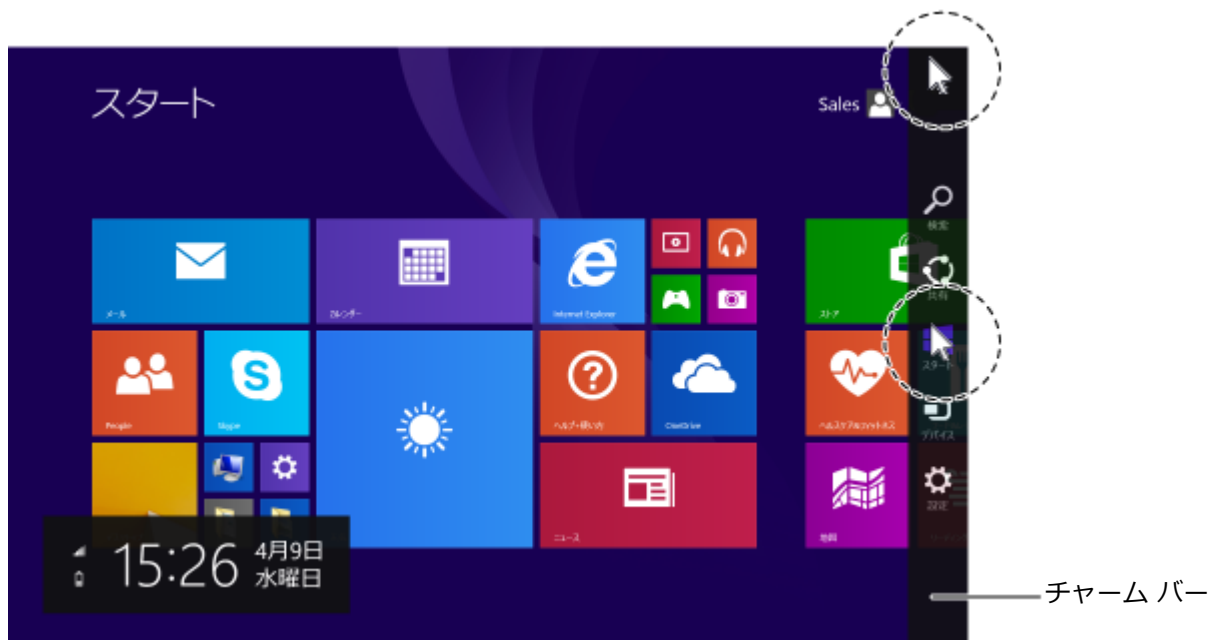
参照

タッチパネルの操作について

「本機の機能」 - 「タッチパネル」 - 「タッチパネルでの操作方法 (P. 62)」

マウス操作の場合

チャーム バーを表示するには、右上の隅にマウスポインタを合わせ、下に動かします。



メモ

チャーム バーを表示すると、画面の左下に次の情報も表示されます。

- 時間・日付
- ネットワーク状態（電波強度など）
- バッテリーの残量（バッテリー使用時）

チャーム バーのアイコン

アイコン	説明
	検索とアプリの表示に使います。検索対象はアプリによって変わります。
	ファイルや情報を他のアプリで利用するときに使います。
	スタート画面を表示します。
	他の機器にデータを送ります。印刷するときなどに使います。
	表示しているアプリの設定を行います。スタート画面では「Windows 全般の設定」ができます。

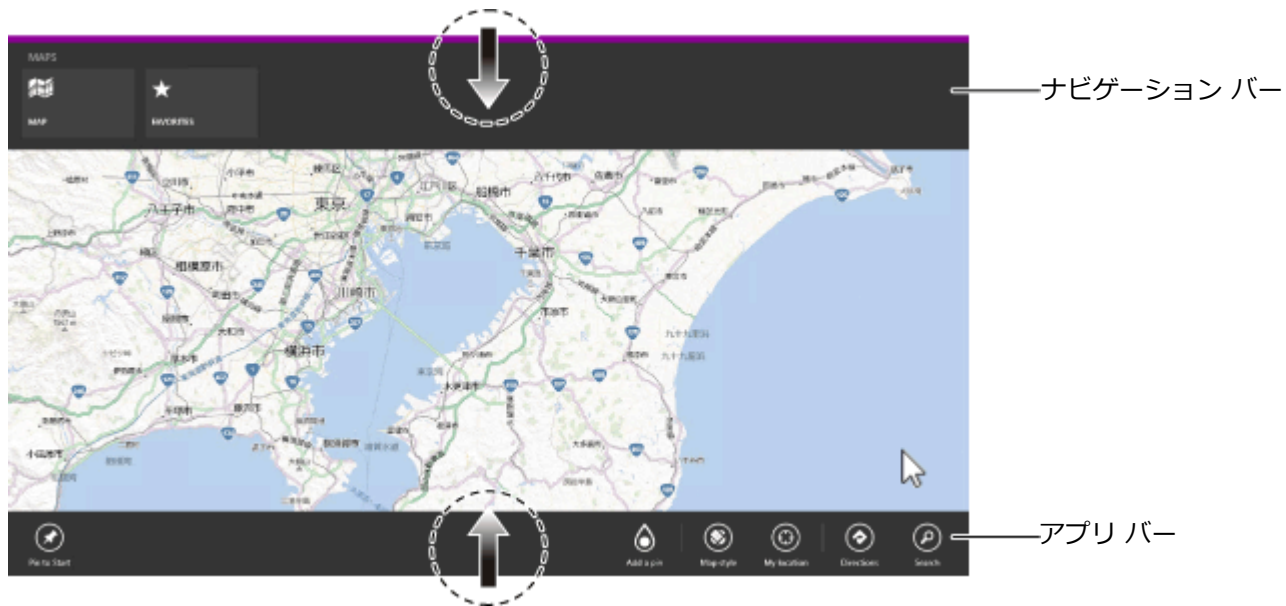
アプリ バー、ナビゲーション バー

[010102-28]

アプリ バーとナビゲーション バーは、表示しているアプリに対してさまざまな操作を行うためのバーです。アプリ バーは画面下側に、ナビゲーション バーは画面上側に表示され、それぞれが表示されるかどうかはアプリによって異なります。表示されるメニューや機能はアプリの状況により変化します。

タッチ操作の場合

アプリ バーやナビゲーション バーを表示するには、アプリの画面の上端または下端から内側へスワイプします。



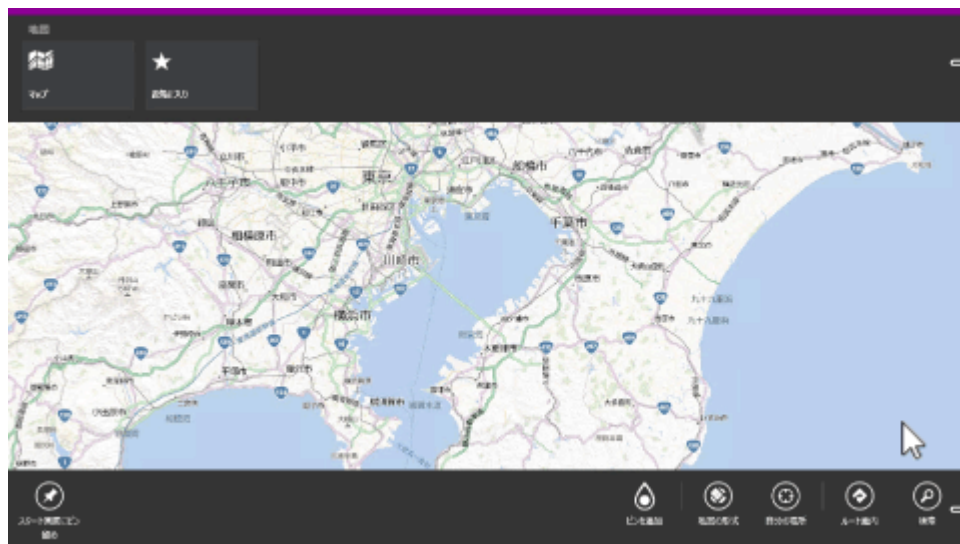
参照

タッチパネルの操作について

「本機の機能」 - 「タッチパネル」 - 「[タッチパネルでの操作方法 \(P. 62\)](#)」

マウス操作の場合

アプリ バーやナビゲーション バーを表示するには、アプリの画面の任意の位置でマウスを右クリックします。



ナビゲーションバー

アプリバー

画面やアプリを切り替える

[010103-28]

Windows 8.1では、いろいろなアプリを切り換えて使うことができます。
ここでは画面やアプリの切り換えの主な方法を紹介します。

最近使用したアプリを順番に切り替える

二つのアプリを切り替えるときに便利です。

タッチ操作の場合

画面の左端から右へスワイプします。スワイプするたびにアプリが順番に切り換わります。



参照

タッチパネルの操作について

「本機の機能」 - 「タッチパネル」 - 「タッチパネルでの操作方法 (P. 62)」

マウス操作の場合

左上の隅にマウスポインタを合わせてクリックします。クリックするたびにアプリが順番に切り換わります。



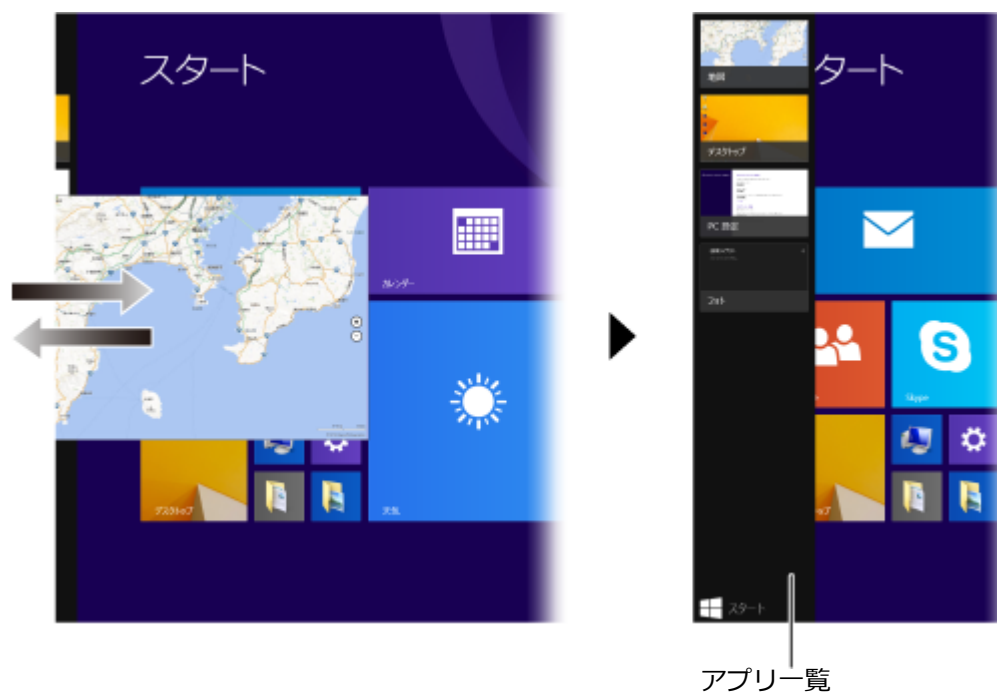
最近使用したアプリをアプリ一覧から選ぶ

二つ以上のアプリを使用していて、特定のアプリに切り替えたいときに便利です。

タッチ操作の場合

最近使用したアプリの一覧を表示するには、画面の左端から右へスライドし、一旦指をとめ、そのまま画面から離さずに左端へ戻します。

最近使用したアプリをアプリ一覧にあるサムネイル（縮小画像）から選びます。



参照

タッチパネルの操作について

「本機の機能」 - 「タッチパネル」 - 「タッチパネルでの操作方法 (P. 62)」

マウス操作の場合

最近使用したアプリの一覧を表示するには、左上の隅にマウスポインタを合わせ、下に動かします。
最近使用したアプリをアプリ一覧にあるサムネイル（縮小画像）から選びます。



2つのアプリを並べて表示する

[010104-28]

2つのアプリを、画面の左右に並べて表示できます。これを「スナップする」といいます。
境界線をスライド（またはドラッグ）すると、画面の分割位置を変えるなどの調整ができます。

2つの画面にする

2つの画面にするには、アプリのサムネイルを画面の左に表示（「[最近使用したアプリをアプリ一覧から選ぶ \(P. 23\)](#)」）してから、アプリのサムネイルを目的の位置までドラッグまたはスライドし、区切り線が表示されたら指を離します。



メモ

- 2つのアプリを並べて表示をやめたいときは、各アプリを終了します。
- スナップできるアプリの最大数は、ディスプレイのサイズと画面の解像度によって異なります。



参照

- **アプリの終了について**
「[アプリを終了する \(P. 26\)](#)」
- **タッチパネルの操作について**
「[本機の機能](#)」 - 「[タッチパネル](#)」 - 「[タッチパネルでの操作方法 \(P. 62\)](#)」

アプリを終了する

[010105-28]

タッチ操作の場合

アプリを終了するには、画面の上端を、画面の下端までドラッグまたはスライドします。画面の下半分が下端にかくれたら、2秒間そのままにします。小さな画像が回転したら指を離します。



メモ

画面の下端で2秒間待たずに、枠外までスライド（またはドラッグ）すると、アプリをサスペンド（一時停止）できます。



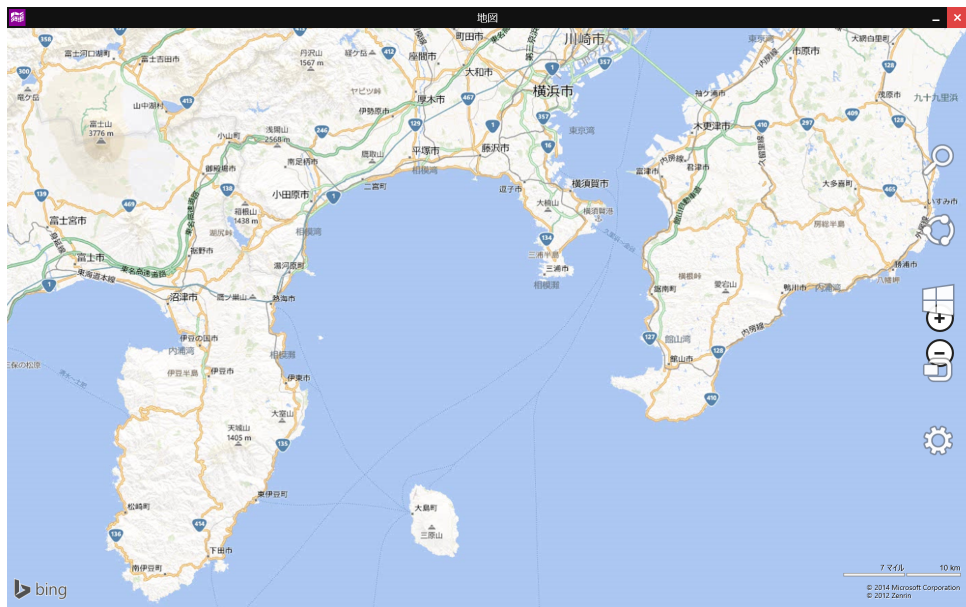
参照

タッチパネルの操作について

「本機の機能」 - 「タッチパネル」 - 「[タッチパネルでの操作方法 \(P. 62\)](#)」

マウス操作の場合

アプリを終了するには、画面の右端へマウスポインタを移動します。が表示されたらクリックします。



各部の名称	29
電源	35
省電力機能	49
バッテリー	52
タッチパネル	60
キーボード	68
マウス	78
液晶ディスプレイ	81
外部ディスプレイ	88
Webカメラ	98
内蔵フラッシュメモリ	100
microSDメモリーカードスロット	104
サウンド機能	109
LAN機能	113
無線LAN機能	121
モバイルブロードバンド	141
USBコネクタ	153
Bluetooth機能	157
セキュリティ機能	169

[020100-28]

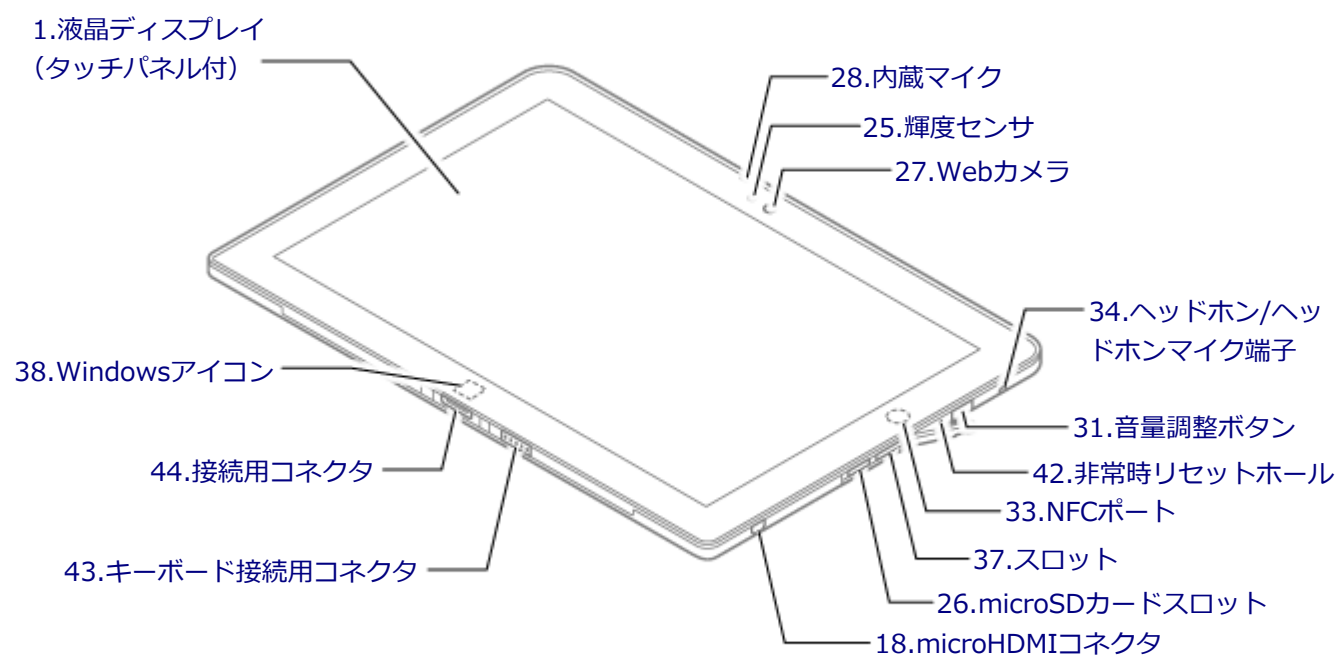
➤ 各部の名称と説明.....	30
-----------------	----

各部の名称と説明

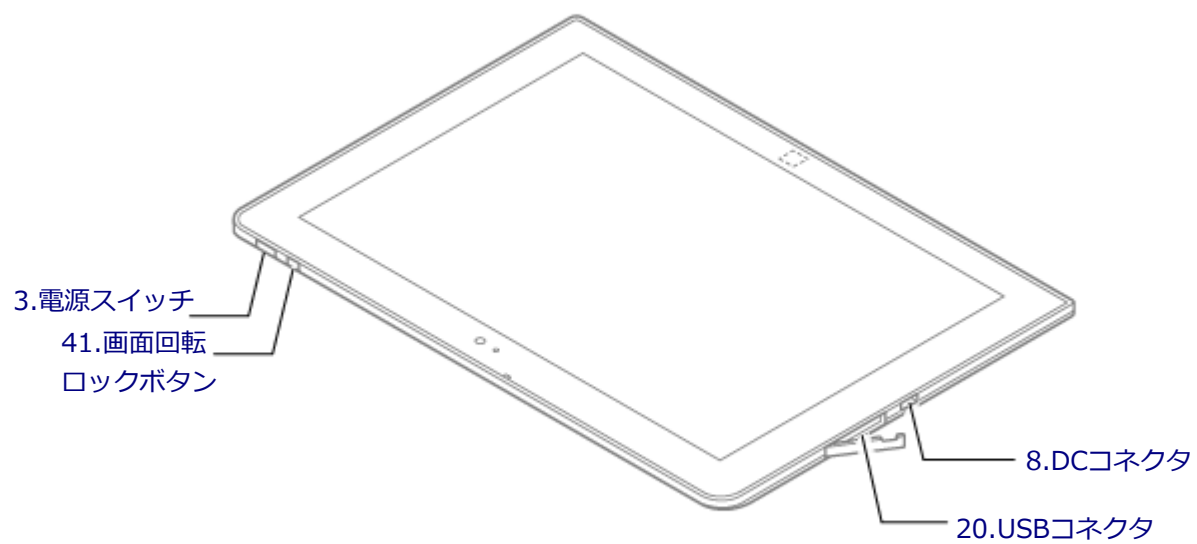
[020101-28]

各部の名称

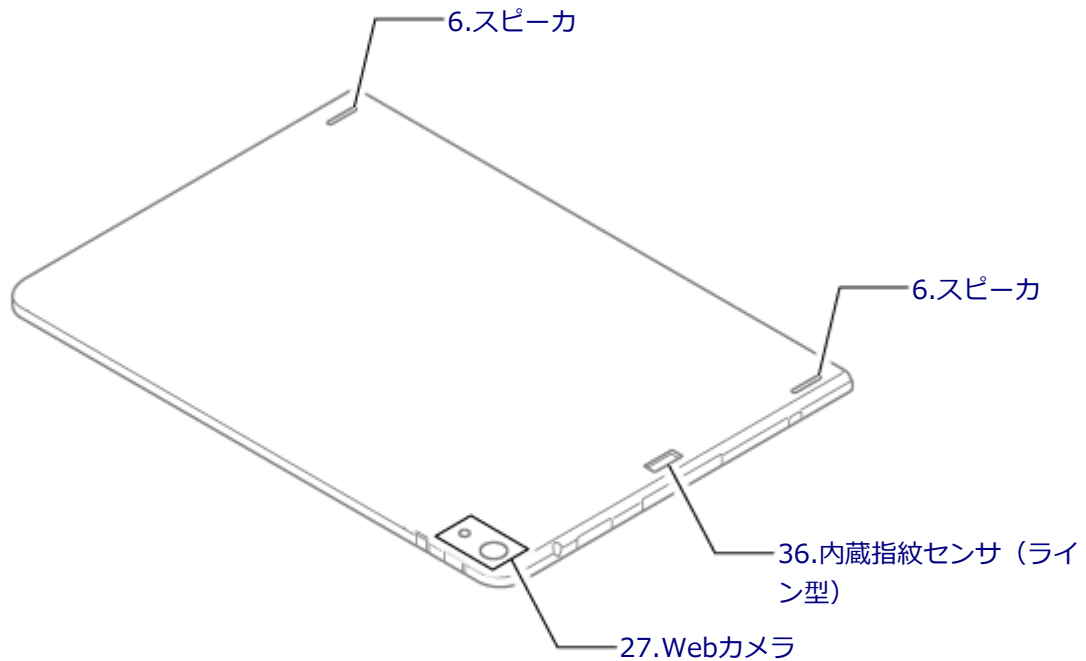
本体前面／右側面



左側面



本体背面



各部の説明

1.液晶ディスプレイ（タッチパネル付）

本機のディスプレイです。タッチパネルが搭載され、Windowsの操作をデジタイザーペンや指で行うことができます。

→「液晶ディスプレイ (P. 81)」

→「タッチパネル (P. 60)」

3.電源スイッチ

電源のオン／オフや電源状態の変更などで使用するスイッチです。

→「電源 (P. 35)」

6.スピーカ

内蔵のステレオスピーカです。

→「サウンド機能 (P. 109)」

8.DCコネクタ

添付のACアダプタを接続するための端子です。

18.microHDMIコネクタ (HDMI)

HDMI対応の大画面テレビや、HDMI端子を持つ外部ディスプレイなどを接続するためのコネクタです。

→「外部ディスプレイ (P. 88)」

20.USBコネクタ

USB機器を接続するコネクタです。このUSBコネクタは、USB 2.0およびUSB 1.1の機器に対応しています。USB 2.0の転送速度を出すためには、USB 2.0対応の機器を接続する必要があります。

→「USBコネクタ (P. 153)」

25.輝度センサ

輝度の自動調整機能を使用するときに、周辺の明るさを検知するためのセンサです。

→「液晶ディスプレイ (P. 81)」

26.microSDメモリーカードスロット (📁)

SDメモリーカードを読み書きするためのスロットです。

→「microSDメモリーカードスロット (P. 104)」

27.Webカメラ

テレビ電話をするときなどに使用します。Webカメラ使用時は、Webカメラ横のランプが点灯します。本体背面にあるWebカメラには、フラッシュがついています。

→「Webカメラ (P. 98)」

28.内蔵マイク

テレビ電話をするときなどに使用するマイクです。



チェック

このマイクを使用して録音している場合、録音している音を同時にスピーカなどで再生することはできません。

31.音量調整ボタン

内蔵スピーカや、ヘッドフォン/ヘッドホンマイク端子から出力される音量を調節するためのボタンです。+を押すと音量が大きくなり、-を押すと音量が小さくなります。

→「サウンド機能 (P. 109)」

33.NFCポート (NFC対応モデルのみ)

NFC機能に対応したカードや機器と、データのやり取りをするためのポートです。

→「NFCポート (P. 179)」

34.ヘッドフォン/ヘッドフォンマイク端子

ヘッドフォンやスマートフォン用ヘッドフォンマイク（4極ミニプラグ）、または外付けスピーカやオーディオ機器を接続し、音声信号を出力、入力するための端子です。

→「サウンド機能 (P. 109)」



チェック

入力機能としてはスマートフォン用ヘッドフォンマイク（4極ミニプラグ）のみ使用できます。市販のステレオマイクやモノラルマイクは使用できません。

36.内蔵指紋センサ（ライン型）

指紋認証機能で使用する内蔵指紋センサ（ライン型）です。

→「指紋認証機能 (P. 173)」

37.スロット（モバイルブロードバンドモデルのみ）

ドコモminiUIMカードを取り付けるためのスロットです。

→「モバイルブロードバンド (P. 141)」

38.Windowsアイコン

Windows使用時にタップすると、キーボードで【】を押したときと同様に、スタート画面を表示します。

また、電源スイッチを押しながらWindowsアイコンを押すと、キーボードで【Ctrl】+【Alt】+【Delete】を押したときと同様に、「ロック」、「ユーザーの切り替え」、「サインアウト」、「パスワードの変更」、または「タスク マネージャー」を選ぶ画面が表示されます。

41.画面回転ロックボタン

画面の自動回転のロック／ロック解除を切り替えることができます。

→「液晶ディスプレイ (P. 81)」

42.非常時リセットホール

本機が応答なくなり、電源スイッチを押し続けても電源を入／切できない場合に使用します。太さ1.3mm程の針金を押し込むと、本機をリセットできます。

43.キーボード接続用コネクタ

デタッチャブルキーボードを接続するためのコネクタです。

→「キーボード (P. 68)」

44.接続用コネクタ

本製品では使用できません。

本機の電源の入れ方と切り方、スリープ状態や休止状態などについて説明しています。

➤ 電源の入れ方と切り方.....	36
➤ 電源の状態.....	38
➤ スリープ状態／休止状態使用上の注意.....	39
➤ スリープ状態.....	41
➤ 休止状態.....	44
➤ 電源の設定.....	45
➤ 電源の自動操作.....	48

電源の入れ方と切り方

[020301-28]

電源を入れる

電源を入れる際は、次の手順に従って正しく電源を入れてください。



チェック

- いったん電源を切った後で、電源を入れなおす場合は、電源を切ってから5秒以上間隔をあけて電源を入れてください。
- ユーザー選択画面が表示された場合は、サインインするユーザーを選択してください。
- パスワード入力画面が表示された場合は、選択したユーザーのパスワードを入力してください。

1 周辺機器の電源を入れる

2 本機の電源スイッチを押す

電源を切る

電源を切る際は、次の手順に従って正しく電源を切ってください。



チェック

- Windowsやアプリケーションの表示中は、本機の電源を切らないでください。
- アプリケーションのエラーなどでWindowsの操作ができない場合の電源の強制切断方法については、「トラブル解決Q&A」の「電源」-「電源が切れない」-「強制的に電源を切る (P. 262)」をご覧ください。
- 通信を行っている場合は、通信が終了していることを確認してから電源を切ってください。通信中に電源を切ると、通信中のデータが失われる場合があります。

1 作業中のデータを保存してアプリケーションを終了する

2 チャーム バーを表示し、「設定」をクリック

3 をクリック

4 「シャットダウン」をクリック

シャットダウン処理終了後、電源が自動で切れます。



チェック

シャットダウン処理中は、電源スイッチを押さないでください。

5 本機の電源が切れたことを確認したら、周辺機器の電源を切る

「高速スタートアップ」について

「高速スタートアップ」とは、電源の切れた状態からすばやく起動するための機能です。工場出荷時の設定では「高速スタートアップ」の機能が有効になっています。

◆「高速スタートアップ」の機能を無効にする

周辺機器の取り付け／取り外しをする際は、次の手順で「高速スタートアップ」の機能を無効にし、シャットダウンしてから行ってください。

チェックを外さずに周辺機器の取り付け／取り外しを行った場合、周辺機器を認識しないことがあります。

1 「コントロール パネル (P. 12)」を表示する

2 「システムとセキュリティ」をクリックし、「電源オプション」の「電源ボタンの動作の変更」をクリック

3 「現在利用可能ではない設定を変更します」をクリック

4 「シャットダウン設定」の「高速スタートアップを有効にする(推奨)」のチェックを外す

5 「変更の保存」 ボタンをクリック

電源の状態

[020302-28]

本機の電源の状態には次のように「電源が入っている状態」「スリープ状態」「休止状態」「電源が切れている状態」の4つの状態があります。

- **電源が入っている状態**

通常、本機を使用している状態です。

- **スリープ状態**

作業中のメモリの状態を保持したまま、内蔵フラッシュメモリやディスプレイを省電力状態にして消費電力を抑えている状態です。メモリには電力が供給され、メモリの状態を保持しているため、すぐに作業を再開できます。

- **ハイブリッドスリープ**

スリープ状態に移行する際に、内蔵フラッシュメモリにもメモリの情報をすべて保存するスリープ状態です。内蔵フラッシュメモリにもメモリの情報が保存されているため、スリープ状態中に電源が切れた場合でも内蔵フラッシュメモリから復帰することができます。

- **休止状態**

メモリの情報をすべて内蔵フラッシュメモリに保存してから、本機の電源が切れた状態です。もう一度電源を入れると、休止状態にしたときと同じ状態に復元します。

工場出荷時の電源プランでは、バッテリー残量が「バッテリー切れのレベル」以下になった場合に、休止状態へ移行します。

- **電源が切れている状態**

本機の電源を完全に切った状態です。



参照

電源プランについて

「バッテリー」の「[バッテリーの使い方と設定 \(P. 56\)](#)」

スリープ状態／休止状態使用上の注意

[020303-28]

スリープ状態または休止状態を使用する場合の注意

- 本機が正常に動かなくなったり、正しく復帰できなくなることがありますので、次のような場合は、スリープ状態または休止状態にしないでください。
 - プリンタへ出力中
 - 通信を行うアプリケーションを実行中
 - LANまたは無線LANを使用して、ファイルコピーなどの通信動作中
 - 音声または動画の再生中
 - 内蔵フラッシュメモリにアクセス中
 - 「システムのプロパティ」画面を表示中
 - Windowsの起動／終了処理中
 - スリープ状態または休止状態に対応していないUSB機器、コンパクトフラッシュカードなどの周辺機器やアプリケーションを使用中
- ハイブリッドスリープを使用しない設定にしている場合、スリープ状態のときに次のことが起こると、作業中のデータが失われますので、ご注意ください。
 - バッテリーのみで使用している状態で、バッテリーが切れた
 - バッテリー駆動に十分なバッテリー残量が無いときに、停電やACアダプタが抜けるなどの理由で、バッテリーのみで使用している状態になった
 - 電源スイッチを4秒以上押し続けて、強制的に電源を切った
- スリープ状態または休止状態への移行、復帰などの電源状態の変更は、5秒以上の間隔をあけてから行ってください。
- スリープ状態または休止状態では、ネットワーク機能がいったん停止しますので、ファイルコピーなどの通信動作が終了してからスリープ状態または休止状態にしてください。また、使用するアプリケーションによっては、スリープ状態または休止状態から復帰した際にデータが失われることがあります。ネットワークを使用するアプリケーションを使う場合には、あらかじめ、お使いのアプリケーションについてシステム管理者に確認のうえ、スリープ状態または休止状態を使用してください。
- 通信を行うアプリケーションを使用中の場合は、通信を行うアプリケーションを終了させてから、休止状態にしてください。通信状態のまま休止状態にすると、強制的に通信が切断されることがあります。
- バッテリーのみで使用する場合は、あらかじめバッテリーの残量を確認しておいてください。また、バッテリー残量が少なくなってきた場合の本機の動作について設定しておくこともできます。



参照

バッテリーについて

「バッテリー」の「[バッテリーの使い方と設定 \(P. 56\)](#)」

- スリープ状態または休止状態への移行中は、microSDメモリーカードなどの各種メモリーカードの入れ替えなどを行わないでください。データが正しく保存されないことがあります。
- スリープ状態または休止状態中に、周辺機器の取り付けや取り外しなどの機器構成の変更を行うと、正常に復帰できなくなることがあります。
- スリープ状態に移行する前にUSB機器（マウスまたはキーボード以外）を外してください。USB機器を接続した状態ではスリープ状態に移行または復帰できない場合があります。

- スリープ状態時や休止状態時、スリープ状態や休止状態への移行中、スリープ状態や休止状態からの復帰中は、USB機器を抜き差ししないでください。
- 「電源オプション」で各設定を変更する場合は、管理者（Administrator）権限を持つユーザーで行ってください。
- スリープ状態または休止状態から復帰したときに、プライマリディスプレイとセカンダリディスプレイが逆になったり、外部ディスプレイの設定情報を読み込めない場合があります。外部ディスプレイを再設定してください。
- スリープ状態または休止状態からの復帰を行った場合、本体は復帰しているのに、ディスプレイには何も表示されない状態になることがあります。この場合は、タッチパネルを操作するかキーボードのキーを押すことによってディスプレイが正しく表示されます。
- 次のような場合には、復帰が正しく実行されなかったことを表しています。
 - アプリケーションが動作しない
 - スリープ状態または休止状態にする前の内容を復元できない
 - キーボード、電源スイッチを操作しても復帰しない

このような状態になるアプリケーションを使用しているときは、スリープ状態または休止状態にしないでください。電源スイッチを押しても復帰できなかったときは、電源スイッチを4秒以上押し続けてください。電源が強制的に切れます。

この場合、BIOSセットアップユーティリティの内容が、工場出荷時の状態に戻っていることがあります。必要な場合は再度設定してください。



参照

BIOSセットアップユーティリティについて

「システム設定」の「[BIOSセットアップユーティリティについて \(P. 184\)](#)」

スリープ状態

[020304-28]

作業中のメモリの内容を保持したまま、内蔵フラッシュメモリやディスプレイを省電力状態にして消費電力を抑えている状態です。メモリには電力が供給され、内容が保持されているので、すぐに作業を再開できます。



チェック

- スリープ状態への移行およびスリープ状態からの復帰は、状態の変更が完了してから5秒以上の間隔をあけて行ってください。
- 本機を長時間使用しない場合は電源を切るか、ACアダプタを接続したうえでスリープ状態にしてください。バッテリーのみで長時間スリープ状態にしておくと、バッテリー残量がなくなることがあります。
- ハイブリッドスリープを使用しない設定にしている場合、スリープ状態でバッテリーの残量がなくなると、作成中のデータが失われたり、データが壊れたりすることがあります。

スリープ状態にする

工場出荷時の設定で、電源が入っている状態から手動でスリープ状態にするには、次の方法があります。

「電源」からスリープ状態にする

1 チャーム バーを表示し、「設定」をクリック

2 をクリック

3 「スリープ」をクリック

Windowsが終了し、スリープ状態になります。Windowsの終了処理中は電源スイッチを押さないでください。

電源スイッチを押す



チェック

電源スイッチでスリープ状態にする場合は、電源スイッチを4秒以上押さないでください。電源スイッチを4秒以上押し続けると強制的に電源が切れて、保存していないデータは失われてしまいます。

スリープ状態から復帰する

スリープ状態から手動で電源が入っている状態に復帰するためには、次の方法があります。



チェック

- ユーザー選択画面が表示された場合は、サインインするユーザーを選択してください。
- パスワード入力画面が表示された場合は、選択したユーザーのパスワードを入力してください。
- スリープ状態で長時間経過した場合やバッテリー残量が少なくなった場合、自動的に本機が休止状態になっている場合があります。その場合は、電源スイッチで復帰させてください。
- 本機では電源オプションの「復帰時のパスワードを必要とする」の設定内容に関わらず、復帰時にロック画面が表示されます。

電源スイッチを押す



チェック

電源スイッチを押して復帰する場合は、電源スイッチを4秒以上押し続けしないでください。電源スイッチを4秒以上押し続けると、強制的に電源が切れ、保存していないデータが失われます。

デタッチャブルキーボードやUSBマウスを操作する

設定を行うことで、デタッチャブルキーボードやUSBマウス接続時、それらのキーやボタンを操作することでスリープ状態から復帰できます。



チェック

- ACアダプタ使用時にのみUSBマウスを使用した復帰が有効になります。
また、ACアダプタを使用していても、以下の場合はUSBマウスを使用してスリープ状態から復帰することはできません。
 - スリープ状態で、ACアダプタを抜き差しした場合
 - スリープ状態で、USBマウスを抜き差しした場合
- USBマウス操作でスリープ状態から復帰できない場合は、他の方法でスリープ状態から復帰を行ってください。



参照

デタッチャブルキーボードやUSBマウスでスリープ状態から復帰する/しないようにする設定について
「トラブル解決Q&A」の「電源」 - 「デタッチャブルキーボードやUSBマウスでスリープ状態から復帰する/しないを設定したい (P. 271)」

ハイブリッドスリープ

スリープ状態に移行する際に、内蔵フラッシュメモリにもメモリの情報をすべて保存するスリープ状態です。内蔵フラッシュメモリにもメモリの情報が保存されているため、スリープ状態中に電源が切れた場合でも内蔵フラッシュメモリから復帰することができます。



チェック

工場出荷時は、ハイブリッドスリープを使用しない設定になっています。使用するには設定の変更が必要です。



参照

電源プランの設定の変更について
「[電源の設定 \(P. 45\)](#)」

休止状態

[020305-28]

メモリの情報をすべて内蔵フラッシュメモリに保存し、本機の電源が切れた状態です。もう一度電源を入れると、休止状態になったときと同じ状態に復元します。



チェック

休止状態への移行および休止状態からの復帰は、状態の変更が完了してから5秒以上の間隔をあけて行ってください。

休止状態にする

バッテリー残量が、電源プランで設定した「バッテリー切れのレベル」以下になると、自動的に休止状態へ移行します。この設定は変更することができます。



参照

電源プランについて

「バッテリー」の「[バッテリーの使い方と設定 \(P. 56\)](#)」

休止状態から復帰する

休止状態から手動で電源が入っている状態に復帰するには、電源スイッチを押してください。



チェック

- ユーザー選択画面が表示された場合は、サインインするユーザーを選択してください。
- パスワード入力画面が表示された場合は、選択したユーザーのパスワードを入力してください。

電源の設定

[020306-28]

電源の設定は、Windowsの「電源オプション」で行います。

「電源オプション」では、あらかじめ設定されている電源プランから使用するプランを選択するほか、新規のプランを作成することができます。

また、プランごとに電源の状態を変更する操作の設定や、電源の状態が変更されるまでの時間を設定することができます。

電源プランの選択

設定されている電源プランから選択する場合は、次の手順で行います。

- 1 「コントロール パネル (P. 12)」を表示する
- 2 「システムとセキュリティ」をクリックし、「電源オプション」をクリック
- 3 表示されているプランから使用したいプランを選択する

表示されているプラン以外から選択したい場合は、「追加プランの表示」をクリックし、表示されたプランから選択してください。

- 4  ボタンをクリック

以上で電源プランの選択は完了です。

電源プランの設定の変更

すでに登録されている電源プランの設定を変更する場合は、次の手順で行います。

- 1 「コントロール パネル (P. 12)」を表示する
- 2 「システムとセキュリティ」をクリックし、「電源オプション」をクリック
- 3 設定を変更したいプランの「プラン設定の変更」をクリック

- 4 表示された画面で設定を行う

電源の種類ごとに設定できます。

項目	説明
ディスプレイの電源を切る	指定した時間、何も入力がない場合、ディスプレイの電源を切ります。

コンピューターをスリープ状態にする	指定した時間、何も入力がない場合、本機がスリープ状態になります。
プランの明るさを調整	ディスプレイの輝度を設定します。



チェック

設定時間を変更したときに、「コンピューターをスリープ状態にする」時間が「ディスプレイの電源を切る」時間よりも短くならないように、設定時間が自動的に変更される場合があります。個別に設定する場合は「詳細な電源設定の変更」をクリックして設定してください。



メモ

- 「詳細な電源設定の変更」をクリックすると、電源プランごとに詳細な設定が行えます。
- 「このプランの既定の設定を復元」を選択すると、設定値が既定の値に戻ります。

5 「変更の保存」 ボタンをクリック

以上で電源プランの設定の変更は完了です。

電源プランの作成

新規の電源プランを作成する場合は、次の手順で行います。

1 「コントロール パネル (P. 12)」を表示する

2 「システムとセキュリティ」をクリックし、「電源オプション」をクリック

3 左のメニューから「電源プランの作成」をクリック

4 表示される電源プランから作成したいプランに近いプランを選択する

5 「プラン名」欄に作成する電源プラン名を入力し、「次へ」 ボタンをクリック

6 表示される画面で設定を行う

7 「作成」 ボタンをクリック

以上で電源プランの作成は完了です。

作成した電源プランは、「電源プランの選択 (P. 45)」の手順で選択できます。

電源の状態を変更する操作の設定

電源スイッチを押す操作により移行する電源の状態を変更する場合は、次の手順で行います。



チェック

この手順で設定を行った場合、現在登録されているすべての電源プランの設定が変更されます。電源プランごとに設定を行いたい場合は、それぞれの電源プランの設定画面の「詳細な電源設定の変更」から行ってください。

1

「コントロール パネル (P. 12)」を表示する

2

「システムとセキュリティ」をクリックし、「電源オプション」の「電源ボタンの動作の変更」をクリック

3

「電源ボタンとカバーの設定」欄で、動作を設定する

- 電源スイッチを押すことで移行する電源の状態を設定する場合
「電源ボタンを押したときの動作」欄で設定します。



チェック

工場出荷時の設定は次のようになっています。
「電源ボタンを押したときの動作」：「スリープ状態」

4

「変更の保存」ボタンをクリック

以上で設定は完了です。

電源の自動操作

[020307-28]

タイマ によって、自動的に電源の操作を行うことができます。

■ タイマ機能（電源オプション）

設定した時間を経過しても、タッチパネルやキーボードからの入力や内蔵フラッシュメモリへのアクセスなどがない場合、自動的にディスプレイの電源を切ることができます。

工場出荷時は次のように設定されています。

使用している電源	電源プランの名称	コンピューターをスリープ状態にする	ディスプレイの電源を切る
AC電源	バランス	約10分	約10分
バッテリー		約4分	約4分



メモ

工場出荷時は、省電力のためスリープ状態になるように設定してあります。

本機の省電力機能について説明しています。

▶ 省電力機能について.....	50
▶ Intel SpeedStep® テクノロジー.....	51

省電力機能について

[020401-28]

Windowsには、一定時間本機を使用していない場合などに電源の状態を変更し、消費電力を抑えるように設定できる電源管理機能があります。



参照

Windowsの電源管理機能について

「[電源 \(P. 35\)](#)」

Intel SpeedStep® テクノロジー

[020404-28]

Intel SpeedStep® テクノロジーに対応したCPUが搭載されているモデルでは、電源の種類やCPUの動作負荷によって、動作性能を切り替えることができます。

Intel SpeedStep® テクノロジーへの対応については、下記のリンクよりお使いのモデルの「仕様一覧」をご覧ください。

<http://121ware.com/e-manual/m/nx/ac/201405/bios/v1/mst/index.html>

設定を変更する場合は、「電源プランの設定の変更」の手順3で「詳細な電源設定の変更」をクリックし、表示される画面の「プロセッサの電源管理」の各項目で設定を行います。



参照

電源プランの設定の変更について

「電源の設定」 - 「[電源プランの設定の変更 \(P. 45\)](#)」

本機のバッテリー（二次電池）の使い方やバッテリー診断などについて説明しています。

➤ バッテリー（二次電池）について.....	53
➤ 使用上の注意.....	54
➤ バッテリーの充電.....	55
➤ バッテリーの使い方と設定.....	56
➤ バッテリー診断ツール.....	58

バッテリー（二次電池）について

[020501-28]

- 本機はリチウムイオン電池を内蔵しています。バッテリーの交換については、121コンタクトセンターまたはビジネスPC修理受付センターにご相談ください。
- バッテリーについてはJEITA（一般社団法人 電子情報技術産業協会）の「バッテリー関連Q&A集」（<http://home.jeita.or.jp/cgi-bin/page/detail.cgi?n=121&ca=14>）もあわせてご覧ください。
- 本機に使用しているリチウムイオン電池は、リサイクル可能な貴重な資源です。



使用上の注意

[020502-28]

- 内蔵フラッシュメモリなどへの読み書き中にバッテリー残量がなくなり、電源が切れてしまうと、作成中のデータが失われたり、内蔵フラッシュメモリなどのデータが失われたり、壊れたりすることがあります。
- 充電を行う際にはできるだけ満充電するようにしてください。バッテリー残量が少ない場合などに少量の充放電を何度も繰り返して本機を使用すると、バッテリー残量に誤差が生じることがあります。
- 本機を長期間使用しない場合は、バッテリー残量を50%程度にして、涼しいところに保管しておくことでバッテリーの寿命を長くすることができます。
- バッテリーだけで本機を長時間使用する場合は、スリープ状態や休止状態を利用したり、本機の省電力機能を使用してください。



参照

- **スリープ状態／休止状態について**
「電源 (P. 35)」
- **省電力機能について**
「省電力機能 (P. 49)」

- バッテリーは、自然放電しています。本機を長期間使用しない場合でも、2～3か月に一度は充電することをおすすめします。

バッテリーの充電

[020504-28]



チェック

- 購入直後や長時間放置したバッテリーでは、バッテリー駆動ができないことや動作時間が短くなること、バッテリー残量が正しく表示されないことなどがあります。必ず満充電してから使用してください。

バッテリーの充電のしかた

本機にACアダプタを取り付け、ACコンセントに接続すると、自動的にバッテリーの充電が始まります。
本機の電源を入れて使用していても充電されます。



メモ

充電できる電池容量は、周囲の温度によって変わります。また、高温になると充電が中断されることがありますので、18～28℃での充電をおすすめします。

バッテリーの充電時間については、下記のリンクよりご覧ください。

<http://121ware.com/e-manual/m/nx/ac/201405/bios/v1/mst/index.html>

バッテリーの使い方と設定

[020505-28]

バッテリー残量の確認

バッテリー残量は次の方法で確認できます。

タスク バーの通知領域で確認する

タスク バーの通知領域の  または  をクリックすると、現在のバッテリー残量と電源プランが表示されます。

バッテリー残量による動作の設定

バッテリー残量が一定の値以下になったときに通知したり、自動的にスリープ状態や休止状態になるように設定できます。



チェック

- 工場出荷時の状態では、バッテリー残量が10%以下になったときに通知し、5%以下になったときに再度通知し、自動的に休止状態になるように設定されています。
- バッテリー残量による動作は、電源プランごとに設定します。

バッテリー残量による動作の設定を変更するには、次の手順で行います。

1 「コントロール パネル (P. 12)」を表示する

2 「システムとセキュリティ」をクリックし、「電源オプション」をクリック

3 設定を変更したい電源プランの「プラン設定の変更」をクリック

4 「詳細な電源設定の変更」をクリック

5 「バッテリー」をダブルクリック

6 「バッテリー」以下に表示される項目で設定を行う

設定可能な項目は次の通りです。

項目	説明
バッテリー切れの動作	バッテリー残量が「バッテリー切れのレベル」以下になったときに行う動作を設定します。
低残量バッテリーのレベル	バッテリー残量がここで設定した値以下になると、「低残量バッテリーの動作」を開始します。

バッテリー切れのレベル	バッテリー残量がここで設定した値以下になると、「バッテリー切れの動作」を開始します。
低残量バッテリーの通知	バッテリー残量が「低残量バッテリーのレベル」以下になったときに通知するかどうかを設定します。
低残量バッテリーの動作	バッテリー残量が「低残量バッテリーのレベル」以下になったときに行う動作を設定します。
省電源移行バッテリー レベル	バッテリー残量がここで設定した値以下になると、Windowsが省電源モードで動作するようになります。

7 「OK」ボタンをクリック

以上で設定の変更は完了です。

■ バッテリー駆動中にバッテリー残量が少なくなったときは

バッテリー駆動中にバッテリー残量が少なくなった場合は、状況に応じて次の操作を行ってください。

ACコンセントから電源を供給できる場合

ACアダプタを接続して、ACコンセントから電源を供給してください。バッテリーの充電が始まります。また、バッテリーを充電しながら本機を使用できます。

ACコンセントが使えない場合

本機を休止状態にするか、使用中のアプリケーションを終了して本機の電源を切ってください。

バッテリー残量が少ない状態で、ACコンセントから電源を供給しないまま本機を使用していると、バッテリー残量に応じて電源プランで設定されている動作が実行されます。

バッテリー診断ツール

[020507-28]

「バッテリー診断ツール」を使用することで、バッテリー性能診断ができます。

■ バッテリー診断ツールの表示

バッテリー診断ツールの表示は次の手順で行います。

1 アプリ画面 (P. 12)を開き、アプリの一覧で「バッテリー診断ツール」をクリック

■ バッテリー性能診断を実行する

「バッテリー診断ツール」を起動すると、自動的に診断結果が画面に表示されます。



チェック

- 「バッテリー状態」に「劣化」と表示された場合、バッテリーの交換をおすすめします。
- 「バッテリー状態」に「警告」と表示された場合、バッテリーを交換してください。また、バッテリーへの充電は、安全のため行えなくなります。
- バッテリーの交換については、121コンタクトセンターまたはビジネスPC修理受付センターにご相談ください。

■ バッテリー診断ツールのアンインストール

バッテリー診断ツールのアンインストールは、次の手順で行います。



チェック

アンインストールは管理者（Administrator）権限を持つユーザーで行ってください。

1 「コントロール パネル (P. 12)」を表示する

2 「プログラム」の「プログラムのアンインストール」をクリック

3 「バッテリー診断ツール」を選択し、「アンインストール」をクリック

4 「バッテリー診断ツール をアンインストールしますか？」と表示された場合は、「はい」ボタンをクリック

以上でバッテリー診断ツールのアンインストールは完了です。

■ バッテリ診断ツールの再インストール

アンインストールした「バッテリ診断ツール」を再インストールする場合は、次の手順で行います。

1 アプリ画面 (P. 12)を開き、アプリの一覧で「ファイル名を指定して実行」をクリック

2 「名前」に次のように入力し、「OK」ボタンをクリック

C:¥drv¥Nxsetup.exe

3 「バッテリ診断ツール」を選択し、「インストール」ボタンをクリック

4 「バッテリ診断ツール セットアップ ウィザードへようこそ」と表示されたら、「次へ」ボタンをクリック

5 「バッテリ診断ツールファイル使用中」画面が表示された場合は、「NEC Battery Utility-Scheduler (Process Id: XXXX)」をクリックし、「継続」ボタンをクリック

6 「インストールが完了しました。」画面が表示されたら、「閉じる」ボタンをクリック

7 再起動を促すメッセージが表示された場合は、「はい」ボタンをクリック

Windowsが自動的に再起動します。

以上でバッテリ診断ツールの再インストールは完了です。

本機のタッチパネル機能について説明しています。

- 使用上の注意. 61
- タッチパネルでの操作方法. 62
- タッチパネルの設定. 64
- タッチパネルでの文字入力. 66
- デジタイザーペンについて. 67

使用上の注意

[023001-28]

- 必要以上に強い力でタッチしないでください。故障の原因になります。
- 画面上に物を置くなど、長時間同じ位置に重量負荷をかけないようにしてください。画面がたわみ、故障の原因になります。
- 汚れた指でタッチしないでください。画面に汚れが付着して見にくくなる可能性があります。
- タッチパネル面は強化ガラスでできています。万が一強化ガラスが割れた場合は指で触れたりせずに修理を依頼してください。
- タッチパネルの表面にフィルムなどを貼らないでください。また、汚れや水滴が付着した場合は柔らかい布で取り除いてください。タッチ操作が正常に行えなくなる可能性があります。
- 指の状態（乾燥している、汗や水で濡れているなど）によっては、タッチ操作が正常に行えなくなる可能性があります。
- 他の電気機器から離してお使いください。そばに置いて使用していると、タッチパネルの動作が不安定になることがあります。
- ACアダプタは、他の電気機器と同じACコンセントに接続しないでください。他の電気機器からノイズを受けて、タッチパネルの動作が不安定になることがあります。
やむなく同じコンセントに接続していて、他の電気機器にアース線がある場合は、必ずアース線を接続してください。

タッチパネルでの操作方法

[023002-28]

本機のタッチパネルでの操作と対応するマウス操作について説明します。



メモ

- 操作をするときは指先で触れるようにし、また、2本の指で操作する場合は、1本目の指で画面に触れてから、2本目の指の操作を行ってください。
- 添付のデジタイザーペンを使ってもタッチパネルの操作ができます。



参照

デジタイザーペンの使い方

「デジタイザーペンについて (P. 67)」

操作名	操作イメージ	説明	同じ動作をするマウス操作
タップ		画面上の対象に指1本で軽く触れ、指を離します。 アイコンや項目の選択や、ボタンを押すときに使用します。	クリック
長押し (プレス アンド ホールド)		指1本で画面上の対象に触れ続け、四角が表示された後に指を離します。 右クリックメニューが表示されます。	右クリック
ダブル タップ		画面上の対象を指で2回連続でタップします。 ダブルクリックと同様に、フォルダを開いたり、プログラムを実行するときに使用します。	ダブル クリック
ドラッグ		画面上の対象に触れ、指を離さずに目的の場所まで動かして指を離します。 アイコンの移動や範囲選択などで使用します。	ドラッグ

スライド (パン)		指を画面上に軽くタッチした状態で動かします。 画面に表示しきれない大きなページや画像データを動かし、隠れていた部分を表示することができます。	スクロール
スワイプ (フリック)		画面に触れ、指を払うように動かします。 指を動かした方向に表示内容がスクロールさせたり、ページをめくることができます。 アプリケーションが対応している場合のみ有効です。	—
ピンチ/ ストレッチ (ズーム)		ピンチによる縮小をする場合は、指1本で画面に触れたまま、別のもう1本の指で画面に触れ、2本の指先でつまむように動かします。 ストレッチによる拡大をする場合は、逆に2本の指先を開くように動かします。 アプリケーションが対応している場合のみ有効です。	【Ctrl】 + スクロールホイール
回転		指1本で画面に触れたまま、もう1本の指で画面に触れ、最初に触れた指を中心にして円を描くように動かします。 アプリケーションが対応している場合のみ有効です。	—

タッチパネルの設定

[023004-28]

操作や表示などの設定

ダブルタップなどの操作に関する設定や、タッチパネル操作時の表示、画面の回転などについて設定できます。

ダブルタップなどの操作に関する設定をする

1 「コントロール パネル (P. 12)」を表示する

2 「ハードウェアとサウンド」→「ペンとタッチ」をクリック

3 次のタブで設定を行う

- 「ペンのオプション」タブ
ペンによるタップや長押しの設定ができます。
- 「フリック」タブ
ペンによるフリック操作に割り当てる機能や、フリック操作時の感度を設定できます。
- 「タッチ」タブ
タッチによるダブルタップや長押しの設定ができます。

4 「OK」ボタンをクリック

以上で設定は完了です。

タッチパネル操作時の表示、画面の回転に関する設定をする

1 「コントロール パネル (P. 12)」を表示する

2 「ハードウェアとサウンド」→「タブレット PC 設定」をクリック

3 次のタブで設定を行う

- 「画面」タブ
画面の回転についての設定などができます。



チェック

「調整」をクリックしてタッチする位置の調整をしないでください。調整をすると、タッチの反応位置がずれてしまうことがあります。
調整してしまった場合は、「画面」タブの「リセット」をタップして、ご購入時の設定に戻してください。

- 「その他」 タブ

きき手などの設定ができます。

4 「OK」 ボタンをクリック

以上で設定は完了です。

タッチパネルでの文字入力

[023003-28]

デタッチャブルキーボードを接続せず、タッチパネルで文字を入力する場合は、タッチキーボードを使用します。



参照

タッチキーボードについて

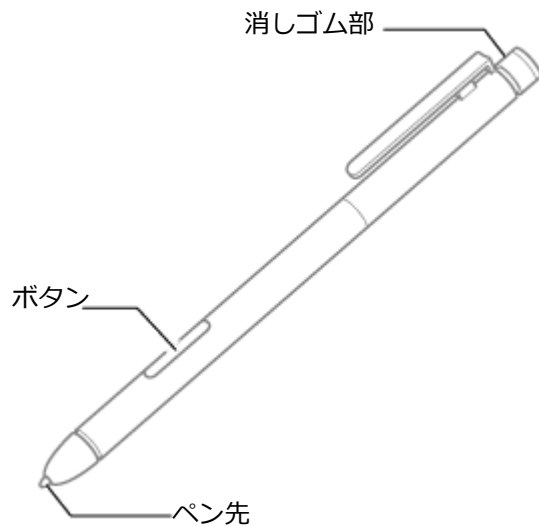
「[タッチキーボードについて \(P. 10\)](#)」

デジタイザーペンについて

[023005-28]

本機に添付されている専用のデジタイザーペンを使っても、タッチパネルの操作ができます。

■ 各部の名称



名称	説明	同じ動作をする マウス操作
ペン先	文字を書くときや、アイコンや項目の選択、ボタンを押すときに使用します。	クリック
ボタン	ボタンを押しながらペン先をタッチパネルに触れ、すぐに離すと、右クリックメニューが表示されます。	右クリック
消しゴム部	文字や線を、消しゴム部で押して選択すると、消去されます。※1	—

※1 削除機能に対応していないアプリケーションでは使用できません。

デタッチャブルキーボードの各部の名称や、キーの使い方について説明しています。デタッチャブルキーボードをお使いの場合のみご覧ください。

➤ 各部の名称と役割.	69
➤ キーの名称.	73
➤ キーの使い方.	75
➤ キーボードの設定.	77

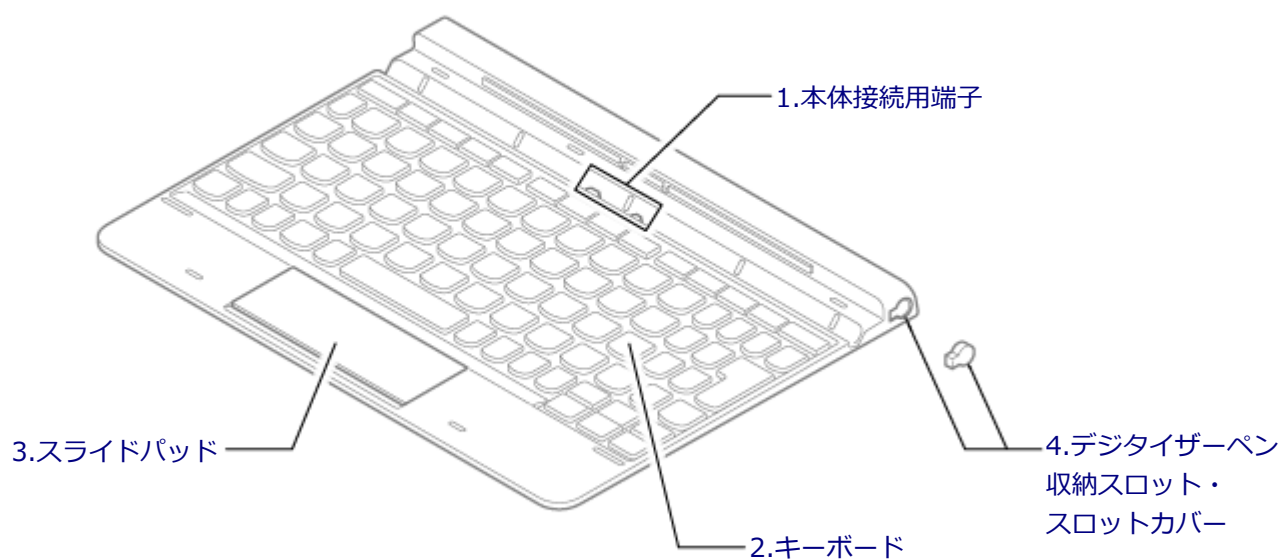
各部の名称と役割

[020606-28]



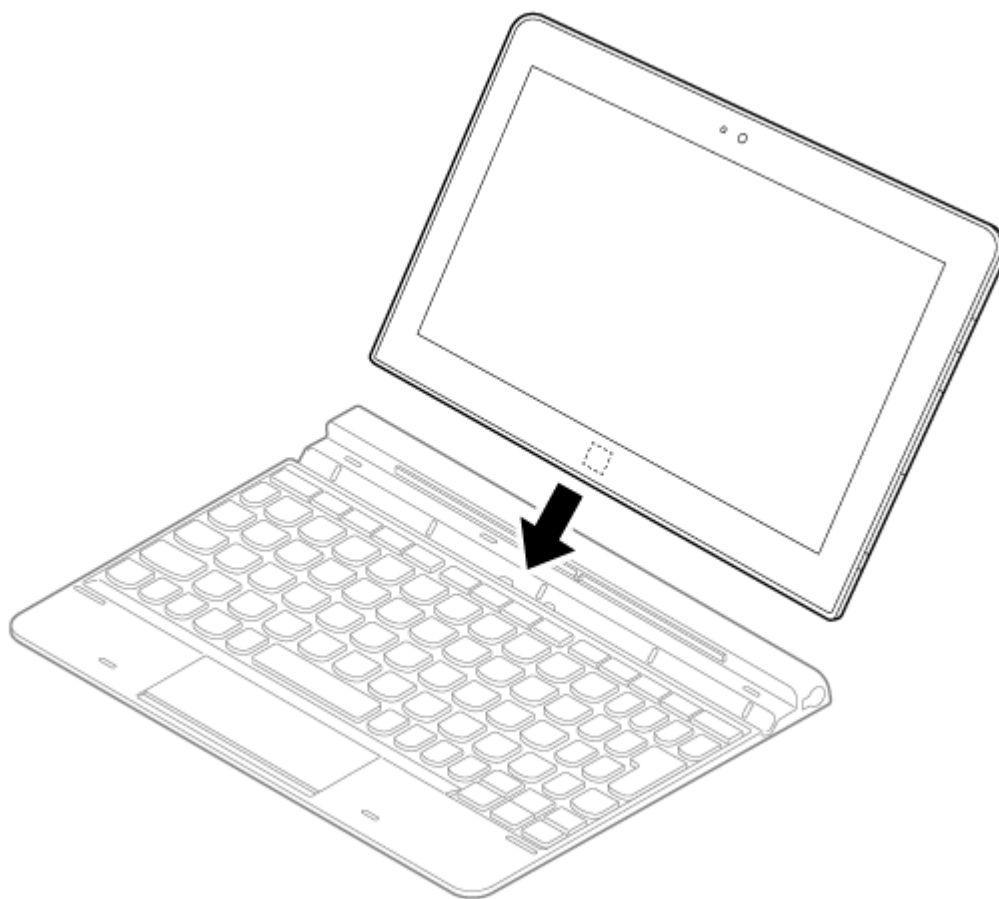
チェック

デタッチャブルキーボードは購入時に選択した場合に添付されます。また、別途購入することもできます (PC-VP-KB31)。



1. 本体接続用端子

本体と接続するための端子です。本体のキーボード接続用コネクタをセットしてください。



チェック

- セットするときは、必要以上の力を加えないでください。破損する恐れがあります。
- 水平な場所に設置してご使用ください。

2. キーボード

文字の入力や画面の操作をします。

→「キーの名称 (P. 73)」「キーの使い方 (P. 75)」

3. スライドパッド

タップ・ダブルタップ・スワイプの操作を、この部分でも行うことができます。

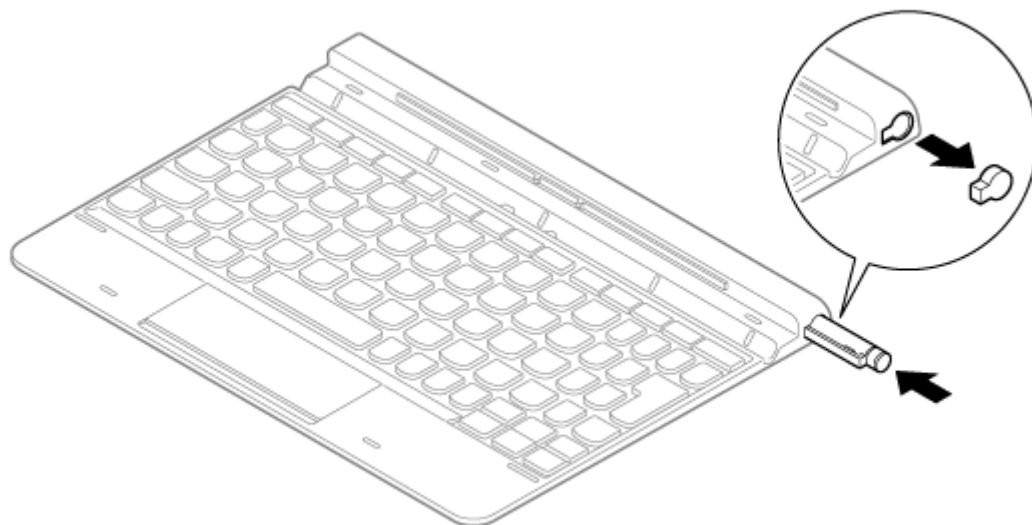
また、スライドパッドの右下部分を押し込んですぐに離すと、右クリックと同じ操作になります。

4. デジタイザーペン収納スロット・スロットカバー

デジタイザーペンを収納することができます。

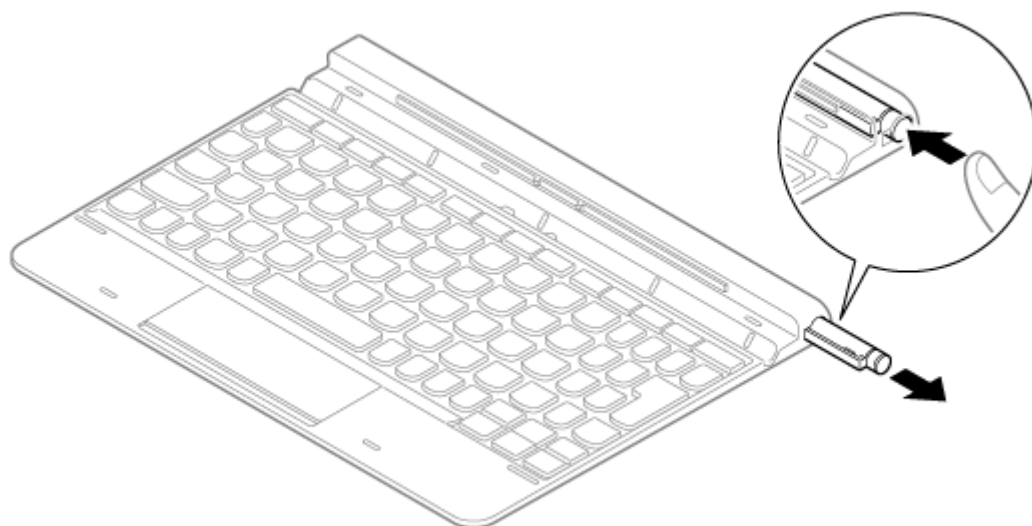
デジタイザーペンを収納するときは

スロットカバーを外し、デジタイザーペンをカチッと音がするまで押し込みます。



デジタイザーペンを取り出すときは

デジタイザーペンを押し込み、カチッと音がしたら引き出します。



チェック

スロットカバーはなくさないようにしてください。また、デジタイザーペンを収納していないときは、スロットカバーを取り付けておいてください。

使用上の注意

- 水平な場所に設置してご使用ください。
- 本体をキーボードにセットして使用する場合、デジタイザーペン操作時以上の力を加えないでください。

デタッチャブルキーボードの収納

キーボードを使わないときや持ち運ぶときなど、本体の液晶ディスプレイを重ねて取り付けることで、コンパクトに収納することができます。



チェック

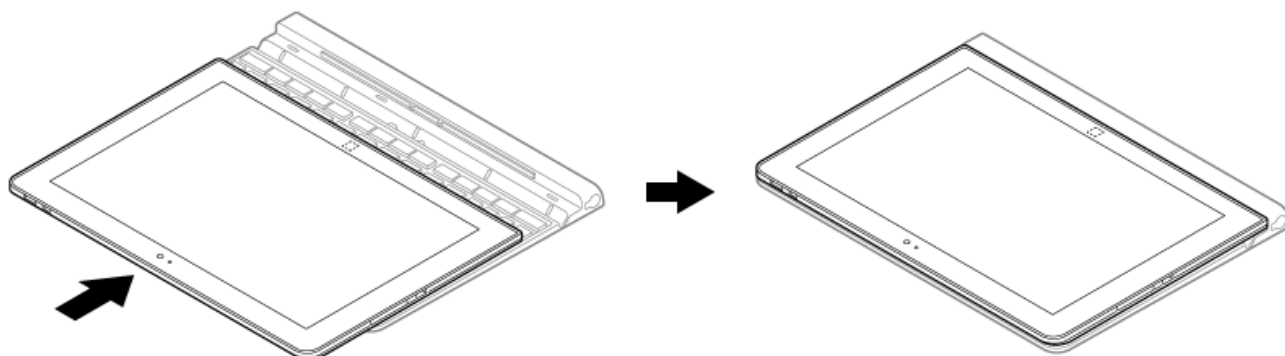
状況や持ち方により、パソコン本体とキーボードが外れる場合があります。
持ち運びの際には、パソコン本体とキーボードの両方をしっかり持って外れないようにしてください。

1

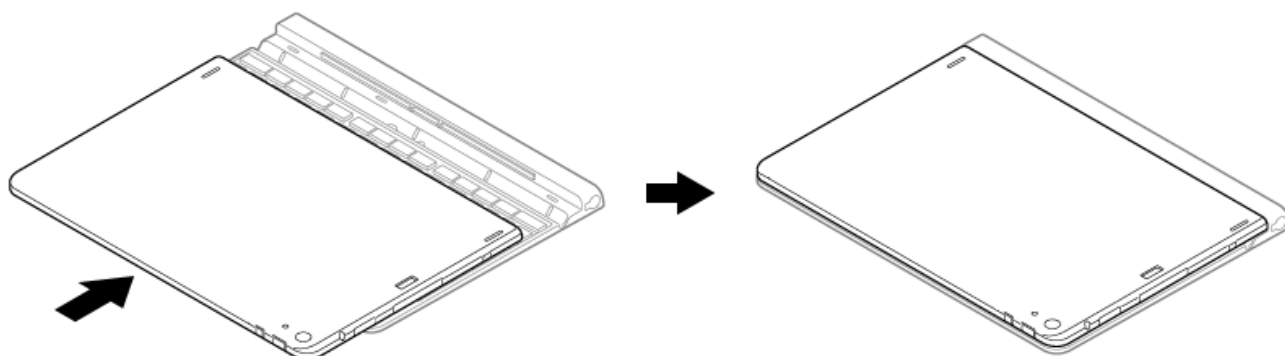
本体をデタッチャブルキーボードに重ね、突き当たるまでまっすぐスライドする

本体とキーボードが磁石で固定されます。

- 液晶ディスプレイを外側にする場合

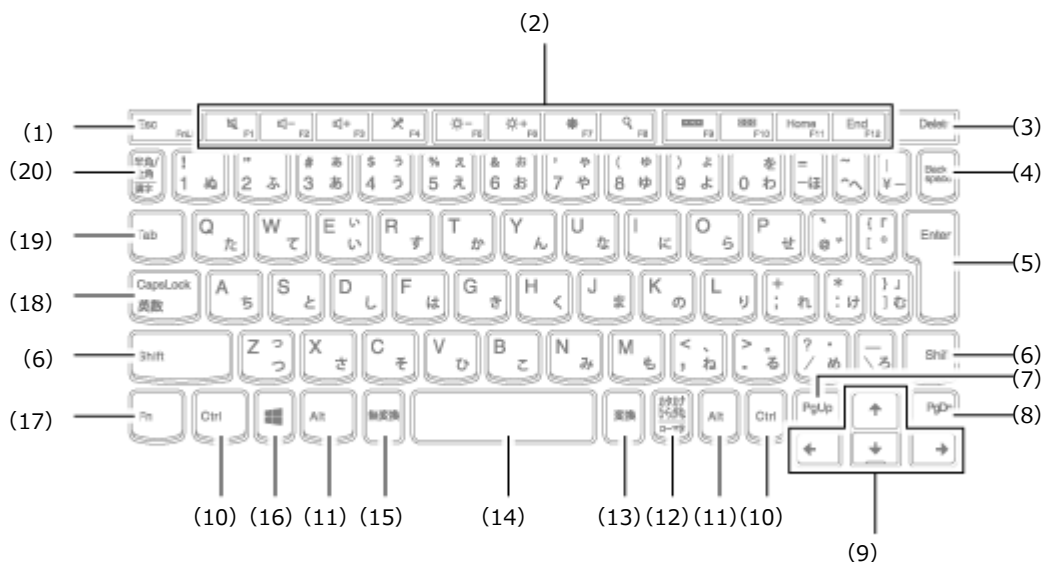


- 液晶ディスプレイを内側にする場合



キーの名称

[020603-28]



番号	マニュアルでの表記	名称
(1)	【Esc】	エスケープキー
(2)	【F1】～【F12】	ファンクションキー
(3)	【Delete】	デリートキー
(4)	【Back Space】	バックスペースキー
(5)	【Enter】	エンターキー（リターンキー）
(6)	【Shift】	シフトキー
(7)	【Pg Up】	ページアップキー
(8)	【Pg Dn】	ページダウンキー
(9)	【↑】【↓】【→】【←】	カーソルキー
(10)	【Ctrl】	コントロールキー
(11)	【Alt】	オルトキー
(12)	【カタカナ ひらがな】	かなキー
(13)	【変換】	変換キー
(14)	スペースキー	スペースキー
(15)	【無変換】	無変換キー
(16)	【  】	Windowsキー

(17)	【Fn】	エフエヌキー
(18)	【Caps Lock】	キャップスロックキー
(19)	【Tab】	タブキー
(20)	【半角/全角】	半角/全角キー

日本語入力のオン/オフ

本機は、工場出荷時、日本語入力システムとしてMicrosoft IMEが設定されています。
工場出荷時の状態で日本語入力のオン/オフを切り替えるには【半角/全角】または【Caps Lock】を押してください。

ホットキー機能

ファンクションキーには、【F1】～【F12】として機能するほかに、パソコンの設定を変更したりさまざまな操作を行う機能が割り当てられています。これをホットキー機能といいます。

キー操作	機能	説明
【F1】	音声のオン/オフ(ミュート機能) ()	音声のオン/オフを切り替えます。 スピーカーがオフの場合、キー右上のランプが点灯します。
【F2】	音量を下げる ()	スピーカの音量を下げます。
【F3】	音量を上げる ()	スピーカの音量を上げます。
【F4】	マイクのオン/オフ ()	ヘッドフォンマイクのオン/オフを切り替えます。 マイクがオフの場合、キー右上のランプが点灯します。
【F5】	輝度を下げる ()	液晶ディスプレイの輝度が下がります (11段階)。
【F6】	輝度を上げる ()	液晶ディスプレイの輝度が上がります (11段階)。
【F7】	チャームバーの「設定」 ()	チャームバーの「設定」を開きます。
【F8】	チャームバーの「検索」 ()	チャームバーの「検索」を開きます。
【F9】	使用中アプリの一覧 ()	現在使用しているアプリの一覧を開きます。
【F10】	アプリ画面 ()	アプリ画面を開きます。
【F11】	Home	【Home】として機能します。
【F12】	End	【End】として機能します。



メモ

ご購入時の状態では、ファンクションキーを押すだけでホットキー機能を使用できます。
【F1】から【F12】として使用するには、【Fn】を押しながらファンクションキーを押します。

【Fn】とファンクションキーの組み合わせを逆転することができます。

【Fn】を押しながら【Esc】を押すと、【Fn】キー右上のランプが点灯し、液晶ディスプレイ下部に **FnLk** が表示されます。この状態で、ファンクションキーを押すと【F1】から【F12】として使用できます。
ホットキー機能を使用するには、【Fn】を押してファンクションキーを押します。
元に戻すには、【Fn】を押しながら【Esc】を押します。【Fn】キー右上のランプが消灯し、液晶ディスプレイ下部に **FnLk** が表示されます。

【Fn】を押しながら【8】を押すと、スライドパッドのオン／オフを切り替えられます。

キーボードの設定

[020605-28]

Windowsでキーボードをより使いやすく設定することができます。



参照

キーボードの設定について

Windowsのヘルプ

本機でマウスを使用する場合の設定について説明しています。

➤ マウスを使用する.....	79
-----------------	----

マウスを使用する

[020902-28]

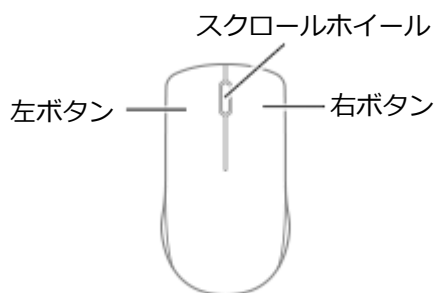
本機では、USB接続のマウスを使用することができます。

添付または別売の当社製USBマウスを使用する場合は、特に設定を行う必要はありません。そのままUSBコネクタに接続してください。

他社製のUSBマウスを使用する場合は、設定が必要になる場合がありますので、お使いのマウスのマニュアルなどをご覧ください。

購入時に、マウスを選択した場合に添付されるマウスを例として説明します。

USB光センサーマウス



チェック

USB光センサーマウスは、マウス底面に光源があり、それをセンサーで検知することでマウスの動きを判断しています。次のような表面では正しく動作しない（操作どおりにマウスポインタが動かない）場合があります。

- 反射しやすいもの（鏡、ガラスなど）
- 網点の印刷物など、同じパターンが連続しているもの（雑誌や新聞の写真など）
- 濃淡のはっきりした縞模様や柄のもの
- 光沢があるもの（透明、半透明な素材を含む）



参照

マウスの使い方

Windowsのヘルプ

スクロールホイールの使い方



チェック

スクロールホイールの機能に対応していないアプリケーションでは使用できません。

● 垂直スクロール機能

スクロールホイールを奥または手前方向に回転させることで、画面を上下にスクロールさせることができます。

- **オートスクロール機能**

スクロールホイールをクリックしたり、押し続けるとスクロールアイコンが表示されます。

その状態で、三角マークの方向にマウスを動かして、画面を上下、または左右にスクロールさせることができます。

スクロールホイールを再度クリックしたり、指を離すとスクロールアイコンが消えます。

液晶ディスプレイ

[021100-28]

本機の液晶ディスプレイの表示の調整や、表示に関する機能の設定などについて説明しています。

➤ 使用上の注意.....	82
➤ 画面表示の調整.....	83
➤ 画面の回転.....	85
➤ ディスプレイストレッチ機能.....	86

使用上の注意

[021101-28]

- 液晶ディスプレイは非常に高精度な技術で作られていますが、色調のズレなど個体差が発生する場合があります。これは液晶ディスプレイの特性によるものであり、故障ではありません。
- OpenGLのアプリケーションを使用した場合、アプリケーションによっては、画面が表示されない、または画面の表示が乱れることがあります。
- Windowsの状態によっては、スクリーンセーバー動作時に液晶ディスプレイの電源がオフにならない場合があります。
- 各種ベンチマークが正常に実行できない場合があります。
- 画面回転時にスリープ状態や休止状態にしたり、再起動や電源を切るなどの操作を行わないでください。
- 動画の再生中は、画面を回転させないでください。
- 動画の再生中は、休止状態やスリープ状態にしないでください。
- 解像度、表示色、または画面の出力先の変更を行う場合は、動画や音楽を再生するアプリケーションを表示したまま行わないでください。
- 動画を再生するアプリケーションによっては、画質が低下する場合があります。

輝度を調整する

「Windows モビリティ センター」で調整する

「Windows モビリティ センター」で輝度を調整できます。輝度は0から100の数値で調整することができます。輝度の調整は次の手順で行います。

- 1 「コントロール パネル (P. 12)」を表示する
- 2 「ハードウェアとサウンド」→「Windows モビリティ センター」をクリック
- 3 「ディスプレイの明るさ」欄のつまみで調整する

キーボードで調整する

デタッチャブルキーボードでも、一時的に輝度を調整できます。

機能	キー操作	説明
輝度を下げる (☀️-)	【Fn】 + 【F5】	液晶ディスプレイの輝度が下がります。
輝度を上げる (☀️+)	【Fn】 + 【F6】	液晶ディスプレイの輝度が上がります。

輝度の自動調整

本機には、輝度センサで感知した周囲の明るさに応じて画面の輝度を自動で調整する機能があります。輝度の自動調整を有効にする場合は、次のいずれかの手順で設定を行います。

- バッテリ駆動時と電源接続時の自動輝度調整を別々で設定する場合

- 1 「コントロール パネル (P. 12)」を表示する
- 2 「ハードウェアとサウンド」→「電源オプション」をクリック
- 3 いずれかの電源プランの「プラン設定の変更」をクリック
- 4 「詳細な電源設定の変更」をクリック

「電源オプション」画面が表示されます。

5 「ディスプレイ」→「自動輝度調整を有効にする」をクリック

6 「バッテリー駆動」または、「電源に接続」をクリック

- **バッテリー駆動**
バッテリー電源で動作しているときの自動輝度調整を有効または無効にします。
- **電源に接続**
電源に接続しているときの自動輝度調整を有効または無効にします。

7 プルダウンメニューを表示し、「オン」を選択する

自動輝度を無効にする場合は「オフ」を選択します。

8 「適用」ボタンをクリック

9 「OK」ボタンをクリック

- バッテリー駆動時と電源接続時の自動輝度調整を同時に設定する場合

1 チャーム バーを表示し、「設定」をクリック

2 「PC設定の変更」をクリック

3 「PCとデバイス」をクリック

4 「電源とスリープ」の「画面の明るさを自動的に調整する」を、「オン」にする

自動輝度を無効にする場合は、「オフ」を選択します。



チェック

輝度の自動調整を使用するときは、輝度センサをふさぐなどして周辺光をさえぎらないようにしてください。



参照

輝度センサの位置について

「各部の名称」の「各部の名称と説明 (P. 30)」

本機の向きを感知して画面の表示方向を切り替える自動回転機能により、自動で画面が回転します。



チェック

- 工場出荷時の設定では、画面の自動回転機能は有効に設定されています。
- 画面が回転しない場合は、「トラブル解決Q&A」の「表示」-「[画面が回転しない \(P. 286\)](#)」をご覧ください、設定を確認してください。



参照

BIOSセットアップユーティリティおよび設定項目について

「システム設定」の「[BIOSセットアップユーティリティについて \(P. 184\)](#)」および「[設定項目一覧 \(P. 191\)](#)」

自動回転機能を一時的に停止（ロック）する

画面回転ロックボタンを押すことで、自動回転機能を一時的に停止（ロック）することができます。もう一度画面回転ロックボタンを押すと、ロックは解除されます。



参照

画面回転ロックボタンについて

「各部の名称」の「[各部の名称と説明 \(P. 30\)](#)」

ディスプレイストレッチ機能

[021104-28]

ディスプレイストレッチ機能とは、液晶ディスプレイの解像度よりもWindowsの解像度設定が低い場合に、液晶ディスプレイに画面イメージを拡大して表示する機能です。

ディスプレイストレッチ機能を使う場合は次の手順で行います。



チェック

ディスプレイストレッチ機能を使用して拡大表示を行っている場合、表示される文字などの線の太さが不均一になることがあります。

- 1 「コントロール パネル (P. 12)」を表示する
- 2 「デスクトップのカスタマイズ」の「画面の解像度の調整」をクリック
- 3 「詳細設定」をクリック
- 4 「インテル(R) HD グラフィックス・コントロール・パネル」タブをクリックし、「グラフィックス・プロパティ」ボタンをクリック
- 5 「ディスプレイ」をクリック
- 6 左上の「ディスプレイ」をクリックし、表示されたメニューから「ディスプレイの設定」をクリック
- 7 「ディスプレイの選択」欄で「内蔵ディスプレイ」を選択する
- 8 「スケーリング」欄で「全画面のスケールにする」を選択する
- 9 「適用」ボタンをクリック
設定の保存を確認するメッセージが表示されます。
- 10 「はい」ボタンをクリック
- 11 「インテル® HD グラフィックス・コントロール・パネル」を閉じる
- 12 「OK」ボタンをクリック

設定が有効になり、ディスプレイストレッチ機能が使用できます。

画面の表示先の切り替えなどについて説明しています。

➤ 使用上の注意.	89
➤ microHDMIコネクタ.	90
➤ 外部ディスプレイ接続時の表示機能.	92
➤ 表示先、表示機能の設定.	93
➤ ディスプレイに合わせた設定.	96

使用上の注意

[021201-28]

- 本機の電源が入っている状態、スリープ状態、および休止状態のときは、外部ディスプレイコネクタへのディスプレイケーブルの取り付け、取り外しを行わないでください。
- 動画の再生中は、休止状態やスリープ状態にしないでください。
- 解像度、または画面の出力先の変更を行う場合は、動画や音楽を再生するアプリケーションを表示したまま行わないでください。
- 本機の液晶ディスプレイと外部ディスプレイの同時表示を行っている場合、オーバーレイを使用して再生する動画は、プライマリ側のディスプレイにのみ表示されます。
- デュアルディスプレイ機能使用時に動画を再生し、表示が乱れた場合、デュアルディスプレイ機能を使用せずに本機の液晶ディスプレイまたは外部ディスプレイのみで動画の再生をしてください。
- 外部ディスプレイに表示している状態で、本機の液晶ディスプレイを近づけると、画面がちらつくことがありますが、故障ではありません。

microHDMIコネクタ使用時の注意

- すべてのHDMI規格に対応した外部ディスプレイやテレビでの動作確認はしておりません。そのため、HDMI規格に対応した外部ディスプレイやテレビによっては正しく表示されない場合があります。
- HDMIケーブルは、別途市販のものをお買い求めください。
- 本機の電源が入っている状態、スリープ状態、および休止状態のときは、microHDMIコネクタへのHDMIケーブルの取り付け、取り外しを行わないでください。
- 著作権保護されたコンテンツなどは出力されない場合があります。
- HDMIディスプレイ接続時、リフレッシュレートが30Hz（インターレース）に設定されていると、本機の操作中にちらつく場合があります。その場合はリフレッシュレートを60Hz（プログレッシブ）に変更してください。
- 使用環境によっては、60Hz（プログレッシブ）に変更するか解像度を低くしないと描画性能が上がらない場合があります。
- HDMIディスプレイのタイプによっては、解像度を変更しないと、60Hz（プログレッシブ）に変更できない場合があります。

microHDMIコネクタ

[021204-28]

➤ microHDMIコネクタへの接続.	90
➤ microHDMIコネクタ使用時の音声出力について.	90

microHDMIコネクタへの接続

- 1 本機と接続する外部ディスプレイやテレビの電源を切る**
- 2 HDMIケーブルで、microHDMIコネクタとHDMI規格に対応した外部ディスプレイやテレビなどを接続する**



参照

microHDMIコネクタの位置について
「各部の名称」の「[各部の名称と説明 \(P. 30\)](#)」

- 3 外部ディスプレイやテレビと、本機の電源を入れる**

詳しくは外部ディスプレイやテレビのマニュアルをご覧ください。

以上で外部ディスプレイの接続は完了です。

microHDMIコネクタ使用時の音声出力について

microHDMIコネクタに映像を出力すると、接続したHDMI機器が音声出力に対応している場合には音声を出力することができます。

自動で切り換わる場合もありますが、自動的に音声切り替わりしない場合は、次の手順で設定を行ってください。

- 1 サウンドデバイスを使用しているすべてのソフトを終了する**
- 2 「コントロール パネル (P. 12)」を表示する**
- 3 「ハードウェアとサウンド」をクリック**
- 4 「サウンド」をクリック**
「サウンド」が表示されます。
- 5 「再生」タブをクリック**

6 「インテル(R) ディスプレイ用オーディオ」を選択して、「既定値に設定」ボタンをクリック

7 「OK」ボタンをクリック

音声 HDMI 経由で出力されるようになります。



チェック

microHDMIコネクタに映像を出力しているときに音声が出られなくなった場合は、本機を再起動すると改善されることがあります。

外部ディスプレイ接続時の表示機能

[021205-28]

外部ディスプレイを接続して使用する場合、本機の液晶ディスプレイ、または接続した外部ディスプレイのみに表示する他、次の表示機能が使用できます。

デュアルディスプレイ

本機の液晶ディスプレイと外部ディスプレイを使用して、ひとつの画面として表示できる機能です。液晶ディスプレイと外部ディスプレイを続き画面として利用できるのもので、表示できる範囲が広がります。

クローンモード

本機の液晶ディスプレイと外部ディスプレイで同時表示を行います。
表示される内容は同じものですが、選択した解像度によっては本機の液晶ディスプレイと外部ディスプレイが異なる表示状態になる場合があります。



チェック

接続している外部ディスプレイやプロジェクタによっては、これらの機能の選択時に、画面の解像度が変更される場合があります。その場合は、解像度を設定しなおしてください。



参照

表示先や表示機能の設定について
「[表示先、表示機能の設定 \(P. 93\)](#)」

表示先、表示機能の設定

[021206-28]

外部ディスプレイなどを接続した場合、次の方法で表示先、表示機能の設定ができます。



チェック

動画再生のソフトウェアを表示中は、設定の変更を行わないでください。設定の変更を行った場合は、動画再生のソフトウェアを再起動してください。

「インテル® HD グラフィックス・コントロール・パネル」で設定する



チェック

- 「拡張」から「クローン」へ、または「クローン」から「拡張」へ、設定を直接変更できない場合があります。その場合は、一度「シングル」に変更してから、「拡張」または「クローン」への変更を行ってください。
- デュアルディスプレイ機能は、2つの画面の表示方向が「横（0度）」の場合のみ使用可能です。
- デュアルディスプレイ機能使用時、本機の操作にはUSBマウスが必要です。
- デュアルディスプレイ機能を使用中は、プライマリディスプレイとセカンダリディスプレイの交換はできません。一度、本機の液晶ディスプレイのみの表示などに設定を変更してから、プライマリディスプレイとセカンダリディスプレイを設定しなおしてください。

1 「コントロール パネル (P. 12)」を表示する

2 「デスクトップのカスタマイズ」の「画面の解像度の調整」をクリック

3 「詳細設定」をクリック

4 「インテル(R) HD グラフィックス・コントロール・パネル」タブをクリックし、「グラフィックス・プロパティ」ボタンをクリック

5 「ディスプレイ」をクリック

6 左上の「ディスプレイ」をクリックし、表示されたメニューから「マルチ・ディスプレイ」をクリック

7 「ディスプレイ・モードの選択」欄で表示したい設定を選択する

選択できる表示先、表示機能の設定は次の通りです。

項目	設定される表示先、表示機能
シングル	「アクティブ・ディスプレイの選択」で選択した1つのディスプレイのみに表示

クローン	クローンモード
拡張	デュアルディスプレイ

8 「アクティブ・ディスプレイの選択」欄で、使用するディスプレイを選択する

一覧には「内蔵ディスプレイ」「PCモニター」などが表示されます。



メモ

- 「シングル」を選択した場合、「アクティブ・ディスプレイの選択」欄には、1つのみディスプレイを設定できる欄が表示されます。
- 「クローン」「拡張」を選択した場合は、「アクティブ・ディスプレイの選択」欄に、複数のディスプレイを設定できる欄が表示されます。
- 「拡張」を選択した場合は、「ディスプレイの配置」でディスプレイアイコンをドラッグして、位置を調整することが可能です。

9 「適用」ボタンをクリック

設定の保存を確認するメッセージが表示されます。

10 「はい」ボタンをクリック

11 「インテル® HD グラフィックス・コントロール・パネル」を閉じる

12 「OK」ボタンをクリック

以上で表示先、表示機能の設定は完了です。

キーボードで設定を切り替える（デタッチャブルキーボード使用時のみ）

本機では、キーボードで表示先や表示機能の設定を切り替えることができます。設定を切り替えるには、次の方法があります。

【Windows】 + 【P】 を押す

【Windows】 + 【P】 を押すと、選択できる表示先、表示機能が画面上に表示されます。【P】、【↑】、【↓】を使って画面の出力先を変更し、【Enter】を押すごとに、表示先、表示機能が切り替わります。選択できる表示先、表示機能は次の通りです。

項目	設定される表示先、表示機能
PC 画面のみ	本機の液晶ディスプレイ
複製	本機の液晶ディスプレイと外部ディスプレイでのクローンモード

拡張	本機の液晶ディスプレイと外部ディスプレイでのデュアルディスプレイ
セカンド スクリーンのみ	外部ディスプレイ

ディスプレイに合わせた設定

[021208-28]

外部ディスプレイ使用時に、表示が適切でない場合やプラグ&プレイに対応していないディスプレイを使用しているときは、次の操作を行ってください。



チェック

プラグ&プレイに対応したディスプレイを使用しても、ディスプレイの情報が反映されない場合があります。その場合も、次の操作を行ってください。

お使いのディスプレイにドライバが用意されている場合

ディスプレイのマニュアルをご覧ください、ドライバのインストールを行ってください。

お使いのディスプレイにドライバが用意されていない場合

次の手順で設定を行ってください。

- 1 「コントロール パネル (P. 12)」を表示する
- 2 「デスクトップのカスタマイズ」の「画面の解像度の調整」をクリック
- 3 外部ディスプレイのモニタアイコンをクリックし、「詳細設定」をクリック
- 4 「モニター」タブをクリックし、「プロパティ」ボタンをクリック
- 5 「ドライバー」タブをクリックし、「ドライバーの更新」ボタンをクリック
「ドライバー ソフトウェアの更新」が表示されます。
- 6 「コンピューターを参照してドライバー ソフトウェアを検索します」をクリック
- 7 「コンピューター上のデバイス ドライバーの一覧から選択します」をクリック
- 8 「互換性のあるハードウェアを表示」のチェックを外す
- 9 「製造元」と「モデル」を選択し、「次へ」ボタンをクリック

一覧に、接続したディスプレイのモデルが表示されない場合は、「製造元」欄で「(標準モニターの種類)」を選択し、「モデル」欄で接続したディスプレイに対応した解像度を選択してください。

10 「閉じる」 ボタンをクリック

11 「閉じる」 ボタンをクリック

12 「OK」 ボタンをクリック

13 「OK」 ボタンをクリック

以上でディスプレイの設定は完了です。

本機のWebカメラについて説明しています。

▶ Webカメラについて.....	99
-------------------	----

Webカメラについて

[023602-28]

本機のWebカメラでは、動画・静止画の撮影や、Windowsの「カメラ」アプリとの連携を行えます。



参照

Webカメラの位置について

「各部の名称」 - 「[各部の名称と説明 \(P. 30\)](#)」

■ 使用上の注意

本機の画面回転機能で画面の表示方向を切り替えた場合、ご利用になるWebカメラ用ソフトウェアによっては、表示されるWebカメラの映像が正常な方向に回転しない場合があります。

そのような場合には、本体前面のWindowsアイコンが画面の下側に見える状態に戻してご使用ください。

内蔵フラッシュメモリ

[021400-28]

➤ 使用上の注意.....	101
➤ 内蔵フラッシュメモリのメンテナンス.....	102

使用上の注意

[021401-28]

内蔵フラッシュメモリは非常に精密に作られています。次の点に注意して使用してください。

- 内蔵フラッシュメモリのデータを破損させる外的な要因には次のようなものがあります。
 - 高熱
 - 落雷
- 内蔵フラッシュメモリが故障すると、記録されているデータが使用できなくなる場合があります。特に、お客様が作成したデータは再セットアップしても元には戻りません。定期的にバックアップをとることをおすすめします。
- 内蔵フラッシュメモリの領域の作成や削除、フォーマットは「コンピューターの管理」の「ディスクの管理」から行います。



参照

ドライブ構成の変更、および「ディスクの管理」の表示について

「トラブル解決Q&A」の「内蔵フラッシュメモリ」 - [「複数のパーティションを利用したい \(P. 335\)」](#)

- 本機の内蔵フラッシュメモリには、「ディスクの管理」でドライブ文字が割り当てられていない領域が表示されます。この領域には、システム復旧時に必要なデータなどが格納されています。この領域にあるデータは削除しないでください。
- 64GBの内蔵フラッシュメモリが搭載されているモデルをお使いの場合、大量の写真データや動画などの非常に大きな容量のファイルの保存先には、USBメモリーやmicroSDカードを指定することをおすすめします。内蔵フラッシュメモリの空き容量が少なくなると、動作の不具合などが起きる可能性があります。

内蔵フラッシュメモリのメンテナンス

[070200-28]

➤ バックアップ.....	102
➤ 復元.....	102
➤ その他のメンテナンス.....	103

内蔵フラッシュメモリ内の大切なデータを守り、トラブルを予防するには、データのバックアップが重要です。また、突然のトラブルを予防するために、定期的にメンテナンスを行うことも大切です。ここでは、内蔵フラッシュメモリのバックアップ方法、および内蔵フラッシュメモリのメンテナンスについて説明しています。

バックアップ

Windowsではファイルとフォルダ、またはコンピュータ全体をバックアップすることができます。大切なデータを保護するには、定期的にバックアップしてください。バックアップの方法についての詳細は、Windowsのヘルプをご覧ください。

復元

ファイルの復元

お客様が作成したファイル（データファイル）を紛失、あるいは損傷してしまった場合、ファイルの復元を行うことにより、ファイルをバックアップした時の状態に戻すことができます。また、ファイルの復元は個別、グループ単位で復元することができます。ファイルの復元の方法についての詳細は、Windowsのヘルプをご覧ください。



チェック

ファイルの復元を行うときは、すべてのアプリケーションを終了してください。

システムの復元

本機の動作が不安定になるなど、システムにトラブルが起きてしまった場合には、「システムの復元」を実行すると、もとの状態に戻すことができます。システムの復元の方法については、『再セットアップガイド』をご覧ください。



チェック

- システムの復元を行うときは、すべてのアプリケーションを終了してください。
- システムの復元では、お客様が作成したファイル（データファイル）を復元することはできません。

■ その他のメンテナンス

内蔵フラッシュメモリ内のデータの障害をチェックし、効率的に利用するために、次のメンテナンスツールがインストールされています。

これらのツールについて詳しくは、Windowsのヘルプをご覧ください。

チェック ディスク

内蔵フラッシュメモリや内蔵フラッシュメモリ内のデータの障害を検査するためのツールです。

ファイルシステムやFAT（ファイルアロケーションテーブル）、クラスタ、ディレクトリツリー構造などをチェックすることができます。

ディスク クリーンアップ

不必要なファイルを削除し、内蔵フラッシュメモリの空き容量を増やすためのツールです。

microSDメモリーカードスロット

[022700-28]

microSDメモリーカードスロットの使用上の注意や使い方などについて説明しています。

➤ 使用上の注意.....	105
➤ セットのしかた／取り出し方.....	107

使用上の注意

[022701-28]

- Windows上でmicroSDメモリーカードのフォーマットやディスクデフラグを行わないでください。各メモリーカード対応機器との互換性や性能などで問題が生じる場合があります。
- 静電気や電氣的ノイズの影響を受ける場所ではmicroSDメモリーカードを使わないでください。
- microSDメモリーカードの取り扱いについては、それぞれのmicroSDメモリーカード製品に添付のマニュアルや取扱説明などの指示に従ってください。
- 本機やmicroSDメモリーカードの不具合により、音楽データの録音ができなかったり、データの破損、消去が起きた場合、データの内容の補償はいたしかねます。
- お客様が画像、音楽、データなどを記録（録画・録音などを含む）したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- 大切なファイルはコピーして、バックアップを取ることをおすすめします。
- 本機の内蔵フラッシュメモリ以外からmicroSDメモリーカードにデータを保存する場合は、一度、本機の内蔵フラッシュメモリにデータを保存し、そこからmicroSDメモリーカードにデータを保存してください。
- データの保存中にスリープ／休止状態にしないでください。メモリーカード内のデータが破損したり誤動作の原因になります。
- 本機がスリープ／休止状態にあるときは、メモリーカードを抜き挿ししないでください。また、スリープ／休止状態から復帰する際は、Windowsのサインイン画面またはデスクトップが表示されるまでメモリーカードを抜き挿ししないでください。メモリーカード内のデータが破損したり誤動作の原因になる場合があります。
- すべてのmicroSDメモリーカードの動作を保証するものではありません。
- さまざまな規格のメディアがありますので、本機のmicroSDメモリーカードスロットで使えるメディアかどうかや、メディアの使用方法をお確かめになり、お使いください。
- メモリーカードの端子面が汚れていると、メモリーカードを認識しなかったり、データの読み込み、書き出しができないことがあります。端子面が汚れた場合は、メモリーカードに添付のマニュアルをご覧ください。処置してください。
- メモリーカードにデータを保存中、または読み込み中に周辺機器を接続しないでください。

microSDメモリーカードを使用するときの注意

- microSDメモリーカードは、標準フォーマットとして、それぞれ「microSDメモリーカード」規格、「microSDHCメモリーカード」規格、「microSDXCメモリーカード」規格に準拠したフォーマットで出荷されており、すぐにお使いになれます。フォーマットが必要な場合は、デジタルカメラなどのmicroSDメモリーカード対応機器か、SD規格対応フォーマット機能を搭載したアプリなどでフォーマットを行ってください。デジタルカメラなどでのフォーマット方法については、ご使用の機器などに添付のマニュアルをご覧ください。
- 本機では、2Gバイトまでの「microSDメモリーカード」、32Gバイトまでの「microSDHCメモリーカード」および128Gバイトまでの「microSDXCメモリーカード」で動作確認を行っています。2Gバイトを超える容量の「microSDメモリーカード」、32Gバイトを超える容量の「microSDHCメモリーカード」および128Gバイトを超える容量の「microSDXCメモリーカード」での動作は保証しておりません。
- 本機では、「マルチメディアカード（MMC）」には対応していません。
- 本機は、SDIOには対応していません。
- 裏面に通電性（電気を通す性質）がある金属が使用されているmicroSDメモリーカードや変換アダプタは使用しないでください。本機内部のコネクタと接触し本機やメモリーカードの故障の原因になる場合がありますので、ご注意ください。

microSDメモリーカードスロットを制限する

本機では、BIOSセットアップユーティリティのI/O制限で、microSDメモリーカードスロットの有効／無効を設定して、使用を制限することができます。



参照

I/O制限について

「セキュリティ機能」の「[I/O制限 \(P. 172\)](#)」

セットのしかた／取り出し方

[022702-28]

セットのしかた

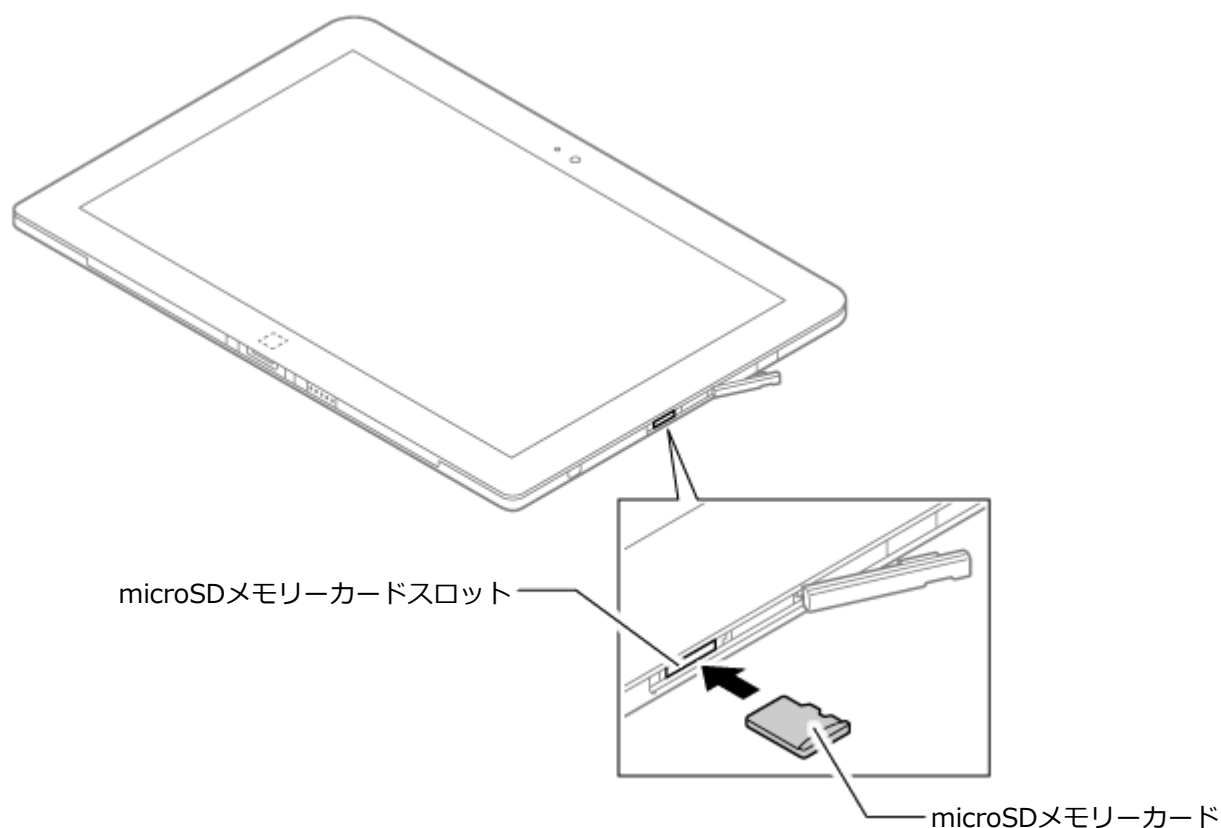


チェック

- ダミーカードがセットされている場合は、セットをする前に「取り出し方」をご覧ください。ダミーカードを取り出してください。
- microSDメモリーカードには表面と裏面があり、スロットへ差し込む方向が決まっています。間違った向きで無理やり差し込むと、カードやスロットが破損することがあります。詳しくは、microSDメモリーカードに添付のマニュアルをご覧ください。

1 microSDメモリーカードを向きに注意して、microSDメモリーカードスロットに奥までしっかり差し込む

表面を上にして差し込んでください。



チェック

右側にあるminiUIMカードスロットへ挿入しないようにしてください。破損の原因となります。

取り外し方

1 タスク バーの通知領域の  をクリックし、 または  をクリック

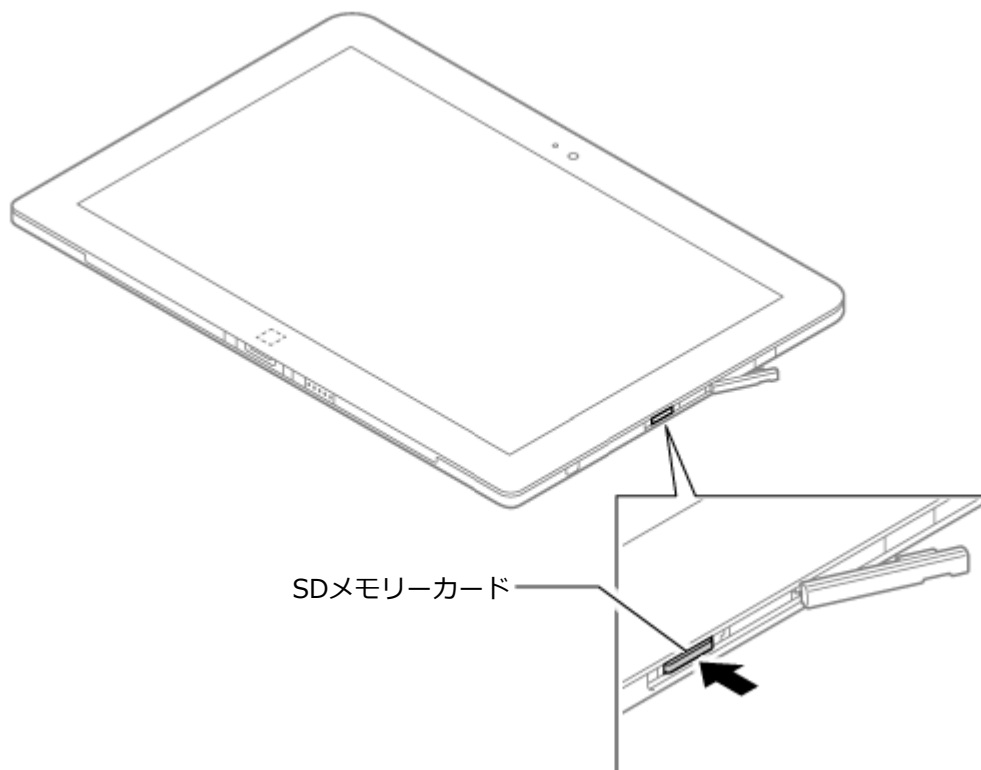
2 表示される「×××××の取り出し」から、取り外す周辺機器をクリック

安全に取り外しができるという内容のメッセージが表示されます。

表示される「×××××の取り出し」に取り外す周辺機器がない場合は手順3に進んでください

3 microSDメモリーカードを押す

microSDメモリーカードが飛び出します。



4 microSDメモリーカードを水平に引き抜く

本機の音量の調節について説明しています。

▶ 音量の調節.	110
▶ マイクの設定.	112

音量の調節

[021702-28]

音量ミキサーを使う

Windowsの「音量ミキサー」で音量を調節することができます。

1 タスク バーの通知領域の （音量）をクリック

2 表示されたウィンドウから「ミキサー」をクリック

「音量ミキサー」が表示されます。

3 調節したいデバイスやアプリケーションのスライドで音量を調節する



参照

音量ミキサーについて
Windowsのヘルプ

音量調整ボタンで調節する

+を押すと音量を大きく、-を押すと音量を小さく調節することができます。

キーボードで調節する（デタッチャブルキーボード使用時のみ）

【Fn】 + 【F3】を押すと音量を大きく、【Fn】 + 【F2】を押すと音量を小さく調節することができます。

音声のオン/オフ（ミュート機能）

【Fn】 + 【F1】を押すと、音声のオン/オフを切り替えることができます。



参照

【Fn】について
「キーボード」の「[キーの使い方 \(P. 75\)](#)」

録音音量の調節

本機で録音音量を調節する場合は次の手順で行ってください。

1 マイクなどの録音機器を接続する

2 タスク バーの通知領域の  (音量) を右クリックし、表示されたメニューから「録音デバイス」をクリック

3 使用する録音デバイスをクリックし、「プロパティ」ボタンをクリック



チェック

- 使用する録音デバイスが表示されていない場合は「次のオーディオ録音デバイスがインストールされています」の枠内を右クリックし、「無効なデバイスの表示」にチェックを入れ、表示されたデバイスを有効にしてください。
- 録音デバイスが複数ある場合は、使用するデバイスをクリックし、「既定値に設定」ボタンをクリックしてください。

4 「レベル」タブをクリックし、表示される画面で録音音量を調節する

5 「OK」ボタンをクリック

6 「OK」ボタンをクリック



チェック

「内蔵マイクのプロパティ」や「ステレオミキサーのプロパティ」の「聴く」タブで「このデバイスを聴く」にチェックを入れないでください。チェックを入れると、常時ハウリングが発生します。

ヘッドフォンマイクのオン/オフ

【Fn】 + 【F4】 を押すと、ヘッドフォンマイクのオン/オフを切り替えることができます。



参照

【Fn】について

「キーボード」の「[キーの使い方 \(P. 75\)](#)」

マイクの設定

[021706-28]

■「Realtek オーディオマネージャ」で設定する

「Realtek HD オーディオマネージャ」でマイクの設定を行うことができます。マイクの設定では、マイクでの録音時のノイズ抑制やエコーの軽減、ビームフォーミング機能の設定などが行えます。マイクの設定は、次の手順で行ってください。

- 1 アプリ画面 (P. 12)を開き、アプリの一覧で「Realtek Audio Manager」をタップ
- 2 「音声録音」をタップ
- 3 設定する機能をタップ
- 4 右上の×ボタンをタップして、設定画面を閉じる

以上でマイクの設定は完了です。

本機のLAN（ローカルエリアネットワーク）機能を使用する際の注意や設定などについて説明しています。

➤ 本機を安全にネットワークに接続するために.	114
➤ 使用上の注意.	116
➤ LANへの接続.	117
➤ LAN機能の設定.	119

本機を安全にネットワークに接続するために

[021801-28]

コンピュータウイルスやセキュリティ上の脅威を避けるためには、お客様自身が本機のセキュリティを意識し、常に最新のセキュリティ環境に更新する必要があります。

本機のLAN機能や無線LAN機能を使用して、安全にネットワークに接続するために、次の対策を行うことを強くおすすめします。



チェック

稼働中のネットワークに接続する場合は、接続先のネットワークの管理者の指示に従って接続を行ってください。



メモ

Windowsのセキュリティ機能（アクション センター）では、ファイアウォールの設定、自動更新、マルウェア対策ソフトウェアの設定、インターネットセキュリティの設定、ユーザーアカウント制御の設定などの、コンピュータ上のセキュリティに関する重要事項の状態をチェックすることができます。詳しくはWindowsのヘルプをご覧ください。

セキュリティ対策アプリケーションの利用

コンピュータウイルスから本機を守るために、セキュリティ対策アプリケーションをインストールすることをおすすめします。

本機を利用する環境で、使用するセキュリティ対策アプリケーションが定められている場合は、そのアプリケーションを使用してください。

また、本機にはウイルスを検査・駆除するアプリケーションとしてマカフィー リブセーフが添付されています。



参照

マカフィー リブセーフについて

「便利な機能とアプリケーション」の「[マカフィー リブセーフ \(P. 227\)](#)」

ファイアウォールの利用

コンピュータウイルスによっては、ネットワークに接続ただけで感染してしまう例も確認されています。このようなコンピュータウイルスから本機を守るためにファイアウォール（パーソナルファイアウォール）を利用することをおすすめします。

本機を利用する環境で、ファイアウォールの利用についての規則などがある場合は、そちらの規則に従ってください。また、本機にインストールされているOSでは、標準で「Windows ファイアウォール」機能が有効になっています。「Windows ファイアウォール」について、詳しくはWindowsのヘルプをご覧ください。

Windows® Update、またはMicrosoft® Update

最新かつ重要な更新プログラムが提供されています。

Windowsを最新の状態に保つため、ネットワークに接続後、定期的にWindows® Update、またはMicrosoft® Updateを実施してください。



チェック

- PCの安定動作およびセキュリティ向上のため、Windows® Update、またはMicrosoft® Updateを可能な限りOSのセットアップ直後に実施してください。アップデートの前にInternet Explorerのダウングレードなど、必要な作業項目がある場合は、各手順に従って対応してください。
- 本機には更新プログラムがインストールされています。更新プログラムをアンインストールすると、修正されていた問題が発生する可能性がありますので、更新プログラムのアンインストールは行わないでください。

使用上の注意

[021802-28]

LANに接続して本機を使用するときは、次の点に注意してください。

- システム運用中は、LANケーブルを外さないでください。ネットワークが切断されます。ネットワーク接続中にLANケーブルが外れたときは、すぐに接続することで復旧し、使用できる場合もありますが、使用できない場合は、Windows を再起動してください。
- LAN回線を接続してネットワーク通信をする場合は、本機にACアダプタを接続して使用するようにしてください。バッテリーのみで使用すると、使用時間が短くなります。
- スリープ状態または休止状態では、ネットワーク機能がいったん停止しますので、ネットワークの通信中にはスリープ状態または休止状態にしないでください。
- ネットワークを使用するアプリケーションを使う場合、使用するアプリケーションによっては、スリープ状態または休止状態から復帰した際にデータが失われることがあります。
あらかじめお使いのアプリケーションについてシステム管理者に確認のうえ、スリープ状態または休止状態を使用してください。
- 1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-Tシステムの保守については、ご購入元または当社指定のサービス窓口にお問い合わせください。

ユニバーサル管理アドレスについて

ユニバーサル管理アドレスは、IEEE（米国電気電子技術者協会）で管理されているアドレスで、主に他のネットワークに接続するときなどに使用します。次のコマンドを入力することで、LANまたは無線LANのユニバーサル管理アドレスを確認することができます。

コマンド プロンプトで次のいずれかのコマンドを入力し、【Enter】を押してください。

コマンド	確認方法
net config workstation	アダプタがアクティブな場合、「アクティブなネットワーク（ワークステーション）」という項目の（ ）内に表示されます。
ipconfig /all	アダプタごとに「物理アドレス」として表示されます。

LANの設置

初めてネットワークシステムを設置するためには、配線工事などが必要ですので、ご購入元または当社指定のサービス窓口にお問い合わせください。また、本機に接続するケーブル類やハブなどは、当社製品を使用してください。他社製品を使用し、システムに異常が発生した場合の責任は負いかねますので、ご了承ください。

接続方法

本機を有線ネットワークに接続するには、ご購入時に選択した場合に添付されるUSB-LAN変換アダプタと別売のLANケーブルが必要です。LANケーブルは、10BASE-Tで接続するにはカテゴリ3以上、100BASE-TXで接続するにはカテゴリ5以上、1000BASE-Tで接続するにはエンハンスドカテゴリ5以上のLANケーブルを使用してください。また、ネットワーク側のコネクタに空きがない場合、ハブやスイッチでコネクタを増やす必要があります。LANケーブルの接続は次の手順で行います。



チェック

- USB-LAN変換アダプタは、ご購入時に選択した場合に添付されますが、別途購入することもできます。
- USB-LAN変換アダプタは、本機のUSBポートに直接接続してください。USBハブでは使用できません。
- 本機を稼働中のLANに接続するには、システム管理者またはネットワーク管理者の指示に従って、ネットワークの設定とLANケーブルの接続を行ってください。
- 搭載されているLANアダプタは、接続先の機器との通信速度（1000Mbps/100Mbps/10Mbps）を自動検出して最適な通信モードで接続するオートネゴシエーション機能をサポートしています。なお、セットアップが完了したときに、オートネゴシエーション機能は有効に設定されています。接続先の機器がオートネゴシエーション機能をサポートしていない場合は、「ネットワークのプロパティ」で通信モードを接続先の機器の設定に合わせるか、接続先の機器の通信モードを半二重に設定してください。
- オートネゴシエーションのみサポートしているネットワーク機器でリンク速度を固定して接続する場合、「速度とデュプレックス/スピードと二重」の設定は「ハーフデュプレックス/半二重」に設定してください。「フルデュプレックス/全二重」に設定すると、通信速度が異常に遅かったり、通信ができないなどの問題が発生します。

1

本機の電源を切る

2

本機のUSBコネクタにUSB-LAN変換アダプタを接続する



チェック

USB-LAN変換アダプタは、USBコネクタにしっかりと取り付けてください。



参照

USBコネクタの位置

「各部の名称」の「[各部の名称と説明 \(P. 30\)](#)」

3 LANケーブルをUSB-LAN変換アダプタに接続する



チェック

LANケーブルは、USB-LAN変換アダプタにしっかりと取り付けてください。

4 ハブなどのネットワーク機器に、LANケーブルのもう一方のコネクタを接続する

5 本機の電源を入れる

ネットワーク側の接続や設定については、接続するネットワーク側の機器のマニュアルをご覧ください。

ここでは、LANに接続するために必要なネットワークのセットアップ方法を簡単に説明します。



参照

必要な構成要素の詳細について

Windowsのヘルプの中にあるネットワーク関連の項目

ネットワーク接続のセットアップ



チェック

工場出荷時は、ネットワークプロトコル（TCP/IP）が設定されています。

1

「コントロール パネル (P. 12)」を表示する

2

「ネットワークとインターネット」の「ネットワークの状態とタスクの表示」をクリック

3

左のメニューから「アダプターの設定の変更」をクリック

4

「イーサネット」を右クリックし、表示されたメニューから「プロパティ」をクリック

5

「ネットワーク」タブで必要な構成要素の設定をする



メモ

必要な構成要素がわからない場合は、システム管理者またはネットワーク管理者に相談してください。

6

「OK」ボタンをクリック

7

 をクリック

8

 をクリック

以上でネットワーク接続のセットアップは完了です。
続いて、コンピュータ名などの設定を行います。

接続するネットワークとコンピュータ名の設定

接続するネットワークに関する設定と、ネットワークで表示されるコンピュータ名を設定します。

1 「コントロール パネル (P. 12)」を表示する

2 「システムとセキュリティ」をクリックし、「システム」をクリック

3 「コンピューター名、ドメインおよびワークグループの設定」欄の「設定の変更」をクリック

4 「コンピューター名」タブの「変更」ボタンをクリック

5 「コンピューター名」、「ワークグループ」または「ドメイン」に必要な情報を入力する



メモ

入力する情報がわからない場合は、システム管理者またはネットワーク管理者に相談してください。

6 「OK」ボタンをクリック

確認のメッセージが表示されます。

7 「OK」ボタンをクリック

8 「閉じる」ボタンをクリック

9 再起動を促すメッセージが表示された場合は、「今すぐ再起動する」ボタンをクリック

本機が再起動します。

以上でLANの設定は完了です。

本機の無線LAN機能の概要について説明しています。

- 概要. 122
- 本機を安全にネットワークに接続するために. 124
- 無線LAN製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意. 126
- 使用上の注意. 128
- 無線LAN機能のオン／オフ. 130
- 無線LANの設定と接続. 132
- 無線LANに関する用語一覧. 138

無線LAN機能でできること

無線LAN機能を使用することで、次のようなことができます。

無線LAN対応周辺機器との無線接続

本機と無線LANに対応した別売の周辺機器を使用すると、ケーブルで接続せずにLANを利用できます。例えば、無線LANに対応したルータやターミナルアダプタなどを利用してインターネットに接続できます。

他の無線LAN対応コンピュータとの無線通信

本機と無線LANに対応した他のコンピュータとの間で、ケーブル接続やメモリーカードなどの媒体を使用せずに、ファイルのコピーなどが行えます。



チェック

- 無線LAN機能は、周囲にあるIEEE802.11a (5GHz)、IEEE802.11b (2.4GHz)、IEEE802.11g (2.4GHz)、およびIEEE802.11n (2.4/5GHz) に対応した無線LAN機器を検出し、このうち1台を選択して接続できます。
- 40MHz、80MHzの帯域幅を利用した無線LAN通信を行うには、接続先の無線LAN機器もそれらの帯域幅に対応している必要があります。
- IEEE802.11n (2.4/5GHz) 規格、またはIEEE802.11ac(5GHz)規格による無線通信を行う際は、暗号化方式をAESに設定してください。それ以外の方式に設定した場合、これらの規格が利用できません。
- WPA - エンタープライズ、WPA2 - エンタープライズまたは認証機能 (IEEE802.1X) を使用した接続を行う場合は、各項目の設定内容をネットワークの管理者にお問い合わせください。

無線LAN機能使用上の注意

- 通信速度・通信距離は、無線LAN対応機器や電波環境・障害物・設置環境などの周囲条件によって異なります。
- 電波の性質上、通信距離が離れるに従って通信速度が低下する傾向があります。より快適にお使いいただくために、無線LAN対応機器同士は近い距離でを使用することをおすすめします。
- 2.4GHz周波数帯を利用する機器（電子レンジなど）を同時に使用した場合、2.4GHz無線LAN対応機器の通信速度、通信距離が低下する場合があります。2.4GHz無線LAN対応機器と2.4GHz周波数帯を利用する機器（電子レンジなど）は離して使用することをおすすめします。
- Bluetooth機能と無線LAN機能を同時に使用した場合、それぞれの通信速度や通信距離が低下する場合があります。
- 2.4GHz無線LAN対応機器とBluetooth機器など、同じ周波数帯を利用する機器を同時に使用した場合、それぞれの機器の通信速度や通信距離が低下する場合があります。同じ周波数帯を利用する機器はいずれかをオフにするか、離して使用することをおすすめします。
- ネットワークへの接続には、別売の無線LANアクセスポイントなどが必要です。

- 医療機関で使用する場合には、医療機関側が本製品の使用を禁止した区域では、本製品の電源を切るか無線LAN機能をオフにしてください。また、医療機関側が本製品の使用を認めた区域でも、近くで医療機器が使用されている場合には、本製品の電源を切るか無線LAN機能をオフにしてください。
- スリープ状態または休止状態では、ネットワーク機能がいったん停止しますので、ファイルコピーなどの通信動作が終了してからスリープ状態または休止状態にしてください。また、使用するアプリケーションによっては、スリープ状態または休止状態から復帰した際にデータが失われることがあります。ネットワークを使用するアプリケーションを使う場合には、あらかじめお使いのアプリケーションについてシステム管理者に確認の上、スリープ状態または休止状態を使用してください。



参照

無線LAN機能のオン／オフについて
「無線LAN機能のオン／オフ (P. 130)」

無線LAN対応製品との接続

無線LAN対応製品

本製品と接続できる無線LAN対応製品には、無線LAN内蔵コンピュータ、無線LANアクセスポイント、無線LAN周辺機器などがあります。

無線LAN機器同士の接続互換性については、業界団体Wi-Fi Alliance による「Wi-Fi®」認定を取得している、同じ規格の製品をご購入されることをおすすめします。

本機を安全にネットワークに接続するために

[021801-28]

コンピュータウイルスやセキュリティ上の脅威を避けるためには、お客様自身が本機のセキュリティを意識し、常に最新のセキュリティ環境に更新する必要があります。

本機のLAN機能や無線LAN機能を使用して、安全にネットワークに接続するために、次の対策を行うことを強くおすすめします。



チェック

稼働中のネットワークに接続する場合は、接続先のネットワークの管理者の指示に従って接続を行ってください。



メモ

Windowsのセキュリティ機能（アクション センター）では、ファイアウォールの設定、自動更新、マルウェア対策ソフトウェアの設定、インターネットセキュリティの設定、ユーザーアカウント制御の設定などの、コンピュータ上のセキュリティに関する重要事項の状態をチェックすることができます。詳しくはWindowsのヘルプをご覧ください。

セキュリティ対策アプリケーションの利用

コンピュータウイルスから本機を守るために、セキュリティ対策アプリケーションをインストールすることをおすすめします。

本機を利用する環境で、使用するセキュリティ対策アプリケーションが定められている場合は、そのアプリケーションを使用してください。

また、本機にはウイルスを検査・駆除するアプリケーションとしてマカフィー リブセーフが添付されています。



参照

マカフィー リブセーフについて

「便利な機能とアプリケーション」の「[マカフィー リブセーフ \(P. 227\)](#)」

ファイアウォールの利用

コンピュータウイルスによっては、ネットワークに接続ただけで感染してしまう例も確認されています。このようなコンピュータウイルスから本機を守るためにファイアウォール（パーソナルファイアウォール）を利用することをおすすめします。

本機を利用する環境で、ファイアウォールの利用についての規則などがある場合は、そちらの規則に従ってください。また、本機にインストールされているOSでは、標準で「Windows ファイアウォール」機能が有効になっています。「Windows ファイアウォール」について、詳しくはWindowsのヘルプをご覧ください。

Windows® Update、またはMicrosoft® Update

最新かつ重要な更新プログラムが提供されています。

Windowsを最新の状態に保つため、ネットワークに接続後、定期的にWindows® Update、またはMicrosoft® Updateを実施してください。



チェック

- PCの安定動作およびセキュリティ向上のため、Windows® Update、またはMicrosoft® Updateを可能な限りOSのセットアップ直後に実施してください。アップデートの前にInternet Explorerのダウングレードなど、必要な作業項目がある場合は、各手順に従って対応してください。
- 本機には更新プログラムがインストールされています。更新プログラムをアンインストールすると、修正されていた問題が発生する可能性がありますので、更新プログラムのアンインストールは行わないでください。

無線LAN製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意

[021902-28]

無線LANでは、LANケーブルを使用する代わりに、電波を利用してコンピュータ等と無線LANアクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続が可能であるという利点があります。

その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁等）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

● 通信内容を盗み見られる

悪意ある第三者によって、電波を故意に傍受され、

- IDやパスワードまたはクレジットカード番号等の個人情報
- メールの内容

等の通信内容を盗み見られる可能性があります。

● 不正に侵入される

悪意ある第三者によって、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスされ、

- 個人情報や機密情報を取り出す（情報漏えい）
- 特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）
- 傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）
- コンピュータウイルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）

などの行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線LANカードや無線LANアクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、無線LAN製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。

セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を十分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをおすすめします。

なお、無線LANの仕様上、特殊な方法によりセキュリティ設定が破られることもあり得ますので、ご理解の上、ご使用ください。

セキュリティ対策を施さず、あるいは、無線LANの仕様上やむを得ない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、当社は、これによって生じた損害に対する責任を負いかねます。

■ 本機で設定できるセキュリティ

盗聴（傍受）を防ぐ

WEP機能を使用して暗号キーを設定すると、同じ暗号キーを使用している通信機器間の無線LAN通信データを暗号化できるので、通信の盗聴や、関係のないコンピュータや機器からの接続を防ぐことができます。WEP機能には64bitWEP対応、128bitWEP対応、152bitWEP対応のものがあり、本機の無線LAN機能は、64bitWEPと128bitWEPに対応しています。ただし、暗号キーを設定していても、暗号キー自体を第三者に知られたり、暗号解読技術によって暗号を解読されたりする可能性があるため、設定した暗号キーは定期的に変更することをおすすめします。



チェック

WEP機能を利用するには、接続する無線LAN対応機器もWEP機能に対応している必要があります。

不正アクセスを防ぐ

- 無線LANアクセスポイントに任意のネットワーク名（SSID）を設定することで、同じSSIDを設定していない通信機器からの接続を回避できます。ただし、同じSSIDを設定していない機器でも、そのネットワークがどんなSSIDを使用しているかは検出できてしまうため、SSIDを設定しただけではセキュリティを保てません。これを回避するには、無線LANアクセスポイント側でSSIDを通知しないようにSSIDの隠ぺいの設定をする必要があります。
- 接続するコンピュータなどのMACアドレス（ネットワークカードが持っている固有の番号）を無線LANアクセスポイントに登録することで、登録した機器以外は無線LANアクセスポイントに接続できなくなります（MACアドレスフィルタリング）。

より高度なセキュリティ設定を行う

Wi-Fi Allianceが提唱するWPA（Wi-Fi Protected Access）やWPA2機能を利用します。IEEE802.1X/EAP（Extensible Authentication Protocol）規格によるユーザー認証、WEP機能に比べて大幅に暗号解読が困難とされる暗号化方式TKIP（Temporal Key Integrity Protocol）やAES（Advanced Encryption Standard）を使用することで、より高度なセキュリティ設定が行えます。



チェック

WPA機能を利用するには、接続する無線LAN対応機器とネットワーク環境がWPA機能をサポートしている必要があります。WPA2機能を利用するには、接続する無線LAN対応機器とネットワーク環境がWPA2機能をサポートしている必要があります。

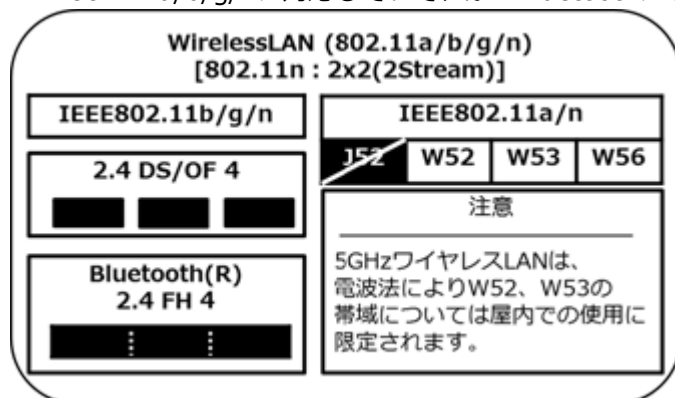
使用上の注意

[021903-28]

- 本製品には、2.4GHz帯高度化小電力データ通信システムが内蔵されています。本製品は、2.4GHz全帯域（2.4GHz～2.4835GHz）を使用する無線設備であり、移動体識別装置の帯域（2.427GHz～2.47075GHz）が回避可能です。変調方式としてDS-SS方式とOFDM方式を採用しており、与干渉距離は40mです。
- 本製品には、5GHz帯小電力データ通信システムが内蔵されています。本製品に内蔵されている無線設備は、5GHz帯域（5.15GHz～5.35GHz、5.47GHz～5.725GHz）を使用しており、以下のチャンネルに対応しています。
 - W52 : Ch36（5180MHz）,Ch40（5200MHz）,Ch44（5220MHz）,Ch48（5240MHz）
 - W53 : Ch52（5260MHz）,Ch56（5280MHz）,Ch60（5300MHz）,Ch64（5320MHz）
 - W56 : Ch100（5500MHz）,Ch104（5520MHz）,Ch108（5540MHz）,Ch112（5560MHz）,Ch116（5580MHz）,Ch120（5600MHz）,Ch124（5620MHz）,Ch128（5640MHz）,Ch132（5660MHz）,Ch136（5680MHz）,Ch140（5700MHz）
- W52、W53無線LANの使用は、電波法令により屋内に限定されます。
- 本製品は、日本国における電波法施行規則第6条第4項第4号「小電力データ通信システムの無線局」を満足した無線設備であり、日本国における端末設備等規則第36条「電波を使用する自営電気通信端末設備」を満足した端末設備です。
分解や改造などを行っての運用は違法であり、処罰の対象になりますので絶対に行わないでください。
また、本製品は日本国以外ではご使用になれません。
- 本製品の電波出力は、一般社団法人電波産業会が策定した「電波防護標準規格（RCR STD-38）」に基づく基準値を下回っています。
- 本製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。
- 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに電波の発射を停止してください。
- 自動ドアや火災報知機など、自動制御機器の周辺では、本製品は使用しないでください。自動制御機器の電子回路に影響を与え、誤動作の原因になる場合があります。
- 一般の電話機やテレビ、ラジオ、その他の無線を使用する機器などをお使いになっている近くで本製品を使用すると、それらの機器に影響を与えることがあります（本製品の電源を入／切することで影響の原因になっているかどうか判別できます）。この場合、次のような方法で電波干渉を取り除くようにしてください。
 - 本製品と影響を受けている装置の距離を離してください。
 - 影響を受けている装置が使用しているコンセントと別の電気系統のコンセントから、本製品の電力を供給してください。
 - 電話機やテレビ、ラジオの干渉について経験のある技術者に相談してください。
- トラック無線（CB無線）やアマチュア無線などを違法に改造した無線機から影響を受ける場合には、影響を受ける場所・時間を特定し、ご使用場所の管轄の電波管理局へ申し入れてください。
詳しくは、ご使用場所管轄の電波管理局へお問い合わせください。
- 他の無線機器から影響を受ける場合には、使用周波数帯域を変更するなど、混信回避のための処置を行ってください。
- 電子レンジなど、本製品と同じ周波数帯域を使用する産業・科学・医療用機器から影響を受ける場合には、使用周波数帯域を変更するなど、混信回避のための処置を行ってください。
- 本製品は、電波の特性上、設置場所によって通信距離や通信速度が異なります。

■ ワイヤレス注意ラベル（本体底面）

- IEEE802.11a/b/g/nに対応していて、かつBluetoothにも対応している場合



無線LAN機能のオン／オフ

[021904-28]

無線LAN機能のオン／オフを切り替えるには、次の方法があります。

- すべてのワイヤレス デバイスを切り替える..... 130
- 無線LAN機能のみを切り替える..... 131



メモ

- オン／オフの設定は、電源を切った後も保存されます。
- 外付け接続した無線LANモジュールの無線LAN機能のオン／オフにも対応します。



チェック

- 無線LAN機能のオン／オフを行う場合は、切り替えが完了したのを確認してから行うようにしてください。
- 他の機器に影響を与える場合やワイヤレス機能を使用しない場合は、ワイヤレス機能をオフにすることをおすすめします。
- BIOSセットアップユーティリティでワイヤレスデバイスそのものを無効にしている場合、これらの方法で無線LAN機能を有効にすることはできません。BIOSセットアップユーティリティでワイヤレスデバイスを有効に設定してから操作を行ってください。
- 無線LAN機能のオン／オフは、次の手順で確認できます。

1 タスク バーの通知領域のネットワークアイコン () をクリック

2 「Wi-Fi」を確認する



参照

BIOSセットアップユーティリティおよび設定項目について

「システム設定」の「BIOSセットアップユーティリティについて (P. 184)」および「設定項目一覧 (P. 191)」

すべてのワイヤレス デバイスを切り替える

無線LAN機能を含むすべてのワイヤレス機能のオン／オフを切り替えることができます。

「機内モード」で切り替える

Windows標準の機能を使って、ワイヤレス機能のオン／オフを切り替えることができます。



チェック

機内モード中でも、無線LAN機能を個別にオンにしておくことができます。

●ワイヤレス機能をオフにする場合

1 タスク バーの通知領域のネットワークアイコン () をクリック

2 「機内モード」をオンにする

●ワイヤレス機能をオンにする場合

1 タスク バーの通知領域のネットワークアイコン () をクリック

2 「機内モード」をオフにする

無線LAN機能のみを切り替える

無線LAN機能のみのオン／オフを切り替えることができます。

無線LAN機能のみを切り替える

Windows標準の機能を使って、無線LAN機能のみのオン／オフを切り替えることができます。

●無線LAN機能をオフにする場合

1 タスク バーの通知領域のネットワークアイコン () をクリック

2 「Wi-Fi」をオフにする

●無線LAN機能をオンにする場合

1 タスク バーの通知領域のネットワークアイコン () をクリック

2 「Wi-Fi」をオンにする

無線LANの設定と接続

[021905-28]

➤ 無線LANの設定をする.....	132
➤ セキュリティとデータの暗号化について.....	135
➤ 設定済みの接続先に接続する.....	136
➤ 接続を切断する.....	136



メモ

- セキュリティ設定や周囲の無線環境によっては、接続までに時間がかかる場合や、通信速度が低下する場合があります。
- WPS（Wi-Fi Protected Setup）に対応した無線LANアクセスポイントと接続する場合、PINの入力や、ルーターのボタンを押すことを要求する画面が表示されることがあります。
これらの操作でも無線LANアクセスポイントと接続できますが、機器の組み合わせによっては接続に失敗することもありますので、その場合はセキュリティ キーを入力して接続を行ってください。
- WPSで接続する場合は、セキュリティが自動的に設定されます。
設定されたセキュリティについては、無線LANアクセスポイントの設定画面かマニュアルなどで確認してください。
- PINの記載箇所については、無線LANアクセスポイントのマニュアルをご覧ください。
- 「電源の管理」タブの設定は変更しないでください。
- IEEE802.11n規格による無線LAN通信を行う場合、工場出荷時の設定では、2.4GHz帯は40MHz幅で接続されます。

無線LANの設定をする

接続する機器によって、設定手順が異なります。お使いの環境にあわせて設定を行ってください。

ネットワーク名（SSID）を通知する無線LANアクセスポイントに接続する場合

1 無線LAN機能がオンになっていることを確認する

「無線LAN機能のオン／オフ」をご覧ください。無線LAN機能がオフになっている場合は、無線LAN機能をオンにしてください。



参照

無線LAN機能のオン／オフについて
「無線LAN機能のオン／オフ (P. 130)」

2 タスク バーの通知領域のネットワークアイコン（）をクリック

ネットワーク名（SSID）と信号状態の一覧が表示されます。



チェック

表示されるアイコンは、接続しているネットワークや接続状況により変化します。

3

接続する無線LANアクセスポイントのネットワーク名（SSID）をクリック



チェック

- 選択した無線LANアクセスポイントに間違いがないか、ネットワーク名（SSID）を確認してください。
- ネットワーク名（SSID）が表示されない場合は、無線LANアクセスポイントがネットワーク名（SSID）を通知しない設定になっている場合があります。無線LANアクセスポイントの設定を確認し、「[ネットワーク名（SSID）を通知しない無線LANアクセスポイントに接続する場合（P. 133）](#)」の手順で設定を行ってください。

4

「自動的に接続する」にチェックが付いていることを確認して、「接続」ボタンをクリック



メモ

自動的に接続する設定は、後から変更できます。

5

「セキュリティ キー」の入力を要求する画面が表示された場合は、接続先に設定されているものと同じネットワーク セキュリティ キーを入力して、「次へ」ボタンをクリック

これ以降は画面の指示に従って操作してください。



チェック

「閉じる」ボタンが表示された場合は、「閉じる」ボタンをクリックしてください。

これで設定は完了です。

ネットワーク名（SSID）を通知しない無線LANアクセスポイントに接続する場合

1

無線LAN機能がオンになっていることを確認する

「無線LAN機能のオン／オフ」をご覧ください。無線LAN機能がオフになっている場合は、無線LAN機能をオンにしてください。



参照

無線LAN機能のオン／オフについて
「[無線LAN機能のオン／オフ（P. 130）](#)」

2 「コントロール パネル (P. 12)」を表示する

3 「ネットワークとインターネット」をクリックし、「ネットワークと共有センター」をクリック

4 「ネットワーク設定の変更」欄の「新しい接続またはネットワークのセットアップ」をクリック

5 「ワイヤレス ネットワークに手動で接続します」を選択し、「次へ」 ボタンをクリック

ワイヤレス ネットワークの情報を入力する画面が表示されます。

6 「ネットワークがブロードキャストを行っていない場合でも接続する」にチェックを付ける

7 接続先の無線LANアクセスポイントにあわせて設定を行う

- 「ネットワーク名」
接続先の無線LANアクセスポイントのネットワーク名（SSID）を入力します。
- 「セキュリティの種類」、**「暗号化の種類」**
接続先の無線LANアクセスポイントの設定にあわせて選択します。
セキュリティと暗号化の種類については、「[セキュリティとデータの暗号化について \(P. 135\)](#)」をご覧ください。
- 「セキュリティ キー」
接続先の無線LANアクセスポイントに設定されているものと同じネットワーク セキュリティ キーを入力します。
- 「この接続を自動的に開始します」
チェックを付けると、接続先が通信可能範囲にある場合、自動で接続するように設定されます。

8 「次へ」 ボタンをクリック

9 「正常に <ネットワーク名（SSID）> を追加しました」と表示されたら、次の手順を行う

- 設定を変更しない場合
手順10に進んでください。
- 設定を変更する場合
「接続の設定を変更します」をクリックし、表示される画面で設定を行ってください。
設定が完了したら「OK」 ボタンをクリックし、手順10へ進んでください。



チェック

接続先の無線LANアクセスポイントにWEPキーが設定されており、暗号化キー番号（キーインデックス）が「1」以外に設定されている場合は、ここで設定を変更する必要があります。「接続の設定を変更します」をクリックし、「セキュリティ」タブの「キー インデックス」で設定を行ってください。

10 「閉じる」 ボタンをクリック

これで設定は完了です。

手順7で「この接続を自動的に開始します」にチェックを付けなかった場合は、「[設定済みの接続先に接続する \(P. 136\)](#)」をご覧ください、手動で接続を行ってください。

セキュリティとデータの暗号化について

セキュリティと暗号化の方式は、無線LANアクセスポイントの設定にあわせる必要があります。

本機の無線LAN機能で設定できる、セキュリティと暗号化の方式は次の通りです。

選択できるセキュリティと暗号化の方式

セキュリティの種類	暗号化の種類
認証なし（オープン システム）	なし、WEP
WPA2 - パーソナル	TKIP、AES
WPA - パーソナル	
WPA2 - エンタープライズ	
WPA - エンタープライズ	
802.1X	WEP



メモ

- セキュリティは設定することを強く推奨します。セキュリティの設定を行わない場合は、「[無線LAN製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意 \(P. 126\)](#)」の内容をご確認の上、使用してください。
- WPA2 - エンタープライズ、WPA - エンタープライズ、および認証機能（IEEE802.1X）を使用した接続を行う場合は、各項目の設定内容をネットワークの管理者にお問い合わせください。

ネットワーク セキュリティ キー

データの暗号化を行う場合、ネットワーク セキュリティ キーを設定します。

ネットワーク セキュリティ キーは、通信を行う無線LANアクセスポイントと同じ設定にします。

暗号化の方式と、ネットワーク セキュリティ キーとして使用できる文字種と文字数は以下の通りです。

●WEPの場合

キーの長さが長い（bit数が大きい）ほど、通信内容の解読がされにくくなり、安全性が高くなります。

入力形式	長さ	キーに使用する文字	説明
ASCIIテキスト	64bit	半角英数字で5文字	相手の機器が64bit暗号キーに対応している場合に使えます。64bitのうち40bitをユーザーが指定し、24bitはシステムが設定します。
16進数		16進数（0～9、A～Fの半角英数字）で10文字	
ASCIIテキスト	128bit	半角英数字で13文字	相手の機器が128bit暗号キーに対応している場合に使えます。128bitのうち104bitをユーザーが指定し、24bitはシステムが設定します。

16進数	16進数（0～9、A～Fの半角英数字）で26文字
------	--------------------------

●WPA - パーソナル（TKIP、AES）またはWPA2 - パーソナル（TKIP、AES）の場合

入力されたネットワーク セキュリティ キーを元にして、一定時間ごとにキー自体が自動更新されるため、WEPよりも安全性が高くなります。

入力形式	キーに使用する文字
ASCIIテキスト	半角英数字で8文字以上63文字以下
16進数	16進数（0～9、A～Fの半角英数字）で64文字


チェック
 WPA - パーソナルやWPA2 - パーソナルによる暗号化を使用するには、接続する相手の機器も同じセキュリティ機能に対応している必要があります。

■ 設定済みの接続先に接続する

設定済みの接続先に接続するには、次の手順で行います。

1 無線LAN機能がオンになっていることを確認する

「無線LAN機能のオン/オフ」をご覧ください。無線LAN機能がオフになっている場合は、無線LAN機能をオンにしてください。


参照
 無線LAN機能のオン/オフについて
[「無線LAN機能のオン/オフ \(P. 130\)」](#)

2 タスク バーの通知領域のネットワークアイコン () をクリック

ネットワーク名 (SSID) と信号状態の一覧が表示されます。


チェック
 表示されるアイコンは、接続しているネットワークや接続状況により変化します。

3 接続先をクリックし、「接続」ボタンをクリック

以上で接続は完了です。

■ 接続を切断する

接続中のネットワーク接続を切断するには、次の手順で行います。

1 タスク バーの通知領域のネットワークアイコン () をクリック

ネットワーク名（SSID）と信号状態の一覧が表示されます。



チェック

表示されるアイコンは、接続しているネットワークや接続状況により変化します。

2

切断する接続先をクリックし、「切断」ボタンをクリック



メモ

現在接続中の接続先には「接続済み」と表示されています。



チェック

接続の状態の表示は、接続しているネットワークや接続状況により変化します。

以上で切断は完了です。

無線LANに関する用語一覧

[021913-28]

ここでは無線LANに関する用語について説明します。無線LANの設定をするときにご覧になると便利です。

用語	説明
AES	Advanced Encryption Standardの略。 米国政府内での情報処理用に採用された「次世代標準暗号化方式」のこと。規定の基準（暗号強度、処理速度など）を満足しており、その仕様も公開されていることから、広い分野での利用が行われている。IEEE802.11iの暗号化方式の1つに採用されている。
ANYプローブ応答禁止	SSIDの問い合わせを拒否する設定。
ANY接続拒否	SSIDを「ANY」にセットした無線LAN端末もしくはSSIDに任意の文字列を入れた端末からの接続を拒否する設定。
EAP	Extensible Authentication Protocolの略。 任意の認証機能を用いるための仕様。ダイヤルアップで用いられるPPP（Point-to-Point Protocol）の拡張として開発された。 ユーザー名・パスワード以外にもスマートカード（ICカード）やデジタル証明書などさまざまな認証方式をサポートできる。EAP-TLS、EAP-TTLSなどがある。
EAP-TLS	Transport Layer Security の略。 EAP方式の認証プロトコルの1つで、利用にはクライアント証明書とサーバ証明書が必要となる。
EAP-TTLS	Tunneled Transport Layer Security の略。 EAP方式の認証プロトコルの1つで、EAP-TLSとは異なり、クライアント証明書は必要とせず、代わりにユーザー名・パスワードが用いられる。
IEEE802.11a	IEEEが標準化した5GHz帯の電波を使い最大54Mbpsの転送速度の無線LANの物理層の規格。
IEEE802.11b	IEEEが標準化した2.4GHz帯の電波を使い最大11Mbpsの転送速度の無線LANの物理層の規格。
IEEE802.11g	IEEEが標準化した2.4GHz帯の電波を使い最大54Mbpsの転送速度の無線LANの物理層の規格。
IEEE802.11i	IEEEが標準化を進めている「無線LAN用セキュリティ規格」認証方式や暗号化方式、暗号化キーの取り扱いなどについて規定している。
IEEE802.11n	IEEEが標準化した2.4GHz、5GHz帯のいずれかの電波を使い最大600Mbps（理論値）の転送速度の無線LANの物理層の規格。
IEEE802.11ac	IEEEが標準化した5GHz帯の電波を使い最大6.93Gbps（理論値）の転送速度の無線LANの物理層の規格。
IEEE802.1X	無線LAN上で認証と動的なキーの生成と配送を行う仕組み。 IEEE標準。有線LANでポートアクセス管理を行うためにも用いられる。EAPとRADIUSを用いる。

MACアドレスフィルタリング	無線LAN端末固有のMACアドレスを無線LANアクセスポイントに設定することで、無線LAN端末を無線LANアクセスポイントに接続するか否かを制御するセキュリティ方式。															
PSK	Pre-Shared Keyの略。 暗号化キーを生成するために用いられる共有（秘密）鍵のこと。この鍵を用いて直接暗号化を行うものではなく、暗号鍵を生成するためのものであることから“事前共有鍵”と呼ばれる。PSKとは、事前共有鍵を用いる認証方式を表す場合がある。															
RADIUS	Remote Authentication Dial-in User Serviceの略。 ネットワークアクセス全般に対する認証、アクセス承認、課金管理を行うプロトコル。															
SSID	Service Set Identifierの略。 無線LANを構成する無線LANアクセスポイントと端末に付けられた識別子のこと。無線LANをグループ化するために用いられる。 無線LANアクセスポイントと端末に同じSSIDが設定されていないと通信できない。無線LANアクセスポイントを中心とした1つのグループであるBSS（Basic Service Set）が、802.11による無線LANのインフラストラクチャ通信の最小単位となるが、複数の無線LANアクセスポイントにまたがった際のローミングを考慮し、BSSを複数束ねたESS（Extended Service Set）が定義されている。このため、SSIDはESSIDと呼ばれることもある。 無線LAN接続ツールによっては、ネットワーク名と記載している場合もある。															
SSIDの隠ぺい	SSIDを無線LANアクセスポイントにより定期的に送信されるビーコン中に含まないように設定すること。															
TKIP	Temporal Key Integrity Protocol の略。 暗号化方式の一種で、WPAの暗号化方式として採用されている。 PSKと呼ばれる“事前共有鍵”を元に暗号化キーを一定のデータ量また時間ごとに生成し、暗号化を行う。															
WEPキー	WEP暗号化方式で用いられる“暗号化キー”のこと。種類は共有（秘密）鍵である。															
WPA	① Wi-Fi Protected Accessの略。 Wi-Fi Alliance が規格化した、新しいセキュリティ規格のこと。 WEP方式よりセキュリティ強度が強化されている。暗号化方式と認証プロトコルにより、以下の4つに分類できる。 <table><tr><td colspan="2"></td><td colspan="2">認証</td></tr><tr><td colspan="2"></td><td>PSK</td><td>EAP</td></tr><tr><td rowspan="2">暗号</td><td>TKIP</td><td>(1)</td><td>(2)</td></tr><tr><td>AES</td><td>(3)</td><td>(4)</td></tr></table> ※WPA仕様書では、暗号プロトコル「AES」は必須ではないため、WPAをサポートしていても、AESをサポートしていない場合がある。 ② WPAにて認証に外部サーバを用いる方式を表す。上記表内の（2）または（4）の方式。			認証				PSK	EAP	暗号	TKIP	(1)	(2)	AES	(3)	(4)
		認証														
		PSK	EAP													
暗号	TKIP	(1)	(2)													
	AES	(3)	(4)													
WPA - パーソナル	WPAにて認証に外部サーバも用いない方式を表す。上記表内の（1）または（3）の方式。															
暗号化キー	暗号化を行う鍵のことで、暗号化方式により、公開鍵と共有（秘密）鍵の2種類ある。															

インフラストラクチャ通信	無線LAN端末と無線LANアクセスポイントを利用した形態の通信。
オープンシステム認証	無線LANの認証方式の1つ。無線LAN端末からは資格情報なしに無線LANアクセスポイントに認証依頼を行い、無線LANアクセスポイントは依頼された認証をそのまま受け入れる。そのため、ネットワークキーによる認証は行われていない（サーバ認証とは別）。
キーインデックス	WEP暗号化方式では、仕様上4つのWEPキーを切り替えることができる。WEP暗号化方式では、無線LANアクセスポイントと無線LAN端末の両方のキーインデックスを同じにしなければならない。製品によってはキーインデックスの値が「0～3」のものと「1～4」のものがあり、設定に注意しなければならない。
キー更新間隔	暗号化キーを生成するデータ量間隔または時間間隔のこと。
共有キー認証	無線LANの認証方式の1つ。無線LANアクセスポイントと端末はネットワークキーを用いたチャレンジレスポンス認証を行う。
ネットワークキー	共有キー認証の「“認証キー”」と暗号化機能の「“暗号化キー”または“PSK”」の両方に用いられる“キー”のこと。
ネットワーク認証	無線LANの認証方式の総称。オープンシステム認証、共有キー認証、WPA、WPA - パーソナル、WPA2、WPA2 - パーソナルなどがある。
無線LANアクセスポイント	ネットワークに無線LAN端末を接続する機器であり、一般的には有線LANのHUBに相当する機能を持つ。

モバイルブロードバンド

[022800-28]

本機のモバイルブロードバンドについて説明しています。モバイルブロードバンドモデルをお使いの場合のみご覧ください。

➤ 概要.....	142
➤ 使用上の注意.....	143
➤ モバイルブロードバンドを使用する準備.....	144
➤ モバイルブロードバンドのオン/オフ.....	146
➤ 接続とセキュリティ.....	148

モバイルブロードバンドについて

モバイルブロードバンドとは、本機を携帯電話、LAN（Local Area Network）や無線LANアクセスポイントに接続することなく、インターネットなどのデータ通信を行う機能です。

本機は「docomo LTE Xi（クロッシィ）」に接続可能なモバイルブロードバンドが搭載されています。

これにより、受信時最大100Mbps/送信時最大37.5Mbps※1の超高速データ通信が利用できます（※1北海道、東北、信越、北陸、中国、四国、沖縄の一部に限ります。対応エリアの詳細は「ドコモのホームページ」でご確認下さい）。Xiエリア外でもFOMAハイスピード（受信時最大14Mbps）の高速データ通信に対応しています。利用可能なエリアは、NTTドコモの提供するXiエリア、FOMAハイスピードエリア、およびFOMAエリアです。FOMAネットワーク以外では、使用できません。



チェック

- 「docomo LTE Xi（クロッシィ）」を使用するためには、NTTドコモのXi回線契約済みのドコモminiUIMカードが必要です。FOMA回線契約のみのドコモminiUIMカードは、本機ではご使用になれません。またMVNOの提供するサービスをご使用の場合も、「docomo LTE Xi（クロッシィ）」に対応したカードが必要になります。
- Xiエリア外ではFOMAでデータ通信ができますのでFOMAエリア内であれば従来のFOMAと同様にご利用になれます。
- Xiエリア内でも、電波状況によりFOMAでの通信となる場合があります。
- 通信速度は、送受信時の技術規格上の最大値であり、実際の通信速度を示すものではありません。ベストエフォート方式による提供となり、実際の通信速度は、通信環境やネットワークの混雑状況に応じて変化します。
- FOMAハイスピードエリア内であっても、場所によっては送受信ともに最大384kbpsの通信となる場合があります。FOMAハイスピードエリア外のFOMAエリアにおいては、送受信ともに最大384kbpsの通信となります。
- 料金形態、サービスエリアの詳細についてはNTTドコモのウェブサイト（<http://www.nttdocomo.co.jp/>）でご確認ください。
- MVNOの提供する、mopera.net以外のサービスあるいは閉域網で使用する場合は別途設定を行う必要があります。上記に該当する接続をご利用の場合は、NECまたはご購入元にお問い合わせください。

使用上の注意

[022802-28]

- モバイルブロードバンドをお使いになる前に、添付の『安全にお使いいただくために』を必ずご覧ください。
- ネットワークとの通信中は、本機を休止状態やスリープ状態にしないでください。
- ネットワーク通信をすると、バッテリーのみで使用可能な時間が短くなります。長時間使用するときは、本機にACアダプタを接続し、コンセントからの電源を使用してください。
- 本製品の電波出力は、一般社団法人電波産業会が策定した「電波防護標準規格（RCR STD-38）」に基づく基準値を下回っています。
- 本製品には、日本の電波法に基づき工事設計認証された無線設備が内蔵されています。
- 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかにモバイルブロードバンドをオフにしてください。
- 自動ドアや火災報知機など、自動制御機器の周辺では、本製品は使用しないでください。自動制御機器の電子回路に影響を与え、誤動作の原因になる場合があります。
- 心臓ペースメーカー装着部位から30センチ以上離して使用してください。電波によりペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。
- 医療機関側が本製品の使用を禁止した区域では、本製品の電源を切るか、モバイルブロードバンドを含むワイヤレス機能をオフにしてください。また、医療機関側が本製品の使用を認めた区域でも、近くで医療機器が使用されている場合には、本製品の電源を切るか、モバイルブロードバンドを含むワイヤレス機能をオフにしてください。
- トンネル・地下・建物の中や陰などで電波が届かない場所、屋外でも電波の弱い場所、および「Xi」、FOMAのサービスエリア圏外では、モバイルブロードバンドを使用できません。
- ビルの高層階など見晴らしの良い場所であっても、モバイルブロードバンドを使用できない場合があります。
- 電波が強い場所で移動せずに使用している場合でも、通信が切れてしまう場合があります。
- 航空機内ではモバイルブロードバンドを含むワイヤレス機能をオフにしてください。機体の制御機器などに影響を及ぼし、運航の安全に支障をきたすおそれがあります。
- 分解や修理・改造をしないでください。本機内部に触ると感電の原因になります。
- ガソリンスタンドなど引火性ガスの発生する場所では、モバイルブロードバンドを含むワイヤレス機能をオフにしてください。爆発や火災が発生するおそれがあります。
- スリープ状態、休止状態に移行する際、通信の切断処理が行われます。データ通信中に状態の移行が行われた場合は、通信中のデータを失うことがあります。
- その他、本製品から移動体識別用特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、ご購入元、またはNECまでご相談ください。



参照

- **モバイルブロードバンドのオン/オフ**
「モバイルブロードバンドのオン/オフ (P. 146)」
- **NECのお問い合わせ先について**
『保証規定&修理に関するご案内』

モバイルブロードバンドを使用する準備

[022803-28]

ドコモminiUIMカードの取り付け／取り外し

ドコモminiUIMカードの取り付け

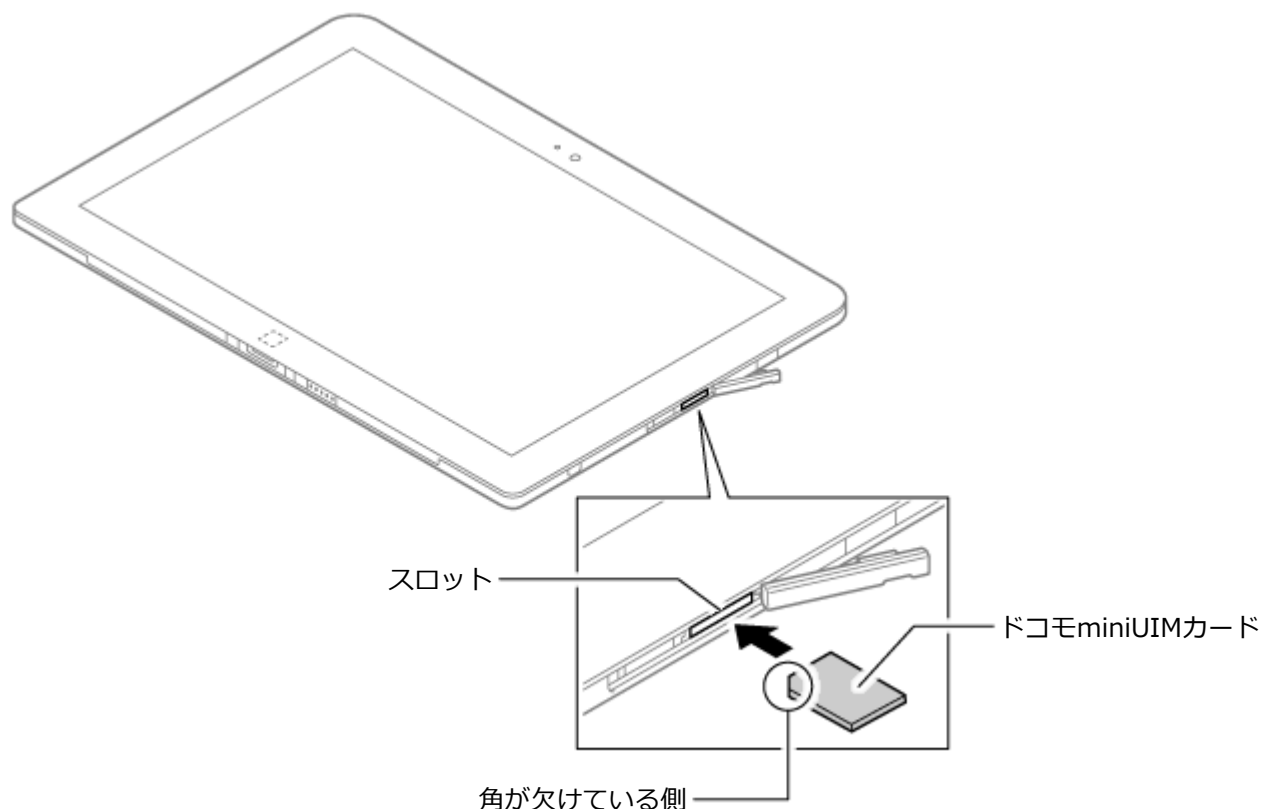


チェック

「docomo LTE Xi (クロッシィ)」を使用するためには、NTTドコモのXi回線契約済みのドコモminiUIMカードが必要です。FOMA回線契約のみのドコモminiUIMカードは、本機ではご使用になれません。またMVNOの提供するサービスをご使用の場合も、「docomo LTE Xi (クロッシィ)」に対応したカードが必要です。

本機へのドコモminiUIMカードの取り付けは、次の手順で行います。

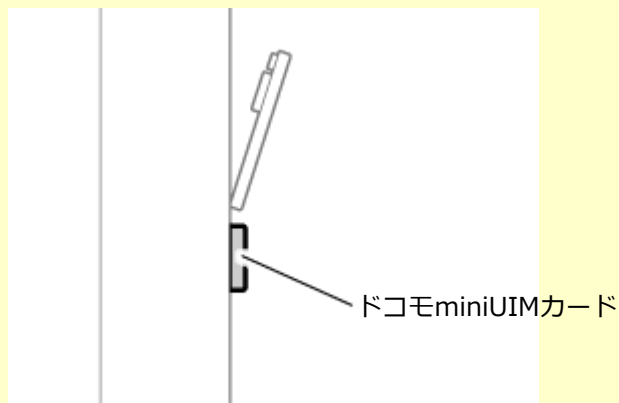
- 1 本機を使用中の場合は、本機の電源を切る
- 2 電源コードのプラグをACコンセントから抜き、ACアダプタを本機から取り外す
- 3 スロットのカバーを開き、ドコモminiUIMカードの向きに注意してスロットに挿入する





チェック

- 左側にあるmicroSDカードスロットへ挿入しないようにしてください。破損の原因となります。
- ドコモminiUIMカードの向きに注意して正しく取り付けてください。誤った向きに取り付けると、故障の原因になります。
- ドコモminiUIMカードは下図のように上から見て見える状態では挿入が不完全です。上から見て見えなくなるまで挿入してください。



4 スロットのカバーを閉じ、ACアダプタを取り付ける

ドコモminiUIMカードの取り外し

長期間、モバイルブロードバンドを使用しない場合などは、ドコモminiUIMカードを本機から取り外してください。ドコモminiUIMカードの取り外しは、次の手順で行います。

1 本機を使用中の場合は、本機の電源を切る

2 電源コードのプラグをACコンセントから抜き、ACアダプタを本機から取り外す

3 スロットのカバーを開け、ドコモminiUIMカードを軽く押す

ドコモminiUIMカードが少し出てきます。

4 ドコモminiUIMカードを引き抜く

5 スロットのカバーを閉じ、ACアダプタを取り付ける

モバイルブロードバンドのオン/オフ

[022804-28]

モバイルブロードバンドのみオン/オフを切り替えることができます。



メモ

モバイルブロードバンドのオン/オフの設定は、電源を切った後も保存されます。



チェック

- 他の機器に影響を与える場合やモバイルブロードバンドを使用しない場合、モバイルブロードバンドが使用できない環境で本機を使用する場合は、モバイルブロードバンドをオフにしてください。
- モバイルブロードバンドを含むワイヤレス機能のオン/オフは、チャーム バーの「設定」や、タスク バーの通知領域に表示されるネットワークアイコンにより確認できます。

チャーム バーの アイコン	タスク バーのア イコン	状態
		ワイヤレス機能：オン。接続先を設定すればネットワーク通信できます。
		ワイヤレス機能：オフ。ワイヤレス機能がオフになっています。
		ワイヤレス機能：オン（接続中）。アンテナの本数で現在の受信感度の強さを表示しています。
		ワイヤレス機能：機内モード。モバイルブロードバンドを含むすべてのワイヤレス機能がオフになっています。

「ワイヤレス デバイス」で切り替える

Windows標準の機能を使って、モバイルブロードバンドのオン/オフを切り替えることができます。

モバイルブロードバンドをオフにする場合

1 チャーム バーを表示し、「設定」をクリック

2 「PC設定の変更」をクリック

3 「ネットワーク」をクリック

4 「機内モード」をクリック

5 「ワイヤレス デバイス」の「モバイル ブロードバンド」をオフにする

モバイルブロードバンドをオンにする場合

1 チャーム バーを表示し、「設定」をクリック

2 「PC設定の変更」をクリック

3 「ネットワーク」をクリック

4 「機内モード」をクリック

5 「ワイヤレス デバイス」の「モバイル ブロードバンド」をオンにする

インターネットへの接続／切断

ここでは、本機のモバイルブロードバンドを使用して、インターネットへ接続、または切断する方法について説明します。



チェック

本機は海外でのモバイルブロードバンドの使用をサポートしておりません。しかし、契約によっては、国際ローミングにより接続できる場合があります。

その際、データ通信料が非常に高額になる場合がありますので、ご利用の際は十分ご注意ください。

インターネットへの接続

インターネットへの接続は以下の手順で行います。

1 Xi対応ドコモminiUIMカードを本体にセットする



参照

ドコモminiUIMカードの取り付けについて

「ドコモminiUIMカードの取り付け／取り外し (P. 144)」

2 本機の電源を入れる

3 タスク バーの通知領域やチャーム バーのネットワークアイコンで、モバイルブロードバンドを含むワイヤレス機能がオンになっていることを確認する

オフになっている場合は、「モバイルブロードバンドのオン／オフ (P. 146)」をご覧ください。

4 チャーム バーを表示し、「設定」をクリック

5 「ネットワーク」をクリック

利用可能なネットワークの一覧が表示されます。

6 「モバイルブロードバンド」の「NTT DOCOMO(LTE)」をクリック



メモ

ネットワーク名は、ネットワークから取得した情報を表示します。固定文字列ではありません。
(例 : NTT DOCOMO)

7 「接続」をクリック

「モバイル ブロードバンド」に詳細情報が表示されます。

以上でインターネットへの接続は完了です。

インターネットからの切断

インターネットからの切断は以下の手順で行います。

1 タスク バーの通知領域のネットワークアイコン (または) をクリック

ネットワーク名の一覧が表示されます。



メモ

チャーム バーを表示し、「設定」→ネットワークアイコン ( または ) をクリックしても、ネットワーク名の一覧を表示することができます。

2 「モバイル ブロードバンド」に表示されているネットワーク (「NTT DOCOMO」など) をクリック



メモ

ネットワーク名には、ネットワークから取得した文字列を表示します。固定ではありません。

3 「切断」をクリック



以上でインターネットからの切断は完了です。

■ セキュリティの設定

ドコモminiUIMカードには、第三者による無断使用を防ぐために4～8桁で設定できる暗証番号「PIN」が存在します。ここでは「PIN」の設定、利用方法について説明します。



チェック

- セキュリティの設定にてPINの認証処理が実行されますが、許容回数以上連続で認証に失敗すると、SIMがブロックされます。
SIMのブロックを解除しない限りインターネットへの接続は行えません。
- PINを3回連続して間違えた際、自動的にかかる「SIMブロック」を解除するには、ご契約時に提供された「PINロック解除キー（PUK）」が必要になります。
※ドコモショップ以外で新規にご契約されたお客様は、My docomo、ドコモインフォメーションセンター、ドコモショップにてご確認ください。
- PINロック解除キー（PUK）を10回連続して間違えると、完全にロックされます。
完全にロックされた場合には、ドコモminiUIMカードと本人確認書類（運転免許証など）をお持ちの上、お近くのドコモショップまでご相談ください。
 - NTTドコモ ウェブサイト：<http://www.nttdocomo.co.jp/>
 - ドコモインフォメーションセンター：
受付時間：午前9：00～午後8：00
ドコモの携帯電話からの場合：（局番なし）151（無料）
※一般電話などからはご利用いただけません。

一般電話などからの場合：0120-800-000（無料）
※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

セキュリティを有効にする

セキュリティを有効にする場合は次の手順で行います。

1

チャーム バーを表示し、「設定」をクリック

2

「PC設定の変更」をクリック

3

「ネットワーク」をクリック

4

「モバイル ブロードバンド」の「NTT DOCOMO」をクリック



メモ

ネットワーク名は、ネットワークから取得した情報を表示します。固定文字列ではありません。
（例：NTT DOCOMO）

5

「セキュリティ」から「PINの使用」をクリック

PINの入力を求められるので、現在のPINを入力します。

PIN認証に成功すると、次回以降はネットワークへの接続時にPIN認証によるロック解除が必要となります。

セキュリティを無効にする

セキュリティを無効にする場合は次の手順で行います。

1 チャーム バーを表示し、「設定」をクリック

2 「PC設定の変更」をクリック

3 「ネットワーク」をクリック

4 「モバイル ブロードバンド」の「NTT DOCOMO」をクリック



メモ

ネットワーク名は、ネットワークから取得した情報を表示します。固定文字列ではありません。
(例 : NTT DOCOMO)

5 「セキュリティ」から「PINの使用をやめる」をクリック

PINの入力を求められるので、現在のPINを入力します。

PIN認証に成功すると、次回以降はネットワークへの接続時にPIN認証によるロック解除が不要となります。

PINの変更

PINを変更する場合は次の手順で行います。

1 チャーム バーを表示し、「設定」をクリック

2 「PC設定の変更」をクリック

3 「ネットワーク」をクリック

4 「モバイル ブロードバンド」の「NTT DOCOMO」をクリック



メモ

ネットワーク名は、ネットワークから取得した情報を表示します。固定文字列ではありません。
(例 : NTT DOCOMO)

5 「セキュリティ」から「PINの変更」をクリック

PINの入力を求められるので、現在のPIN、新しいPINを入力します。

PIN認証に成功すると、PINが変更されます。



チェック

- 新しいPINを現在のPINと同じ文字列に設定することはできません。
- PINの変更を行うには「PINの使用」によりPINが有効である必要があります。

- 使用上の注意..... 154
- USB機器の取り付け／取り外し..... 156

使用上の注意

[022001-28]

- 本機のUSBコネクタには、USB 1.1対応機器、USB 2.0対応機器が取り付け可能です。
ただし、対応する規格の異なるUSBコネクタにUSB機器を取り付けたときの、動作規格（転送速度）については次の表をご覧ください。

		本体側コネクタ
		USBコネクタ ()
取り付ける機器	USB 1.1対応機器	USB 1.1 (12Mbps※1)
	USB 2.0対応機器	USB 2.0※2 (480Mbps※1)
	USB 3.0対応機器	USB 2.0※2 (480Mbps※1)

※1 記載の速度は理論値（最大）です。

※2 USBハブ、USBケーブルもUSB 2.0に対応したものを使用する必要があります。

- USB機器の取り付け／取り外しを行うときは、3秒以上の間隔をおいて行ってください。
- USBコネクタにプラグをすばやく抜き差ししたり斜めに差したり半差しにしたりすると、正常に認識されないことがあります。その場合はプラグをUSBコネクタから抜いて、正しく差しなおしてください。
- 初めてUSB機器を取り付けたときに、画面に何も表示されない場合は、USBコネクタにプラグを正しく差し込めていない可能性があります。いったんプラグを抜き、再度差し込んでみてください。
- スリープ状態に移行する前にUSB機器（マウスまたはキーボード以外）を取り外してください。USB機器を取り付けた状態ではスリープ状態に移行または復帰できない場合があります。
- 省電力状態（スリープ状態や休止状態）の時や、省電力状態への移行中、省電力状態からの復帰中は、USB機器の取り付け／取り外しをしないでください。
- 省電力状態への移行中は、取り付けしているUSB機器を操作しないでください。
- 外付けUSBハブ経由でUSB機器を使用する場合は、USBハブを本機に取り付けてから、USBハブにUSB機器を取り付けるようにしてください。USB機器を取り付けた状態でUSBハブを本機に取り付けると、USB機器が正常に認識されないことがあります。
- USB機器の有無にかかわらず「デバイス マネージャー」にある「ユニバーサル シリアル バス コントローラー」は削除、無効にしないでください。
- 印刷中にプリンタが停止し、「印刷キュー」に印刷中のドキュメントが残っている場合は、すべてのドキュメントを一度キャンセルし、プリンタに取り付けているUSBケーブルを抜き差ししてから再度印刷してください。
なお、印刷中ドキュメントのキャンセルには時間がかかる場合があります。



メモ

- 本機でのUSB機器の動作確認情報については、各機器に添付のマニュアルをご覧ください。各機器の発売元にお問い合わせください。なお、NEC製のUSB対応機器の情報は、NECの「ビジネスPC」サイト (<http://jpn.nec.com/bpc/>) から、次の手順で確認してください。

1 「サポート情報（ダウンロード）」をクリック

2 「ご使用中のお客様」にある「製品検索一覧」をクリック

3 「旧モデル検索（最新機種も含む）」にある「PC本体型番検索」をクリック

お使いのモデルの型番で検索し、取り付け可能なUSB対応機器を確認してください。

- 取り付ける機器によっては、接続ケーブルが必要な場合があります。

■ USB機器を制限する

本機では、BIOSセットアップユーティリティのI/O制限で、USBコネクタの有効／無効を設定して、USB機器の使用を制限することができます。



参照

I/O制限について

「セキュリティ機能」の「[I/O制限 \(P. 172\)](#)」

USB機器の取り付け／取り外し

[022002-28]

取り付けの前に

機器によっては、使用するためにドライバやアプリケーションのインストール、設定の変更などが必要になる場合があります。

USB機器に添付のマニュアルなどをご覧ください。必要な準備を行ってください。



メモ

- 取り付けてすぐ使うことができるUSB機器がありますが、そのままではいくつかの機能が制限される可能性があります。必ず添付のマニュアルをよく読んでください。
- USB機器は、本機の電源を入れたままの状態でも取り付けることができます。取り付け前に電源を切る必要はありません。
- 外付けUSBハブ経由でUSB機器を使用する場合は、はじめにUSBハブを本機に取り付けてから、USBハブにUSB機器を取り付けるようにしてください。

USB機器の取り付け

1 USBコネクタ () にプラグを差し込む

プラグの向きに注意して、止まるまで軽く押し込んでください。

取り付けたUSB機器が正しく本機に認識されたかどうかを確認してください。確認する方法は、機器の種類によって異なります。機器によっては、取り付けた後で別の設定作業が必要になる場合があります。詳しくは、各USB機器に添付のマニュアルなどをご覧ください。

USB機器の取り外し

1 タスク バーの通知領域の をクリックし、 または をクリック

このアイコンが表示されていない場合は手順3に進んでください。

2 表示された「×××××の取り出し」から、取り外したいUSB機器をクリック

安全に取り外しができるという内容のメッセージが表示されます。

表示された「×××××の取り出し」に取り外したいUSB機器がない場合は手順3に進んでください。

3 USB機器を取り外す

以上でUSB機器の取り外しは完了です。

本機のBluetooth機能について説明しています。

➤ 概要.	158
➤ セキュリティに関するご注意.	160
➤ 使用上の注意.	161
➤ Bluetooth機能の設定と接続.	163
➤ Bluetooth機能のオン／オフ.	167

Bluetooth機能について

Bluetooth（ワイヤレステクノロジー）機能は、Bluetoothワイヤレステクノロジーが搭載された機器とデータ通信を行うBluetooth Special Interest Group（SIG）が策定した世界標準の通信規格です。

Bluetooth機能でできること

次のような、Bluetooth機器とワイヤレスで接続することができます。

- マウスやキーボード
- 携帯電話、タブレット
- ヘッドセット、ヘッドフォン

など

最大で7台のBluetooth機器を同時に接続できます。



チェック

- Bluetooth機能をお使いになる前に、添付の『安全にお使いいただくために』を必ずご覧ください。
- 同時に利用するBluetooth機器の台数が多い場合、通信負荷が大きくなり動作に影響をおよぼすことがあります。
- Bluetooth機器によっては、複数同時に使用できない仕様のものがあります。
- 同じ種類のBluetooth機器でも機能差がある場合があります。
- Bluetooth機能は、すべてのBluetooth機器に対して動作を保証するものではありません。Bluetooth機器の動作環境と接続の可否を確認してください。

接続できる機器

本機のBluetooth機能は、Ver.1.1以降でVer.4.0までのいずれかの規格に対応した機器（マウスやキーボードなど）と接続できます。ただし、接続する機器が、Bluetoothプロファイルに対応している必要があります。また、使用する機器やソフトによっては接続できないことがあります。機器をご購入する前に製造元や販売店に確認してください。

対応しているBluetoothプロファイルについては、下記のリンクよりお使いのモデルの「仕様一覧」をご覧ください。

<http://121ware.com/e-manual/m/nx/ac/201405/bios/v1/mst/index.html>

シンプルペアリング機能（Ver.2.1以降）に対応した機器と接続する場合は、パスキー（PINコード）を入力することなく機器同士をペアリングすることができます。

また、次の機能が強化されています。

● 省電力機能（Ver.2.1以降）

Ver.2.0+EDRよりも省電力が強化され、マウスやキーボードなどのバッテリー駆動時間の延長に効果があります。

- **ペアリング機能**

第三者の介入によって情報が傍受される可能性を排除する防御機能が搭載されています。

- **Enhanced Data Rate (EDR) 機能**

従来の規格の約3倍（理論上）の速度で通信を行えます。

- **Advanced Frequency Hopping (AFH) 機能**

無線LAN（IEEE802.11b/g/n）など、他の2.4GHz帯域を利用する無線機器が利用している周波数を避けて干渉の可能性を低減させます。



チェック

- 回避できる周波数帯域が確保できない場合は、この機能の効果が得られないことがあります。
- 2.4GHz帯域の中でも無線LAN（IEEE802.11n）はより強い干渉を受ける場合があります。

- **Low Energy機能（Ver.4.0以降）**

従来の機器に比べて低消費電力のBluetooth Smart機器（マウスなど）と接続することが可能です。

通信距離と速度

通信できる距離

本機は、相手の機器間と見通しで約10mの範囲まで通信できます。ただし、10m以内でもデータ通信タイミングを必要とする音楽データ通信などは音とびが発生する場合があります。

通信速度

実際の通信速度は、各通信モードの規格値の半分程度を目安にしてください。

Enhanced Data Rate（EDR）規格に対応した機器同士の最大通信速度は3Mbps（規格値）です。

前述のHSおよびEDRに対応していない機器の場合（Basic Rate:BR）は、最大通信速度（非同期）は1Mbps（規格値）です。



チェック

接続する機器、電波環境、周囲の障害物、設置環境、使用状況、ご使用のソフト、およびOSなどによって、通信速度や距離は大きく変化します。

セキュリティに関するご注意

[023102-28]

Bluetooth機能では、セキュリティを確保するため、機器ごとに割り振られた固有のIDで機器の識別をしています。さらにパスキー（PINコード）を設定して接続認証を行ったり、通信データを暗号化することで通信を傍受された場合にもデータの内容を守ることができます。また、通信中に使用する周波数帯域を接続単位ごとにランダムに変更しながら通信することで通信傍受されにくくなっています。



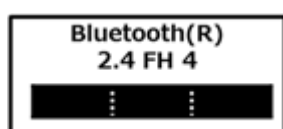
チェック

- これらの設定は危険性をより低くするための手段であり、安全性を100%保証するものではありません。
- 身に覚えのない接続を要求された場合は、無視するか受付をしないでください。

使用上の注意

[023103-28]

- 接続相手と通信中（ファイル転送中やプリンタで印刷中、オーディオ機器で音楽再生中など）に、本機を休止状態やスリープ状態にしないでください。
- 本製品に標準内蔵以外のBluetooth® ワイヤレステクノロジー機器をセットアップして使用しないでください。
- Bluetooth対応オーディオ機器をご使用になる場合は、SCMS-T方式の著作権保護機能をサポートした機器をおすすめします。本機を用いて著作権保護されたデータのコピーを作成することは違法となる場合があります。
- 本製品には、2.4GHz帯高度化小電力データ通信システムが内蔵されています。本製品は、2.4GHz全帯域（2.4GHz～2.4835GHz）を使用する無線設備であり、移動体識別装置の帯域（2.427GHz～2.47075GHz）と重複しており、この重複する周波数帯での干渉を回避することができません。変調方式としてFH-SS方式を採用しており、与干渉距離は40mです。



- 本製品は、日本国における電波法施行規則第6条第4項第4号「小電力データ通信システムの無線局」を満足した無線設備であり、日本国における端末設備等規則第36条「電波を使用する自営電気通信端末設備」を満足した端末設備です。分解や改造などを行っての運用は違法であり、処罰の対象になりますので絶対に行わないでください。また、本製品は日本国以外ではご使用になれません。
- 本製品の電波出力は、一般社団法人 電波産業会が策定した「電波防護標準規格（RCR STD-38）」に基づく基準値を下回っています。
- 本製品の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。
- 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
- 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに電波の発射を停止してください。
- 自動ドアや火災報知機等、自動制御機器の周辺では、本製品は使用しないでください。自動制御機器の電子回路に影響を与え、誤動作の原因になる場合があります。
- 一般の電話機やテレビ、ラジオ、その他の無線を使用する機器などをお使いになっている近くで本製品を使用すると、それらの機器に影響を与えることがあります（本製品の電源を入／切することで影響の原因になっているかどうか判別できます）。この場合、次のような方法で電波干渉を取り除くようにしてください。
 - 本製品と影響を受けている装置の距離を離してください。
 - 影響を受けている装置が使用しているコンセントと別の電気系統のコンセントから、本製品の電力を供給してください。
 - 電話機やテレビ、ラジオの干渉について経験のある技術者に相談してください。
- トラック無線（CB無線）やアマチュア無線などを違法に改造した無線機から影響を受ける場合には、影響を受ける場所・時間を特定し、ご使用場所の管轄の電波管理局へ申し入れてください。詳しくは、ご使用場所の管轄の電波管理局へお問い合わせください。
- 本製品は、電波の特性上、設置場所によって通信距離や通信速度が異なります。
- 本製品は、Bluetooth® パスキー（PINコード）や暗号化機能等を使用することにより、無線ネットワークでの不正アクセスを防止することが可能ですが、日頃からの接続デバイスの管理をされることをおすすめします。

- 病院内や航空機内など電子機器、無線機器の使用が禁止されている区域では使用しないでください。機器の電子回路に影響を与え、誤作動や事故の原因になるおそれがあります。
- 埋め込み型心臓ペースメーカーを装備されているかたは、本商品をペースメーカー装置部から30cm以上離して使用してください。
- その他、本製品から移動体識別用特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、NECまたはご購入元にお問い合わせください。



メモ

安定した通信のため、次の点にご注意ください。

- 本機と接続するBluetooth機器との距離は、できるだけ近くする
- 接続するBluetooth機器との間に障害物を置かないようにする
- 金属製のパソコンラックなどで本機を使用しない
- 通信中は近くで同じ周波数帯域を使用する電子レンジや他の無線機器を使用しない

Bluetooth機器の接続

Bluetooth機器を接続するときは、機器に添付のマニュアルもあわせてご覧ください。

1 接続するBluetooth機器を接続可能な状態にする

2 タスク バーの通知領域の をクリックして表示される (Bluetooth デバイス) をクリックし、表示されたメニューから「Bluetooth デバイスの追加」をクリック



メモ

 (Bluetooth デバイス) がない場合、または  が表示されている場合は、「Bluetooth機能のオン／オフ (P. 167)」をご覧ください、Bluetooth機能をオンにしてください。

「Bluetooth デバイスの管理」画面が表示され、Bluetooth機器が検索され一覧に表示されます。

3 接続するBluetooth機器を選択し、「ペアリング」ボタンをクリック



チェック

デバイスの追加で認証エラーが発生し自動で接続できない場合には「再実行」をクリックし、デバイスを選んで「次へ」をクリックします。「ペアリングオプションの選択」でデバイスのマニュアルに記載のデバイスのペアリングコードを入力するか、もしくはペアリングコードを使用しないを選択して接続を繰り返してみてください。



メモ

登録済みのデバイスを確認する場合は、タスク バーの通知領域の  をクリックして表示される  (Bluetooth デバイス) をクリックし、「Bluetooth デバイスの表示」をクリックして一覧を開いて確認してください。



チェック

- Bluetoothキーボードを接続するときにパスキー（PINコード）の入力を求められたときは、画面に表示されたコードを入力して最後に【Enter】を押してください。その他の機器でパスキー（PINコード）の入力を求められたときは、その製品に添付のマニュアルなどをご確認ください。
- ドライバのインストール中に本機の動作が遅くなる場合があります。
- ドライバによっては再起動を求められる場合があります。
- Bluetooth対応オーディオ機器を使用する場合は、SCMS-T方式の著作権保護機能をサポートした機器をおすすめします。
- Bluetooth機器によってサポートしている機能に差分があったりアプリケーションソフトが対応できなかったりする場合がありますので、ご購入前にサポート機能の確認を行ってください。



メモ

- Bluetooth対応オーディオ機器（ステレオヘッドフォンなど）を接続していて音が切れる（音飛びする）場合は、一度切断して本機のBluetooth側から再接続することをおすすめします。これはオーディオ機器によるホスト処理の負荷が高いため、遅れが出る場合があるからです。解決しない場合は、本機と接続機器の距離を近くするか、バッテリー駆動の機器の場合はバッテリー容量の残量を確認してください。
- 無線LANを使用していない（アクセスポイントに接続していない）ときに、接続しているBluetooth機器の動作が不安定（オーディオ機器のノイズ、マウスのカクツキなど）な場合は、無線LAN機能のみをオフにしてください。システム処理の負荷を軽減することができます。



参照

無線LAN機能のオン／オフについて

「無線LAN機能」の「無線LAN機能のオン／オフ (P. 130)」

Bluetooth機能の設定を変更する

必要に応じてBluetooth機能の設定を変更することができます。設定の変更は次の手順で行ってください。

- 1 タスク バーの通知領域の  をクリックして表示される （Bluetooth デバイス）をクリックし、表示されたメニューから「設定を開く」をクリック



メモ

（Bluetooth デバイス）がない場合、または  が表示されている場合は、「Bluetooth機能のオン／オフ (P. 167)」をご覧ください。Bluetooth機能をオンにしてください。



チェック

接続したBluetooth機器の設定変更の方法は、機器に添付のマニュアルを参照ください。

Bluetooth接続でのファイルの送受信

Bluetooth機器間で一時的に小さなファイルを簡単にやりとりすることができます。

ファイルの送信

ファイルの送信は次の手順で行います。

1 送信するファイルを右クリックし、表示されたメニューから「送る」→「Bluetooth」をクリック



チェック

複数のファイルをまとめて送信したい場合でも、フォルダの送信はできません。ファイルを送信してください。

2 「次へ」をクリック

3 リストに表示される送信先のデバイスを選択し、「次へ」ボタンをクリック

送信先が見つからない場合は「更新」ボタンをクリックしてください。

4 受信側（送信先）でファイルの受け取りを承諾する



メモ

受信側のBluetooth機器でのファイル受信については、機器により異なるので受信側の機器のマニュアルをご覧ください。

受信側で受信を許可すると、「Bluetoothデバイスのファイル送信ウィザード」上でファイルの送信が開始されます。

「転送が完了しました。」と表示されれば送信終了です。

5 「完了」ボタンをクリック



メモ

次の操作でも接続したBluetooth機器にファイルの送信ができます。また相手のファイルを参照することもできます。

1

「**コントロール パネル (P. 12)**」を表示し、「ハードウェアとサウンド」の「デバイスとプリンターの表示」をクリック

Bluetooth機器の一覧が表示されます。

2

ファイル操作をしたいBluetooth機器のアイコンをダブルクリック

ウィンドウの「操作」に表示される項目を選択します。

ファイルの受信

1 送信元のBluetooth機器で、本機へファイルを送信する処理を行う



メモ

送信元のBluetooth機器でのファイル送信については、機器により異なるので送信元の機器のマニュアルをご覧ください。

2 「ファイルを受信中です」画面で「承諾」をクリック



チェック

身に覚えのない相手の場合は、「拒否」をクリックし、キャンセルしてください。

3 ファイルの受信が終了し、「受信したオブジェクト」画面が表示されたら、リストの受信したファイル名を選び「開く」をクリック

受信したファイルを確認することができます。

ファイルの受信に使用するフォルダは、工場出荷時の状態では、次のフォルダに設定されています。

- ファイル受信時の格納先、フォルダ共有時の共有フォルダ:「ドキュメント」の「受信したファイル」

Bluetooth機器の接続の切断

接続先のデバイスのマニュアルを参照し、切断してください。

Bluetooth機器の登録削除

使用しないBluetooth機器の登録を削除する場合は、次の手順で行います。

1 タスク バーの通知領域の をクリックして表示される (Bluetooth デバイス) をクリックし、表示されたメニューから「Bluetooth デバイスの表示」をクリック



メモ

 (Bluetooth デバイス) がない場合、または  が表示されている場合は、「Bluetooth機能のオン／オフ (P. 167)」をご覧ください。Bluetooth機能をオンにしてください。

Bluetooth機器の一覧が表示されます。

2 登録を削除したいBluetooth機器のアイコンをクリックし、「デバイスの削除」ボタンをクリック

3 「このデバイスを削除しますか？」と表示されたら「はい」ボタンをクリック

Bluetooth機能のオン／オフ

[023105-28]

Bluetooth機能のオン／オフは、「PC設定の変更」で切り替えることができます。



チェック

他の機器に影響を与える場合やBluetooth機能を使用しない場合、Bluetooth機能が使用できない環境で本機を使用する場合は、Bluetooth機能をオフにしてください。

Bluetooth機能の状態については、タスクバーの通知領域の  をクリックして表示されるアイコンで確認できます。

アイコン	Bluetooth機能の状態
	スタンバイ／動作中
アイコン無し、または 	オフ

「PC設定の変更」で切り替える

Bluetooth機能をオフにしたい場合は、「PC設定の変更」でBluetooth機能をオフにしてください。

「PC設定の変更」でのBluetooth機能のオン／オフの切り替えは、次の手順で行います。



チェック

この方法で切り替えるには、Bluetooth機能がオンになっている必要があります。Bluetooth機能がオフになっている場合は、BIOSセットアップユーティリティの「Security」メニューで「I/O Port Access」の「Bluetooth」を「On」に設定して、Bluetooth機能をオンにしてください。



参照

BIOSセットアップユーティリティおよび設定項目について

「システム設定」の「[BIOSセットアップユーティリティについて \(P. 184\)](#)」および「[設定項目一覧 \(P. 191\)](#)」

オンにする

1 チャームバーを表示し、「設定」→「PC設定の変更」→「PCとデバイス」→「Bluetooth」をクリック

2 「Bluetooth」をオンにする

オフにする

1 チャームバーを表示し、「設定」→「PC設定の変更」→「PCとデバイス」→「Bluetooth」をクリック

2 「Bluetooth」をオフにする

本機で利用可能なセキュリティ機能について説明しています。

➤ セキュリティ機能について.....	170
➤ スーパーバイザパスワード.....	171
➤ I/O制限.....	172
➤ 指紋認証機能.....	173
➤ DEP (Data Execution Prevention) 機能.....	176
➤ 暗号化ファイルシステム (EFS)	177
➤ ウイルス検出・駆除.....	178
➤ NFCポート.....	179

セキュリティ機能について

[022501-28]

本機には、機密データの漏えいや改ざんを防止したり、コンピュータウイルスの侵入を防ぐために、次のようなセキュリティ機能があります。



チェック

- お使いのモデルによっては使用できない場合があります。詳しくは各機能の説明をご覧ください。
- 本機の各種セキュリティ機能は、完全なセキュリティを保証するものではありません。セキュリティ機能を使用している場合でも、重要なデータなどの管理や取り扱いには十分注意してください。



参照

BIOSセットアップユーティリティおよび設定項目について

「システム設定」の「BIOSセットアップユーティリティについて (P. 184)」および「設定項目一覧 (P. 191)」-
「[Boot] メニュー (P. 197)」

➤ スーパーバイザパスワード.....	171
➤ I/O制限.....	172
➤ 指紋認証機能.....	173
➤ DEP (Data Execution Prevention) 機能.....	176
➤ 暗号化ファイルシステム (EFS)	177
➤ ウイルス検出・駆除.....	178
➤ NFCポート.....	179

スーパバイザパスワード

[022502-28]

スーパバイザパスワードは、BIOSセットアップユーティリティの起動や設定、本機の使用を制限するためのパスワードです。

■ BIOSセットアップユーティリティの使用者の制限

スーパバイザパスワードを設定すると、BIOSセットアップユーティリティ起動時にパスワードの入力画面が表示されます。スーパバイザパスワードを入力しない限り、BIOSセットアップユーティリティは起動できません。

■ 本機の不正使用の防止（BIOS認証）

BIOSセットアップユーティリティの「Security」メニューの「Password」でスーパバイザパスワードを設定してください

本機の起動時にパスワード入力画面が表示され、本機を使用するにはスーパバイザパスワードの入力が必要になります。



チェック

- NECに本機の修理を依頼される際は、設定してあるパスワードは解除しておいてください。
- 設定したパスワードは忘れないようにしてください。パスワードは本機を再セットアップしても解除できません。パスワードを忘れてしまった場合、有償での解除処置となります。詳しくは「トラブル解決 Q&A」の「電源」 - 「パスワードを忘れてしまった (P. 261)」をご覧ください。



参照

BIOSセットアップユーティリティについて

「システム設定」の「BIOSセットアップユーティリティについて (P. 184)」

I/O制限

[022504-28]

本機では、BIOSセットアップユーティリティで、各種デバイスのI/O（データの入出力）を制限することができます。この機能を利用することで、部外者のデータアクセスや、システムに影響を及ぼすアプリケーションのインストールを制限することができます。

本機では、次のデバイスのI/Oを制限することができます。

- microSDメモリーカードスロット
- USBコネクタ
- microHDMIコネクタ
- デタッチャブルキーボード



参照

I/O制限について

「システム設定」の「設定項目一覧」 - 「[Security](#)」メニュー (P. 194)」

指紋認証機能

[022516-28]



チェック

「指紋認証機能」は内蔵指紋センサ（ライン型）モデルのみ使用できます。

指紋認証機能とはパスワード入力の代わりに、内蔵指紋センサ（ライン型）を使用して指紋による認証を行うシステムです。

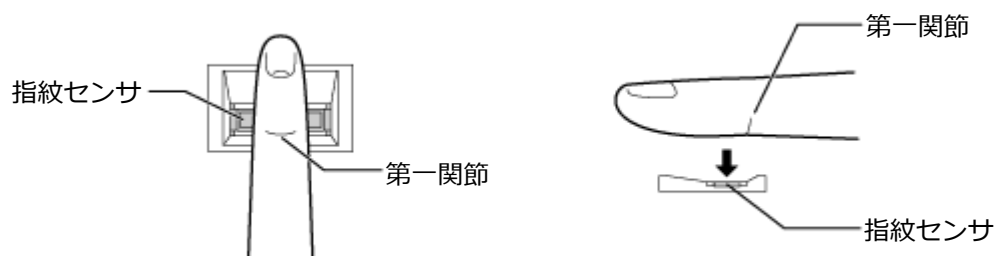
指紋の登録方法

指紋の登録方法・使用方法については、Windowsヘルプをご覧ください。

指紋の読み取り方

指紋センサの高い照合精度を維持するために、「正しい指の動かし方」でご使用ください。図は、多少異なることがあります。

1 読み取る指の第一関節の少し先あたりをセンサに密着させる



2 指をセンサに密着させながら、なぞるようにゆっくり引く

指先まで指がセンサから浮かないように引いてください。





メモ

- 指が乾燥しているかたは、センサに指を少し強くあてながら引くと、読み取れる場合があります。
- 何度も読み取りに失敗する場合は、再度指紋を登録し直してください。



チェック

- 指が汚れたり、汗や脂などで濡れている場合は、ハンカチなどで指先を拭いてから指紋の読み取りを行ってください。
- センサは直接指で触れるため、指の汚れが付着します。常にセンサをきれいにしてください。



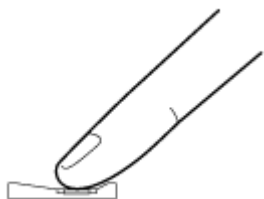
参照

指紋センサ（ライン型）のお手入れについて

「メンテナンスと管理」 - 「お手入れについて」 - 「指紋センサ（ライン型）（P. 237）」

間違った指紋の読み取り方

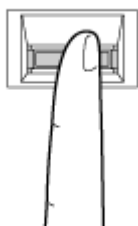
- 指先しか触れていない（指を立て過ぎている）。



- 途中でセンサから指が浮く。



- 指が斜めに傾いている。



- センサに対して指を横に引く。
- 指を前に押し出す。
- 指をジグザグに動かす。
- 指先まで引かずに途中で指を止める。

■ ご注意

指紋の登録時

指紋の登録は登録しやすい指を、複数本登録されることをおすすめします。
次のような場合は、指紋の登録が難しいことがあります。

- 汗や脂が多く、指紋の間が埋まっている
- 極端に乾いている
- 指紋が小さすぎる
- 指紋が大きすぎる
- 指紋が渦を巻いていない
- 手が荒れている
- 摩耗により指紋が薄い

汗や脂が多い場合には指をよく拭き、手荒れや乾いている場合にはクリームなどを塗ることにより改善されます。
また、指先が小さい場合は、なるべく大きな親指などで登録してください。

指紋の読み取り時

次のような場合には、指紋の特徴が変化し、照合時に不一致が起きやすくなります。

- 夏期など、汗や脂が多い場合
- 冬期など、極端に乾いている場合
- 手が荒れたり、けがをした場合
- 急に太ったり、痩せたりした場合

登録が難しい場合は、照合時にも不一致がおきやすい傾向があります。

指紋センサ（ライン型）のお手入れ



参照

指紋センサ（ライン型）のお手入れについて

「メンテナンスと管理」 - 「お手入れについて」 - 「指紋センサ（ライン型）（P. 237）」

DEP（Data Execution Prevention）機能

[022507-28]

不正なプログラムやデータの実行をハードウェア的に防止する機能です。コンピュータウイルスが不正にプログラムコードを書き込んだり、実行しないようにすることができます。

暗号化ファイルシステム（EFS）

[022510-28]

EFS（Encrypting File System）は、Windows 8.1の標準ファイルシステムであるNTFSが持つファイルやフォルダの暗号化機能です。暗号化を行ったユーザー以外、データ復号化が行えないため、高いセキュリティ効果をもたらすことが可能です。

ウイルス検出・駆除

[022508-28]



チェック

マカフィー リブセーフは、工場出荷時にはインストールされていません。

コンピュータウイルスの検出、識別、および駆除を行うためのアプリケーションとして「マカフィー リブセーフ」が添付されています。



参照

マカフィー リブセーフについて

「便利な機能とアプリケーション」の「[マカフィー リブセーフ \(P. 227\)](#)」

➤ 概要.....	179
➤ NFC対応カード、またはNFC対応機器を使う.....	179
➤ NFC機能のオン／オフ.....	180

概要



チェック

「NFCポート」はNFC対応モデルのみ使用できます。

NFCとは、近距離無線通信の技術です。



メモ

このマニュアルで使用しているイラストは、NFC対応カードを使用している場合のものです。

使用上の注意

- 「NFCポート」は、無線機器の一種です。取り扱いの注意事項について、『安全にお使いいただくために』もご覧ください。
- 本製品は、日本国内での電波法に基づく形式指定を受けた誘導式読み書き通信設備です。
本製品を分解、改造したり、型式番号を消したりすると法律により罰せられる事があります。
- 心臓ペースメーカー装着部分から30センチ以上離して使用してください。
電波によりペースメーカーの作動に影響をあたえる場合があります。
- 医療機関側が本製品の使用を禁止した区域では、本製品の電源を切ってください。
- NFCは、完全なセキュリティを保証するものではありません。
- NFC機能オンの状態で使用してください。NFC機能オフ、または機内モードオンの状態では使用できません。



参照

NFC機能のオン／オフについて
「NFC機能のオン／オフ (P. 180)」

NFC対応カード、またはNFC対応機器を使う

NFC対応カード、またはNFC対応機器のかざし方

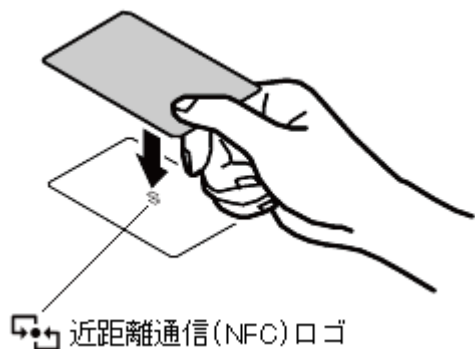
NFC対応カードを使用する場合は、カードの中心を、「NFCポート」の「近距離通信（NFC）ロゴ」に合わせて置いてください。NFC対応カードは裏表どちらでも読み取れます。

NFC対応機器を使う場合は、NFC対応機器に付いている近距離通信（NFC）ロゴの面を下に向けてかざしてください。



チェック

- NFC対応カード、またはNFC対応機器を複数かざすと、正しく読み取れません。NFC対応カード、またはNFC対応機器は、必ず一つずつかざしてください。
- 「NFCポート」からはみ出す位置でかざしたり、NFC対応カード、またはNFC対応機器を傾けた状態でかざしたりすると、正しく読み取れないことがあります。



参照

「NFCポート」の位置について
「各部の名称」の「[各部の名称と説明 \(P. 30\)](#)」

NFC機能のオン／オフ

NFC機能のオン／オフを切り替えるには、次の方法があります。



メモ

NFC機能のオン／オフの設定は、電源を切った後も保存されます。



チェック

- 他の機器に影響を与える場合やワイヤレス機能およびNFC機能を使用しない場合は、ワイヤレス機能およびNFC機能をオフにすることをおすすめします。
- NFC機能のオン／オフは、「ネットワーク」から確認できます。

1

チャーム バーを表示し、「設定」をクリック

2

「PC設定の変更」をクリック

3

「ネットワーク」をクリック

4

「機内モード」をクリック

5

「ワイヤレスデバイス」の「NFC」を確認する

すべてのワイヤレス デバイスを切り替える

ワイヤレス機能およびNFC機能のオン／オフを切り替えることができます。

「機内モード」で切り替える

Windows標準の機能を使って、ワイヤレス機能およびNFC機能のオン／オフを切り替えることができます。

- ワイヤレス機能およびNFC機能をオンにする場合

1

チャーム バーを表示し、「設定」をクリック

2

「PC設定の変更」をクリック

3

「ネットワーク」をクリック

4

「機内モード」をクリック

5

「機内モード」を「オフ」にする

- ワイヤレス機能およびNFC機能をオフにする場合

1

チャーム バーを表示し、「設定」をクリック

2

「PC設定の変更」をクリック

3 「ネットワーク」をクリック

4 「機内モード」をクリック

5 「機内モード」を「オン」にする

NFC機能のみを切り替える

NFC機能のみのオン／オフを切り替えることができます。

「ワイヤレスデバイス」で切り替える

Windows標準の機能を使って、NFC機能のみのオン／オフを切り替えることができます。

- NFC機能をオンにする場合

1 チャーム バーを表示し、「設定」をクリック

2 「PC設定の変更」をクリック

3 「ネットワーク」をクリック

4 「機内モード」をクリック

5 「ワイヤレスデバイス」の「NFC」を「オン」にする

- NFC機能をオフにする場合

1 チャーム バーを表示し、「設定」をクリック

2 「PC設定の変更」をクリック

3 「ネットワーク」をクリック

4 「機内モード」をクリック

5 「ワイヤレスデバイス」の「NFC」を「オフ」にする

[030000-28]

- BIOSセットアップユーティリティについて..... 184
- 設定項目一覧..... 191
- システム管理の使用..... 199

BIOSセットアップユーティリティについて

[030100-28]

BIOSセットアップユーティリティの操作や工場出荷時に戻す方法などについて説明しています。

- BIOSセットアップユーティリティの起動. 185
- BIOSセットアップユーティリティの基本操作. 186
- BIOSセットアップユーティリティの終了. 187
- 工場出荷時の設定値に戻す. 189

BIOSセットアップユーティリティの起動

[030101-28]

1 電源を入れ、すぐに電源スイッチと音量調整ボタン（+）を同時に数回押す

BIOSセットアップユーティリティが表示されます。



チェック

BIOSセットアップユーティリティが表示されない場合は、電源スイッチと音量調整ボタン（+）を押す間隔を変えてください。



チェック

スーパーバイザパスワードを設定している場合は、パスワード入力後にBIOSセットアップユーティリティのメインメニューが表示されます。

BIOSセットアップユーティリティの基本操作

[030102-28]



チェック

- BIOSセットアップユーティリティをタッチパネルで操作する場合は、指でタップして操作してください。
- BIOSセットアップユーティリティで設定を行っている間は、本機の電源スイッチで電源を切らないでください。
電源を切る場合は、必ずBIOSセットアップユーティリティを終了し、Windows起動後にWindows上から電源を切るか、設定を保存しても良い場合は「Restart」メニューから「Exit Saving Changes」を選択して電源を切ってください。

BIOSセットアップユーティリティの操作、設定はタッチパネルを使用して本体のみで行うことも、デタッチャブルキーボードで行うこともできます。

タッチパネルのみを使用する場合、スーパバイザパスワードの設定時にソフトウェアキーボードが表示されます。

BIOSセットアップユーティリティでデタッチャブルキーボードを使用する場合、主なキーについては次をご覧ください。

キー	機能・操作
【←】【→】	設定項目を選択します。
【↑】【↓】	● 設定項目を選択します。 ● 「System Time」「System Date」で数字を変更します。
【Enter】	● 現在の項目の設定画面を表示します。 ● 「System Time」「System Date」で設定する桁を移動します。
【Esc】	● 前の画面に戻ります。
【F9】	BIOSセットアップユーティリティの設定値を工場出荷時の状態に戻します。
【F10】	設定の変更を保存し、本機を再起動します。

BIOSセットアップユーティリティの終了

[030103-28]



チェック

BIOSセットアップユーティリティ終了後に電源を切る場合は、必ずBIOSセットアップユーティリティを終了し、Windows起動後にWindows上から電源を切るか、設定を保存しても良い場合は「Restart」メニューから「Exit Saving Changes」を選択して電源を切ってください。

変更を保存して終了する

タッチパネルで操作する場合

1

「Restart」メニューを選択する

2

「Exit Saving Changes」ををタップ

確認のメッセージが表示されます。

3

「Yes」をタップ

設定値が保存され、BIOSセットアップユーティリティが終了し、本機が再起動します。

ソフトウェアキーボード、またはデタッチャブルキーボードで操作する場合

1

【F10】を押す

確認のメッセージが表示されます。中止したいときは【Esc】を押してください。

2

「Yes」が選択されていることを確認して【Enter】を押す

設定値が保存され、BIOSセットアップユーティリティが終了し、本機が再起動します。



メモ

「Restart」で「Exit Saving Changes」を選択し、BIOSセットアップユーティリティを終了することもできます。

変更を保存せず終了する

タッチパネルで操作する場合

1 「Restart」メニューを選択する

2 「Exit Discarding Changes」をタップ

確認のメッセージが表示されます。

3 「Yes」をタップ

設定値を変更せずにBIOSセットアップユーティリティが終了し、本機が再起動します。

ソフトウェアキーボード、またはUSBミニキーボードで操作する場合

1 「Restart」メニューを選択する

メニューが表示されます。

2 「Exit Discarding Changes」を選択し、【Enter】を押す

確認のメッセージが表示されます。

3 「Yes」が選択されていることを確認して【Enter】を押す

設定値を変更せずにBIOSセットアップユーティリティが終了し、本機が再起動します。

工場出荷時の設定値に戻す

[030104-28]



チェック

BIOSセットアップユーティリティ終了後に電源を切る場合は、必ずBIOSセットアップユーティリティを終了し、Windows起動後にWindows上から電源を切るか、設定を保存しても良い場合は「Restart」メニューから「Exit Saving Changes」を選択して電源を切ってください。

設定を工場出荷時の値に戻すときは、次の手順で行ってください。

タッチパネルで操作する場合

1

電源を入れ、電源スイッチと音量調整ボタン（+）を同時に押す

BIOSセットアップユーティリティが表示されます。



参照

BIOSセットアップユーティリティについて

「システム設定」の「[BIOSセットアップユーティリティについて \(P. 184\)](#)」

2

「Restart」メニューを選択する

3

「Load Setup Defaults」をタップ

確認のメッセージが表示されます。

中止したいときは画面回転ロックボタンを押してください。

4

「Yes」をタップ

工場出荷時の設定値を読み込みます。

5

「Exit Saving Changes」をタップ

確認のメッセージが表示されます。

6

「Yes」をタップ

設定値が保存されて、BIOSセットアップユーティリティが終了し、本機が再起動します。

以上で設定は完了です。

ソフトウェアキーボード、またはデタッチャブルキーボードで操作する場合

1 電源を入れ、電源スイッチと音量調整ボタン（+）を同時に押す

BIOSセットアップユーティリティが表示されます。



参照

BIOSセットアップユーティリティについて

「システム設定」の「[BIOSセットアップユーティリティについて \(P. 184\)](#)」

2 【F9】を押す

確認のメッセージが表示されます。

中止したいときは【Esc】を押してください。

3 「Yes」が選択されていることを確認して【Enter】を押す

工場出荷時の設定値を読み込みます。

4 【F10】を押す

確認のメッセージが表示されます。



メモ

「Restart」で「Exit Saving Changes」を選択し、BIOSセットアップユーティリティを終了することもできます。

5 「Yes」が選択されていることを確認して【Enter】を押す

設定値が保存されて、BIOSセットアップユーティリティが終了し、本機が再起動します。

以上で設定は完了です。

[030200-28]

- 「Main」メニュー..... 192
- 「Config」メニュー..... 193
- 「Security」メニュー..... 194
- 「Startup」メニュー..... 197

設定項目	設定値	説明
System Information		
UEFI BIOS Version	—	UEFI BIOSのバージョンを表示します。
UEFI BIOS Date (Year-Month-Date)	—	UEFI BIOSの作成日を表示します。
Embedded Contoroller Version	—	ECのファームウェアバージョンを表示します。
TXE Firmware Version	—	TXEファームウェアのバージョンを表示します。
Machine Type Model	—	型番を表示します。
System-unit Serial Number	—	製造番号を表示します。
UUID	—	UUID番号を表示します。
Processor Type	—	CPUタイプを表示します。
Processor Speed	—	CPU速度を表示します。
Total memory	—	搭載されている総メモリ容量を表示します。
UEFI secure boot	—	UEFI Secure Boot機能の現在の設定値が表示されます。
System Date	—	現在の日付を「年/月/日」（西暦）で設定します。 タップすると、右側に現在の日付が表示されます。数字を上下にドラッグすると、変更することができます。
System Time	—	現在の時刻を「時:分:秒」（24時間形式）で設定します。 タップすると、右側に現在の時刻が表示されます。数字を上下にドラッグすると、変更することができます。

「Config」メニュー

[030202-28]

設定値欄の【】で囲まれた値は、工場出荷時の設定です。

設定項目	設定値	説明
Network		
UEFI IPv4 Network Stack	On 【Off】	IPv4プロトコルによる起動の有効／無効を設定します。
UEFI IPv6 Network Stack	On 【Off】	IPv6プロトコルによる起動の有効／無効を設定します。
UEFI PXE Boot Priority	IPv4 First 【IPv6 First】	PXEブートを行うプロトコルを選択します。
Power		
Cool mode	On 【Off】	Cool modeの有効／無効を設定します。Cool modeを有効にすると、CPUの処理速度を抑えて外部温度の上昇を防ぎます。
Startup option		
Boot device List F12 Option	【On】 Off	「Off」に設定すると、BIOSセットアップユーティリティ起動時に【F12】を押しても、起動デバイスの一覧が表示されなくなります。
Boot Order Lock	On 【Off】	「On」にすると、起動デバイスの優先順位を変更できなくなります。

「Security」メニュー

[030203-28]

設定値欄の【】で囲まれた値は、工場出荷時の設定です。

設定項目	設定値	説明
Password		
Supervisor Password	-	設定については、「スーパーバイザパスワードの設定」をご覧ください。
Password Status	Enabled 【Disabled】	スーパーバイザパスワードが設定されているかどうかが表示されます。
Secure Boot		
Secure Boot	【On】 Off	UEFI Secure Boot機能の有効／無効を設定します。
Platform Mode	【User Mode】 Setup Mode	現在のシステムのオペレーティング モードを表示します。
Secure Boot Mode	【Standard Mode】 Custom Mode	現在のSecure Boot Modeを表示します。
Restore Factory Keys	-	Secure Bootデータベースのすべてのキーと証明書を工場出荷時の状態に戻します。 本項目をタップすると設定済のSecure Boot設定は消去され、Windows 8用の証明書を含む元の署名データベースとともに、工場出荷時のプラットフォーム キーが再構築されます。
Reset to Setup Mode	-	現在のプラットフォーム キーをクリアして、システムをSetup Modeにするために使用します。 本項目をタップすると、プラットフォーム キーがクリアされます。Setup Modeで、独自のプラットフォーム キーをインストールし、Secure Boot署名データベースをカスタマイズできます。Secure Boot ModeがCustom Modeに設定されます。
UEFI BIOS Update Option		
Secure RollBack Prevention	【On】 Off	「Off」に設定すると、以前のバージョンへBIOSを戻すことができるようになります。 「On」に設定すると、以前のバージョンへBIOSを戻すことはできません。
I/O Port Access		
Wireless LAN	【On】 Off	「Off」に設定すると、無線LANを無効にします。
Wireless WAN	【On】 Off	「Off」に設定すると、モバイルブロードバンドを無効にします。
Bluetooth	【On】 Off	「Off」に設定すると、Bluetoothを無効にします。

GPS	【On】 Off	「Off」に設定すると、GPSを無効にします。
USB Port	【On】 Off	「Off」に設定すると、USBコネクタを無効にします。
Memory Card Slot	【On】 Off	「Off」に設定すると、microSDメモリーカードスロットを無効にします。
Integrated Camera	【On】 Off	「Off」に設定すると、Webカメラを無効にします。
NFC	【On】 Off	「Off」に設定すると、NFCを無効にします。
Fingerprint Reader	【On】 Off	「Off」に設定すると、指紋センサを無効にします。
Microphone	【On】 Off	「Off」に設定すると、マイク入力（内蔵マイク／外付けマイク）を無効にします。
Slim Keyboard	【On】 Off	「Off」に設定すると、デタッチャブルキーボードを無効にします。
Ethernet LAN	On 【Off】	本機では使用できません。
USB Port	On 【Off】	本機では使用できません。

Security Chip

Security Chip	【On】 Off	BIOSでのTPMの利用を設定します。
Clear Security Chip at next boot	【Enter】	「Enter」を選択すると、次回起動時に暗号化キーをクリアします。「Security Chip」をOnにした場合のみ表示されます。
Physical Presence for Provisioning	On 【Off】	「On」にすると、セキュリティチップの設定が変更される場合に、メッセージで確認します。
Physical Presence for Clear	【On】 Off	「On」にすると、セキュリティチップが初期化される場合に、メッセージで確認します。

Anti-Theft

		Computrace機能を設定する項目です。
Current Setting	【On】 Off	Anti-Theftの有効／無効を設定します。
Current State	–	現在の設定を表示します。
Permanently Disabled	Enter	「Enter」を選択すると、Computrace機能を無効にします。 無効にすると、二度と有効にすることはできません。 無効にする場合は十分注意して行ってください。

スーパバイザパスワードの設定

「Supervisor Password」の「Enter」にカーソルを合わせて**【Enter】**を押すか、「Enter」をタップすると表示できます。デタッチャブルキーボードを接続していない場合は、ソフトウェアキーボードが表示されます。

新しくパスワードを設定する場合は、「Enter New Password」欄に設定するパスワードを入力して【Enter】を押すか「Enter」をタップし、「Confirm New Password」欄に確認のために同じパスワードを入力して【Enter】を押すか「Enter」または「OK」をタップしてください。

設定済みのパスワードを変更する場合は、「Enter Current Password」欄に現在のパスワードを入力して【Enter】を押すか「Enter」をタップした後で、新しくパスワードを設定する場合と同様にパスワードを入力してください。



チェック

- パスワードは半角50文字以内で、以下の文字のみ使用することができます。アルファベットの大文字と小文字は区別されません。
 - アルファベット(a～z)
 - 数字(0～9)
 - 半角スペース
- 新しいパスワードに何も入力しないで【Enter】を押すか「Enter」をタップすれば、スーパバイザパスワードが解除されます。
- 設定したパスワードは忘れないようにしてください。パスワードは本機を再セットアップしても解除できません。パスワードを忘れてしまった場合、有償での解除処置となります。詳しくは「トラブル解決Q&A」の「電源」 - 「パスワードを忘れてしまった (P. 261)」をご覧ください。

「Startup」メニュー

[030204-28]

設定値欄の【】で囲まれた値は、工場出荷時の設定です。

設定項目	設定値	説明
Boot	Internal Storage USB HDD USB CD/DVD USB FDD Network Adapter Windows Boot Manager	本機を起動するときに、OSを検索するデバイスの順番を設定します。上にあるデバイスから検索し、OSが存在しないなどの理由で起動に失敗した場合は、次のデバイスを検索します。デバイスの順番を変更するには、変更したいデバイスを上下にドラッグ&ドロップします。
Internal Storage		
Activate BootOption	【On】 Off	内蔵フラッシュメモリからの起動の有効／無効を設定します。
USB HDD		
Activate BootOption	【On】 Off	USB接続のハードディスクドライブからの起動の有効／無効を設定します。
USB CD/DVD		
Activate BootOption	【On】 Off	USB接続の光学ドライブからの起動の有効／無効を設定します。
USB FDD		
Activate BootOption	【On】 Off	USB接続のフロッピーディスクドライブからの起動の有効／無効を設定します。
Network Adapter		
Activate BootOption	【On】 Off	ネットワークデバイスからの起動の有効／無効を設定します。
Windows Boot Manager		
Activate BootOption	【On】 Off	BIOSセットアップユーティリティ起動時に【F12】を押すと表示される、Windows Boot Managerからの起動の有効／無効を設定します。
Delete Boot Option	【No】 Yes	Windows Boot Managerを、起動デバイスの選択肢から外します。選択肢から外すと、有効／無効の設定もできなくなります。再度Windows Boot Managerを使用したい場合は、BIOSセットアップユーティリティを工場出荷時の設定に戻してください。ただし、その他の設定も工場出荷時に戻ります。



参照

工場出荷時の設定に戻す方法について

「[工場出荷時の設定値に戻す \(P. 189\)](#)」



チェック

- デバイスの起動優先順位を変更したあとは、コピー、保存、フォーマット操作などで誤ったデバイスを指定しないようにしてください。デバイスを誤って指定すると、データやプログラムが消されたり、上書きされたりすることがあります。
- BitLockerドライブ暗号化を使用している場合は、起動順序を変更しないでください。BitLockerドライブ暗号化によって起動順序の変更が検出され、本機の起動がロックされます。

本機の起動時に、OSを起動するデバイスを手動選択する

本機の起動時に、OSを起動するデバイスを手動選択する場合は、次の手順で行います。

この操作は、デタッチャブルキーボードで行ってください。

1

電源を入れ、すぐに【F12】を数回押す



チェック

「Windows Boot Manager」が表示されない場合は、【F12】を押す間隔を変えてください。

2

起動するデバイスを選択する

デタッチャブルキーボードを接続している場合は、【↑】【↓】で起動するデバイスを選択し【Enter】を押します。
タッチパネルで操作する場合は、起動するデバイスをタップします。

システム管理の使用

[030601-28]

このページは、主にネットワーク管理者を対象として説明しています。
本機は、システム管理機能によって日常の管理が容易に行えるように設計されています。

本機は、システム管理機能（TCO（Total Cost of Ownership）機能）により、本機の電源を入れたり、ハードディスクドライブをフォーマットしたり、ソフトウェアをインストールしたりするなど、自分の機器であるように本機をリモートで操作できます。

本機を設定することで、クライアントシステムおよびネットワーク上ですでに統合されているソフトウェアの管理機能を使用して、システムを管理できるようになります。

■ システム管理

Desktop Management Interface

本機のBIOSは、System Management BIOS Reference Specification（SMBIOS）V2.6.1と呼ばれるインターフェースをサポートします。

SMBIOSはシステムのハードウェア コンポーネントに関する情報を提供します。BIOSの役目は、BIOS自体の情報とシステム ボード上の装置に関する情報についてデータベースを提供することです。

Asset ID EEPROM

Asset ID EEPROMには、主要コンポーネントの構成やシリアル番号などのシステムに関する情報が含まれます。また、ネットワークのエンド ユーザーに関する情報を記録できる空のフィールドが複数あります。

便利な機能とアプリケーション

[060000-28]

➤ アプリケーションの種類と機能.	201
➤ アプリケーションのインストール/アンインストールについて.	202
➤ Office Home and Business 2013.	204
➤ Access Connections.	209
➤ Adobe Reader.	214
➤ 画面表示設定切替ツール.	217
➤ mazec for Windows日本語版.	220
➤ フリック入力補助ツール.	222
➤ 拡張ディスプレイ操作ツール.	225
➤ マカフィー リブセーフ.	227

アプリケーションの種類と機能

[060100-28]

本機にインストール、または添付されているアプリケーションはモデルによって異なります。

標準でインストール、または添付されているアプリケーション

アプリケーション	機 能
Access Connections	ネットワークの設定、接続、切り替えおよびロケーション・プロファイルのインポートとエクスポートをする
Adobe Reader	PDF形式のマニュアルを表示、閲覧、印刷する
画面表示設定切替ツール	利用シーンに応じたPC画面最適化
バッテリー診断ツール※3	バッテリー性能診断
ハードディスクデータ消去ツール ※5 ※6	内蔵フラッシュメモリのデータを消去する
mazec for Windows日本語版	手書き入力文字のテキスト変換
フリック入力補助ツール	フリック機能を使ってショートカットキーイベントを操作する
拡張ディスプレイ操作ツール	アプリケーションを外部ディスプレイへ移動したり、操作したりする
マカフィー リブセーフ	ウイルス対策とマルウェア対策などを行う包括的で高速なセキュリティソフトウェア

※3 機能の詳細、使用方法については「本機の機能」の「バッテリー」 - 「[バッテリー診断ツール \(P. 58\)](#)」をご覧ください。

※5 ハードディスクデータ消去ツールをご使用になる場合、再セットアップ用メディアが必要です。詳細については、『[再セットアップガイド](#)』をご覧ください。

※6 機能の詳細、使用方法については「[ハードディスクのデータ消去 \(P. 381\)](#)」をご覧ください。

モデルによってインストール、または添付されているアプリケーション

◆Office Home and Business 2013モデル

アプリケーション	機 能
Word 2013	文章を作成する HTMLを作成する
Excel 2013	表計算をする
Outlook 2013	予定やスケジュールを管理する 住所録を作る ファイルを管理する 電子メールを送受信する
PowerPoint 2013	プレゼンテーションや企画書を作成する
OneNote 2013	電子ノートブック機能

アプリケーションのインストール/アンインストールについて

[060200-28]

本機にインストールまたは添付されているアプリケーションの概要とインストール方法およびアンインストール方法について説明します。

インストールやアンインストールをする場合、Windowsおよびインストールされているアプリケーションについての知識が必要になります。

■ インストールについて

本機にインストール、または添付されているアプリケーションをインストールする場合の手順を説明します。



チェック

- アプリケーションのインストールは、必ず管理者（ユーザー名は半角英数字）でサインインして行ってください。
- 再セットアップ、PCリセットおよびPCリフレッシュの後に続けてアプリケーションのインストールを行う場合は必ずWindowsの再起動後に行ってください。
- 本マニュアルを表示しながらインストールの操作をすることができます。
詳しくは、「[画面やアプリを切り替える \(P. 22\)](#)」をご覧ください。
- アプリケーションの修復インストールはできません。
いったんアンインストールしてから、インストールし直してください。



メモ

- 「管理者」とはAdministrator権限を持つユーザーを指し、コンピュータの全体的な構成を管理することができます。
ユーザーアカウントに関する詳細についてはWindowsのヘルプをご覧ください。
- 光学ドライブをDドライブとした場合の手順を説明します。
必要に応じて読み替えてください。

■ アンインストールについて

本機にインストールされているアプリケーションまたは購入後にインストールされた本機添付のアプリケーションのアンインストールの手順を説明します。

ご自分でインストールされた別売のアプリケーションのアンインストールについては、そのアプリケーションに添付されたマニュアルをご覧ください。



チェック

- アプリケーションのアンインストールは、必ず管理者（ユーザー名は半角英数字）でサインインして行ってください。
- 「コントロール パネル」の「プログラムのアンインストール」で、アプリケーションを選択して「アンインストール」、または「アンインストールと変更」をクリックした後は、中断してもそのままではアプリケーションを使用できない場合があります。
その際にはWindowsを再起動後、アプリケーションを使用してください。
- アプリケーションをアンインストールした後に、システムの復元機能でアンインストール前の状態に復元しても、復元されたアプリケーションは正常に動作しない場合があります。
また、復元されたアプリケーションを「コントロール パネル」の「プログラムのアンインストール」からアンインストールしても、アンインストールできない場合があります。
その場合は、そのアプリケーションのマニュアルをご覧ください。インストールの操作を行ってください。
復元の状況によって、インストールもしくはアンインストールが開始されます。
アンインストールが開始されたら、画面の指示に従い、アンインストールを行ってください。
インストールが開始されたら、画面の指示に従ってインストールを行い、インストール完了後にマニュアルをご覧ください。アンインストールを行ってください。
- 本マニュアルを表示しながらアンインストールの操作をすることができます。
- アプリケーションのアンインストール中に、すでにアンインストールされている旨のメッセージが表示されることがあります。その場合でも正常にアンインストールは完了しており、動作に影響はありません。

Office Home and Business 2013

[060700-08]

➤ 概要.....	204
➤ 初回起動手順.....	204
➤ 使用上の注意.....	206
➤ インストール.....	206
➤ アンインストール.....	207

概要

Word 2013、Excel 2013、Outlook 2013、PowerPoint 2013、OneNote 2013が同梱されています。
機能の詳細や操作方法、最新情報については、以下をご覧ください。

●機能の詳細や操作方法

Office Home and Business 2013に同梱されているマニュアル、および各Office アプリケーションのヘルプ

●Office Home and Business 2013の最新の情報

<http://office.microsoft.com/ja-jp/>



チェック

Webサイトを定期的にご覧になり、最新情報を確認することをおすすめします。

初回起動手順

Office Home and Business 2013では、工場出荷時の状態で、Office Home and Business 2013のセットアップ モジュールがインストールされています。

初回起動によりライセンス認証を含めインストールを完了させる必要があります。

以下の初回起動手順を行ってください。

ライセンス認証については、Office Home and Business 2013に同梱されているマニュアル、各Office アプリケーションのヘルプ、または下記ホームページを参照してください。

<http://office.microsoft.com/ja-jp/>



チェック

- 初回起動はインターネットに接続した環境で行ってください。
- 手順の途中で「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、画面の表示を確認し操作してください。
- 初回起動手順を実施中に「ライセンスを確認できませんでした」と表示される場合があります。

文書番号：2813348

「Office 2013 のインストール中にアプリケーションを起動すると "ライセンスを確認できませんでした" メッセージが表示される場合がある」

詳しくは「[サポート技術情報について \(P. 14\)](#)」を参照してください。

1 スタート画面の「Microsoft Office」をクリック

2 「Office をお選びいただき、ありがとうございます。それでは始めましょう。」と表示されたら、「ライセンス認証」をクリック

3 「プロダクト キーを入力してください」と表示されたら、プロダクト キーを入力し、「インストール」ボタンをクリック

Office のインストールが開始されます。



チェック

プロダクト キーは添付されているOffice Home and Business 2013のパッケージに同梱されています。

4 「新しい Office へようこそ。」と表示されたら、「次へ」をクリック

5 「最初に行う設定です。」と表示されたら、「Office の品質向上に役立つ情報を Microsoft に送る」または「いいえ」のいずれかを選択する

6 画面右下にある「使用許諾契約書を読む」をクリックし、内容を確認後、「同意する」をクリック

これ以降の操作は画面の指示に従ってください。



チェック

以下の画面が表示されますので、内容の確認や設定を行ってください。

- 「サインインして Office を最大限に活用しましょう。」
- 「OneDrive についての説明をご覧ください。」
- 「新機能に関する説明をご覧ください。」

7

「準備が整いました。」と表示されたら、「完了」ボタンをクリック

以上で初回起動手順は終了です。

使用上の注意

Microsoft® Updateについて

Office の安定性と安全性を向上させるための更新プログラムが提供されています。

Office を最新の状態に保つために、Microsoft® Updateを定期的の実施してください。



チェック

- Microsoft® Updateを行うにはインターネットに接続できる環境が必要です。
- Microsoft® Updateは必ずOfficeの「初回起動手順 (P. 204)」を済ませてから実施してください。

その他

- 以下の場合にイベントビューアに「警告」または「エラー」が表示されることがありますが、動作上問題ありません。
 - Office Home and Business 2013をインストールした時
 - 新規ユーザーでサインイン後、Office Home and Business 2013に含まれるアプリケーションのいずれかを初めて起動した時
- Office に含まれるアプリケーションを起動した状態ではスリープ状態にできない場合があります。その場合は、アプリケーションを終了させてから再度スリープ状態にしてください。
- Office に含まれるアプリケーションを起動した状態でWindowsを終了するとエラーが表示される場合があります。すべてのアプリケーションを終了してからWindowsを終了してください。
- カスタムテキストサイズの設定（DPI）を既定の100%から125%に変更した場合、以下の問題が発生しますが動作上問題ありません。
 - Word 2013の書式設定と編集の制限ウィンドウが表示不正となる

インストール

ここでは、工場出荷時と同じ状態にインストールする方法を説明します。

その他のインストール方法については、Office Home and Business 2013に同梱されているマニュアルをご覧ください。



チェック

インストールを行うには、インターネットへの接続環境が必要となります。

Office Home and Business 2013のインストール

Internet Explorerのお気に入り登録されている「Office を再インストールする」へアクセスするか、Office Home and Business 2013に同梱されているマニュアルの説明に従って、再インストールを行ってください。

アンインストール



チェック

- Office Home and Business 2013のアンインストール後にInternet Explorerでの右クリックメニューに表示が残る問題が発生する場合があります。

文書番号：826917

「Internet Explorer で "Microsoft Excel にエクスポート" コマンドを使用しようとしても何も起こらない」

文書番号：2212044

「Internet Explorer で [OneNote に送る] コマンドが機能しない」

詳しくは「[サポート技術情報について \(P. 14\)](#)」を参照してください。

- Office Home and Business 2013に含まれるアプリケーションを起動している場合は、終了させてください。

「Microsoft OneDrive」のアンインストール



チェック

- Microsoft® Update後に、「Microsoft OneDrive」が「Microsoft SkyDrive」と表示される場合があります。その際はプログラム名称「Microsoft OneDrive」を「Microsoft SkyDrive」に読み替えてください。
- 「プログラムのアンインストール」に「Microsoft OneDrive」と表示されている場合は、以下の手順を行ってください。
表示されていない場合は、「[Office Home and Business 2013のアンインストール \(P. 208\)](#)」へ進んでください。

1

Windowsを起動する

2

「コントロール パネル (P. 12)」を表示する

3

「プログラム」の「プログラムのアンインストール」をクリック

4 「Microsoft OneDrive」を選択し、「アンインストール」をクリック

これ以降の操作は画面の指示に従ってください。

5 アンインストールが完了したら、Windowsを再起動する

以上で「Microsoft OneDrive」のアンインストールは終了です。

次に「Office Home and Business 2013のアンインストール (P. 208)」へ進んでください。

Office Home and Business 2013のアンインストール

1 Windowsを起動する

2 「コントロール パネル (P. 12)」を表示する

3 「プログラム」の「プログラムのアンインストール」をクリック

4 「Microsoft Office」を選択し、「アンインストール」をクリック



チェック

「Microsoft Office Home and Business 2013 - ja-jp」と表示される場合もあります。

これ以降の操作は画面の指示に従ってください。

5 アンインストールが完了したら、「閉じる」ボタンをクリック

6 Windowsを再起動する

再起動を促すメッセージが表示された場合は、「はい」ボタンをクリックしてください。

以上でOffice Home and Business 2013のアンインストールは終了です。

Access Connections

[061100-28]

概要.....	209
使用上の注意.....	210
Access Connectionsでの無線LANの設定と接続.....	211
Access Connectionsでの有線LANの設定と接続.....	212
インストール.....	212
アンインストール.....	213

概要

Access Connectionsはネットワークの設定、接続、切り替えおよびロケーション・プロファイルのインポートとエクスポートができます。

機能の詳細や操作方法、最新情報については、以下をご覧ください。



メモ

Windows標準の無線LAN機能を使用して無線LANのオン／オフや設定、接続をする場合は、「本機の機能」の「[無線LAN機能 \(P. 121\)](#)」をご覧ください。

●機能の詳細や操作方法

Access Connectionsのヘルプ（Access Connectionsを起動し、 ボタンをクリック→「Access Connections ヘルプ」をクリック）



チェック

ヘルプに記載されている機能は、実際に利用できる機能と多少異なる場合があります。

起動方法

1

アプリ画面 (P. 12)を表示する

2

アプリの一覧で「Access Connections」をクリック

Access Connectionsのメインウィンドウが表示されます。



チェック

Access Connectionsは複数のユーザーで同時に使用することはできません。

複数のユーザーがログオンしている環境で他のユーザーがAccess Connectionsのメインウィンドウを起動すると「Access Connectionsは、別のユーザーによって使用されています。別のユーザーをログオフし、もう一度実行してください。」と表示され、Access Connectionsを使用することができません。

ユーザーの切り替えを行う場合、Access Connectionsのメインウィンドウを閉じてからユーザーを切り替えてください。

使用上の注意

- 本アプリケーションを使用する前に、「本機の機能」の「無線LAN機能」に記載している以下の内容をあわせてご覧ください。

概要.....	122
本機を安全にネットワークに接続するために.....	124
無線LAN製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意.....	126
使用上の注意.....	128

- ネットワークの切断について
ネットワークの切断を行うと無線LAN機能が自動的にオフに変更されます。無線LAN機能がオフになった場合、下記の手順で無線LAN機能をオンにしてください。

1 タスク バーの通知領域にある アイコンを右クリック

2 表示されたメニューから「問題のトラブルシューティング」をクリック

これ以降の操作は画面の指示に従ってください。

3 「今後、XXXに自動的に接続します」と表示されたら、「この修正を適用します」をクリック



チェック

XXXには、ご使用のネットワーク名が入ります。

4 「トラブルシューティングが完了しました」と表示されたら、「閉じる」ボタンをクリック

- カスタムテキストサイズの設定について
カスタムテキストサイズの設定（DPI）を125%以上に変更した場合、Access Connectionsが画面からはみ出る場合があります。その場合は、カスタムテキストサイズの設定（DPI）を変更してご使用ください。
- DPIの変更方法（例：100%に設定する場合）

1 「コントロール パネル (P. 12)」を表示する

2 「デスクトップのカスタマイズ」→「ディスプレイ」をクリック

3 「すべてのディスプレイで同じ拡大率を使用する」にチェックを付けてから、「小 - 100% (既定)(S)」を選択し、「適用」ボタンをクリック

4 「これらの変更を適用するには、コンピューターからサインアウトする必要があります」と表示されたら、「今すぐサインアウト」ボタンをクリック

Windowsからサインアウトします。
サインイン画面が表示されたら、サインインしなおしてください。

Access Connectionsでの無線LANの設定と接続

無線LANの設定をする

1 無線LAN機能がオンになっていることを確認する

2 アプリ画面 (P. 12)を表示する

3 アプリの一覧で「Access Connections」をクリック

4 「インターネットに接続」タブをクリック

ネットワーク名 (SSID) の一覧が表示されます。

5 接続する無線LANアクセスポイントのネットワーク名 (SSID) をクリック



チェック

- 選択した無線LANアクセスポイントに間違いがないか、ネットワーク名 (SSID) を確認してください。
- ネットワーク名 (SSID) の一覧に接続するネットワーク名 (SSID) が表示されない場合は、「再検索」ボタンをクリックしてください。それでもネットワーク名 (SSID) が表示されない場合は、無線LANアクセスポイントがネットワーク名 (SSID) を通知しない設定になっている場合があります。無線LANアクセスポイントの設定を確認し、「Access Connections ヘルプ」をご覧ください。なり「ロケーション プロファイルの作成」で無線LANの設定を行ってください。

6 「接続」ボタンをクリック

7 「ネットワークにはネットワーク・キーが必要です。」と表示されたら、「パスワード」を入力して「接続」ボタンをクリック

8 「この接続をロケーションの1つとして保存しますか？」と表示されたら、「ロケーション名」を入力して「保存」ボタンをクリック

以上で設定は完了です。

設定済みの接続先に接続する

- 1 無線LAN機能がオンになっていることを確認する
- 2 アプリ画面 (P. 12)を表示する
- 3 アプリの一覧で「Access Connections」をクリック
- 4 「ロケーション」にある接続先から接続するロケーション プロファイルを選択し、「接続」ボタンをクリック

以上で接続は完了です。

Access Connectionsでの有線LANの設定と接続

Access Connectionsで有線LANでの設定や接続をする場合は、「Access Connections ヘルプ」をご覧ください。

インストール

Access Connectionsのインストール

- 1 アプリ画面 (P. 12)を表示する
- 2 アプリの一覧で「ファイル名を指定して実行」をクリック
- 3 「名前」に次のように入力し、「OK」ボタンをクリック
C:¥DRV¥Nxsetup.exe
- 4 「Access Connections」を選択し、「インストール」ボタンをクリック
これ以降の操作は画面の指示に従ってください。
- 5 「InstallShield ウィザードを完了しました」と表示されたら、「完了」ボタンをクリック
- 6 再起動を促すメッセージが表示されたら、「はい」ボタンをクリック
Windowsが再起動します。

以上でAccess Connectionsのインストールは終了です。

アンインストール

Access Connectionsのアンインストール



チェック

アンインストールはネットワークに接続した状態で行ってください。ネットワークに切断した状態でアンインストールを行うと無線LAN機能がオフになります。
無線LAN機能がオフになった場合、「[ネットワークの切断について \(P. 210\)](#)」を参照して無線LAN機能をオンにしてください。

1

Windowsを起動する

2

「コントロール パネル (P. 12)」を表示する

3

「プログラム」の「プログラムのアンインストール」をクリック

4

「Access Connections」を選択し、「アンインストール」をクリック

5

「Access Connections をアンインストールしますか？」と表示されたら、「はい」ボタンをクリック



チェック

「ユーザー アカウント制御」画面にある「発行元」が「不明」と表示されますが問題ありません。

6

「システムの実行中に更新できないファイルまたはサービスを、セットアップで更新する必要があります。続行する場合は、セットアップを完了するために再起動が必要となります。」と表示されたら、「OK」ボタンをクリック

7

「Access Connections プロファイルを続けてご利用になりますか？」と表示されたら、「いいえ」ボタンをクリック

アンインストール後に再度Access Connectionsをインストールしてご使用になる場合は「はい」ボタンをクリックしてください。

8

再起動を促すメッセージが表示されたら、「はい」ボタンをクリック

Windowsが再起動します。

以上でAccess Connectionsのアンインストールは終了です。

概要.....	214
使用上の注意.....	215
インストール.....	215
アンインストール.....	215

概要

Adobe ReaderはPDF（Portable Document Format）形式のマニュアルの表示、閲覧、印刷を行うことができるビューアです。

機能の詳細、操作方法、および最新情報については、以下をご覧ください。

●機能の詳細や操作方法

ヘルプ（Adobe Readerを起動し、「ヘルプ」→「Adobe Reader XI ヘルプ」をクリック）



チェック

ヘルプを参照するにはインターネットに接続できる環境が必要です。

●Adobe Readerの最新の情報

<http://www.adobe.com/jp/index.html>



チェック

Webサイトを定期的にご覧になり、最新情報を確認することをおすすめします。

起動方法

1

アプリ画面 (P. 12)を表示する

2

アプリの一覧で「Adobe Reader XI」をクリック



チェック

インストール後、初めてお使いになる場合は、起動時に「Adobe Reader XI - パーソナル コンピューターでの使用に関する配布の使用許諾契約」画面が表示されます。
内容を確認し「同意する」ボタンをクリックしてください。

Adobe Readerの画面が表示されます。

■ 使用上の注意

- マルチランゲージには対応していません。
- Windows 8.1ではPDF形式のファイルを表示するビューアが標準に搭載されております。
Adobe Readerを使用してPDF形式のファイルを表示する場合は下記の手順を行ってください。

1 PDF形式のファイルを右クリック

2 「プログラムから開く」をクリックして「Adobe Reader」をクリック

■ インストール



チェック

「C:¥DRV¥AdobeReader¥AdbeRdr11004_ja_JP.exe」をダブルクリックすることで簡単にインストールできます。

Adobe Readerのインストール

アプリケーションディスクをご利用になる場合は、次の手順でインストールしてください。

1 アプリ画面 (P. 12)を表示する

2 アプリの一覧で「ファイル名を指定して実行」をクリック

3 「名前」に次のように入力し、「OK」ボタンをクリック

C:¥DRV¥AdobeReader¥AdbeRdr11004_ja_JP.exe

これ以降の操作は画面の指示に従ってください。

4 インストールが完了したら、Windowsを再起動する

以上でAdobe Readerのインストールは終了です。

■ アンインストール

Adobe Readerのアンインストール

1 Windowsを起動する

2 「コントロール パネル (P. 12)」を表示する

3 「プログラム」の「プログラムのアンインストール」をクリック

4 「Adobe Reader XI (11.0.04) - Japanese」を選択し、「アンインストール」をクリック

これ以降の操作は画面の指示に従ってください。

5 アンインストールが完了したら、Windowsを再起動する

以上でAdobe Readerのアンインストールは終了です。

画面表示設定切替ツール

[062100-28]

概要	217
使用上の注意	218
インストール	218
アンインストール	219

概要

画面表示設定切替ツールは、タッチパネルモデルご利用時のタッチパネル操作や高解像度モデルご利用時の操作・閲覧を快適にするために、Windowsの表示設定を切り替える設定ツールです。
利用シーンに応じて設定を3種類まで保存し、表示設定をかんたんに切り替えることができます。

機能の詳細や操作方法については、以下をご覧ください。

●機能の詳細や操作方法

画面表示設定切替ツールのヘルプ（[アプリ画面 \(P. 12\)](#)）→「画面表示設定切替ツール」→「画面表示設定切替ツール ヘルプ」)



チェック

画面表示設定切替ツールは、工場出荷状態でインストールされています。

モードの切り替え方法



チェック

- モードの切り替えを行った後、Windowsのサインアウトが必要な場合があります。
- モードの切り替えを行う前にデータを保存し、アプリケーションを終了させてください。
- なお、サインアウト確認画面が表示されなかった場合には、Windowsのサインアウトは必要ありません。

1

デスクトップの「画面表示設定切替ツール」をダブルクリック

画面表示設定切替ツール画面が表示されます。

2

切り替えたい設定をクリック

3

サインアウトを促すメッセージが表示されたら、「今すぐサインアウト」ボタンをクリック

■ 使用上の注意

- 画面表示設定切替ツールは、表示の切り替えを行うたびに以下の項目に対してWindowsの設定を変更します。
このため、お客さまが「コントロール パネル」等で個々に変更された設定値は保持されず、切り替え時に画面表示設定切替ツールによって変更されてしまいますので、ご注意ください。
 - テキストやその他の項目のサイズ (DPI)
 - デスクトップのアイコンサイズ
 - タイトルバーのサイズ/フォントのサイズ/ボタンサイズ
 - ウィンドウの境界の太さ
 - スクロールバーの太さ
 - メニューのサイズ/フォントのサイズ
 - マウスのポインタ
 - 文字入力時のカーソルのサイズ
 - 文字入力時のカーソルの点滅速度
- 「コントロール パネル」等から「テキストやその他の項目の大きさの変更(DPI)」の変更を行ったり、個人設定でテーマを変更すると、画面表示設定切替ツールで変更した以下の項目はWindowsによって再設定されてしまいます。
この場合は、再度画面表示設定切替ツールにて表示の切り替えを行ってください。
 - タイトルバーのサイズ/フォントのサイズ/ボタンサイズ
 - ウィンドウの境界の太さ
 - スクロールバーの太さ
 - メニューバーのサイズ/フォントのサイズ
- 「メニューのサイズ、および メニューのフォントサイズ」や「タイトルバーのサイズとフォントサイズ、タイトルのボタンのサイズ」を「大」に設定すると、Windowsの仕様により、エクスプローラの左下に表示されるプロパティなどの文字列が途切れたり、重なったりする場合があります。

■ インストール

画面表示設定切替ツールのインストール

1 アプリ画面 (P. 12)を表示する

2 アプリの一覧で「ファイル名を指定して実行」をクリック

3 「名前」に次のように入力し、「OK」ボタンをクリック

C:¥DRV¥dsmodechg¥DSModeChg_setup.msi

これ以降の操作は画面の指示に従ってください。

4 インストールが完了したら、Windowsを再起動する

以上で画面表示設定切替ツールのインストールは終了です。

アンインストール

画面表示設定切替ツールのアンインストール

1 Windowsを起動する

2 「コントロール パネル (P. 12)」を表示する

3 「プログラム」の「プログラムのアンインストール」をクリック

4 「画面表示設定切替ツール」を選択し、「アンインストール」をクリック

これ以降の操作は画面の指示に従ってください。

5 アンインストールが完了したら、Windowsを再起動する

以上で画面表示設定切替ツールのアンインストールは終了です。

mazec for Windows日本語版

[062300-08]

概要	220
使用上の注意	220
インストール	220
アンインストール	221

概要

mazec for Windows日本語版はタッチパネル上で手書きした文字をテキストに変換して入力するアプリケーションです。

●機能の詳細や操作方法

mazec for Windows日本語版のヘルプ（mazec for Windows日本語版を起動し、画面右上の「?」ボタンをタップ）

起動方法

1 アプリ画面 (P. 12)を表示する

2 アプリの一覧で「mazec」をタップ

mazec-T for Windowsの画面が表示されます。

使用上の注意

- アプリケーションによっては文字を入力できない場合があります。そのようなアプリケーションでは他の入力手段をご使用ください。
- 使用可能期間は、インストールから1年間です。
引き続きお使いになる場合は、mazec for Windows日本語版の更新手続（有償）が必要です。

インストール

mazec for Windows日本語版のインストール



チェック

mazec for Windows日本語版を使用するにはJavaをインストールする必要があります。インストールしていない場合、mazec for Windows日本語版を使用できません。

Javaは、Javaの公式Webサイトから入手できます。入手にはインターネットに接続できる環境が必要です。
<http://java.com/ja/download/>

1 Windowsを起動する

2 アプリ画面 (P. 12)を表示する

3 アプリの一覧で「ファイル名を指定して実行」をタップ

4 「名前」に次のように入力し、「OK」ボタンをタップ

C:¥drv¥mazec¥mazecsetup.exe

これ以降の操作は画面の指示に従ってください。

5 インストールが完了したら、Windowsを再起動する

以上でmazec for Windows日本語版のインストールは終了です。

アンインストール

mazec for Windows日本語版のアンインストール

1 Windowsを起動する

2 「コントロール パネル (P. 12)」を表示する

3 「プログラム」の「プログラムのアンインストール」をタップ

4 「mazec-T for Windows」を選択し、「アンインストール」をタップ

これ以降の操作は画面の指示に従ってください。

5 アンインストールが完了したら、Windowsを再起動する

以上でmazec for Windows日本語版のアンインストールは終了です。

フリック入力補助ツール

[062800-28]

概要	222
使用上の注意	223
インストール	223
アンインストール	223

概要

フリック入力補助ツールは、フリック機能を使ってコントロールキーやWindowsキーを使ったショートカットキーイベントを操作するツールです。

mazec for Windows日本語版やタッチキーボードと併用して操作することができます。

また、「フリック入力補助ツール設定」で設定変更することによって、組み合わせ操作するキーを並び替えることができます。

機能の詳細、操作方法、および最新情報については、以下をご覧ください。

●機能の詳細や操作方法

フリック入力補助ツールのヘルプ（「フリック入力補助ツール設定」を起動し、ショートカットの割り当て右にある「？」ボタンをクリック）

起動方法

●フリック入力補助ツールの起動

1 タスクバーにあるアイコンをクリック

- フリック入力補助ツールをインストールしたユーザでサインインしている場合、インストールすると、タスクバーにアイコンが表示されるようになります。
- インストールユーザ以外のアカウントでは、ログインすると、タスクバーにアイコンが表示されるようになります。

●「フリック入力補助ツール設定」の起動



チェック

「フリック入力補助ツール」をお使いになった上で、設定キーの変更が必要な場合に起動してください。
設定キーはユーザアカウントごとに登録することができます。

1

アプリ画面 (P. 12)を表示する

2

アプリの一覧で「フリック入力補助ツール」→「フリック入力補助ツール設定」をクリック

「フリック入力補助ツール設定」の画面が表示されます。

■ 使用上の注意

本ツールは、タッチペンによる操作はできません。必ず指で操作してください。

■ インストール

フリック入力補助ツールのインストール

1 アプリ画面 (P. 12)を表示する

2 アプリの一覧で「ファイル名を指定して実行」をクリック

3 「名前」に次のように入力し、「OK」ボタンをクリック

C:¥DRV¥Nxsetup.exe

4 「フリック入力補助ツール」を選択し、「インストール」ボタンをクリック

これ以降の操作は画面の指示に従ってください。

5 「InstallShield ウィザードを完了しました」と表示されたら、「完了」ボタンをクリック

以上でフリック入力補助ツールのインストールは終了です。

■ アンインストール

フリック入力補助ツールのアンインストール

1 Windowsを起動する

2 「コントロール パネル (P. 12)」を表示する

3 「プログラム」の「プログラムのアンインストール」をクリック

4 「フリック入力補助ツール」を選択し、「アンインストール」をクリック

5 「フリック入力補助ツール をアンインストールしますか？」と表示されたら、「はい」ボタンをクリック

6 「システムの実行中に更新できないファイルまたはサービスを、セットアップで更新する必要があります。続行する場合は、セットアップを完了するために再起動が必要となります。」と表示された場合は、「OK」ボタンをクリック

これ以降の操作は画面の指示に従ってください。

以上でフリック入力補助ツールのアンインストールは終了です。

拡張ディスプレイ操作ツール

[062900-28]

➤ 概要.....	225
➤ 使用上の注意.....	225
➤ インストール.....	226
➤ アンインストール.....	226

概要

拡張ディスプレイ操作ツールは、アプリケーションを外部ディスプレイ側へ移動したり、操作したりできるツールです。

機能の詳細、操作方法、および最新情報については、以下をご覧ください。

●機能の詳細や操作方法

デスクトップやエクスプローラから、外部ディスプレイへ移動したいアプリケーションやファイルのアイコンを、「拡張ディスプレイ操作ツール」のウィンドウへドラッグ&ドロップします。

アプリケーションが、外部ディスプレイ側に表示されます。

起動方法

1 アプリ画面 (P. 12)を表示する

2 アプリの一覧で「拡張ディスプレイ操作ツール」をクリック

使用上の注意

- 本ツールは、デスクトップ画面上で動作するアプリケーションです。OfficeやInternet Explorer、Windows Media Player、Adobe Readerなどが対象です。使用するアプリケーションによっては正常に移動、操作できないものがあります。
- 評価版、試用期間の情報ダイアログが表示されるようなアプリケーションを外部ディスプレイに表示しようとする、操作しているパソコンのディスプレイにダイアログ表示されます。このため、アプリケーションが外部ディスプレイに表示できないことがあります。あらかじめご注意ください。
- 本ツールを管理者として実行すると、ドラッグ&ドロップが動作しなくなるためランチャー機能は使えません。
- ツール内に表示される疑似タッチパッドを使うと、外部ディスプレイに移動したアプリケーション上でタッチ機能が利用できます。ただし、一部の操作は利用できないことがあります。
- 本ツールは、タッチペンによる操作はできません。必ず指で操作してください。
- 操作中は外部ディスプレイに表示されているマウスカーソルが点滅します。

インストール

拡張ディスプレイ操作ツールのインストール

1 アプリ画面 (P. 12)を表示する

2 アプリの一覧で「ファイル名を指定して実行」をクリック

3 「名前」に次のように入力し、「OK」ボタンをクリック

C:¥DRV¥Nxsetup.exe

4 「拡張ディスプレイ操作ツール」を選択し、「インストール」ボタンをクリック

これ以降の操作は画面の指示に従ってください。

5 「InstallShield ウィザードを完了しました」と表示されたら、「完了」ボタンをクリック

以上で拡張ディスプレイ操作ツールのインストールは終了です。

アンインストール

拡張ディスプレイ操作ツールのアンインストール

1 Windowsを起動する

2 「コントロール パネル (P. 12)」を表示する

3 「プログラム」の「プログラムのアンインストール」をクリック

4 「拡張ディスプレイ操作ツール」を選択し、「アンインストール」をクリック

5 「拡張ディスプレイ操作ツール をアンインストールしますか？」と表示されたら、「はい」ボタンをクリック

6 「システムの実行中に更新できないファイルまたはサービスを、セットアップで更新する必要があります。続行する場合は、セットアップを完了するために再起動が必要となります。」と表示された場合は、「OK」ボタンをクリック

これ以降の操作は画面の指示に従ってください。

以上で拡張ディスプレイ操作ツールのアンインストールは終了です。

マカフィー リブセーフ

[063000-28]

➤ 概要.....	227
➤ 使用上の注意.....	228
➤ インストール.....	231
➤ アンインストール.....	231

概要

マカフィー リブセーフは、リアルタイムのウイルス対策とマルウェア対策、迷惑メール対策、双方向ファイアウォールの脆弱性対策、保護者機能などを搭載した包括的なセキュリティソフトウェアです。
機能の詳細、操作方法、制限事項、および最新情報については、以下をご覧ください。

●機能の詳細や操作方法

定期的にウイルスを検索するスケジュール スキャン、ネットワークや外付けドライブを経由したウイルスの侵入を常に見張る機能やウイルスを駆除する機能などがあります。



チェック

マカフィー リブセーフのヘルプやサポート情報などを確認するには、インターネットに接続して行います。

●動作環境、制限事項に関する情報

試用期間は、初めてマカフィー リブセーフをセットアップした時点から60日間になります。60日間は無料で試用することができますが、試用期間が終了するとウイルス定義ファイル(DAT)、ウイルス検索エンジンを含む製品のアップデートを行なうことができなくなります。

マカフィー リブセーフのすべての機能を引き続きご利用になる場合は、マカフィー リブセーフを購入する必要があります。

購入に関する詳細な情報は以下のホームページをご覧ください。

<http://www.mcafee.com>



チェック

試用期間の終了後もウイルス定義ファイル・ウイルス検索エンジンによる本体でのウイルス検索は、引き続き行なうことができます。ただし、試用期間の終了後に発見されたウイルスに対して検出・駆除が実施されませんのでご注意ください。

●マカフィー リブセーフの最新の情報

<http://www.mcafee.com>



チェック

- マカフィー リブセーフに関する緊急アップデート等の重要な製品情報が掲載されますので、マカフィーのホームページにて定期的に最新情報を確認することをおすすめします。
- コンピュータウイルスを検出した場合は、「トラブルの予防と解決のヒント」の「[ウイルスから守る \(P. 243\)](#)」をご覧ください。

起動方法

1

アプリ画面 (P. 12)を表示する

2

アプリの一覧で「マカフィーリブセーフ - インターネットセキュリティ」をクリック

マカフィー リブセーフの画面が表示されます。

使用上の注意

マカフィー リブセーフについて

パソコンのデータとWeb閲覧を保護するために、マカフィーセキュリティ対策の最新の更新をインストールしてください。

新しいウイルス、ハッカーの攻撃など、パソコンやデータはオンライン脅威に常にさらされています。セキュリティ対策の更新により、新しいウイルス、スパイウェアなどの脅威を阻止するだけでなく、マカフィーソフトウェアの機能強化もインストールすることができます。



チェック

- マカフィー リブセーフの更新やクラウドを使用したウイルスチェックなどはインターネットに接続して行います。インターネットに接続のために必要なインターネット接続料金や電話料金などがかかります。特に携帯電話など、インターネット接続を従量制で契約されている場合は通信料金にご注意ください。
- インターネットに接続していない場合は、パソコンに保存されている情報をもとにウイルスチェックを行うため、最新の情報でない場合があります。
- コンピュータ全体のバックアップを定期的に作成しておくことをおすすめします。万一ウイルスに感染してしまった場合にも、ドライブを初期化し、バックアップからデータを復元することで復旧できます。

アップデートについて

新たに発生する脅威からパソコンを保護するために、マカフィーソフトウェアを常に最新の状態にしてください。



チェック

- マカフィーソフトウェアを購入して登録すると、更新が自動的に確認され、インストールされます。
- マカフィー リブセーフの更新は、インターネットに接続して行います。

◆更新の確認

自動更新が有効になっている場合でも、更新を確認することができます。更新を確認するときは、次の手順で行います。

1 「ホーム」にある「マカフィー 更新」をクリック

2 「更新の確認」をクリック



メモ

通知領域にあるマカフィーのアイコンを右クリックして「更新の確認」を選択しても、更新を確認することができます。

◆更新オプションの選択

自動更新では、新しいウイルスやスパイウェアなどの脅威に対する保護機能だけでなく、マカフィーソフトウェアの機能強化もインストールされます。また、更新の方法を手動で変更することができます。更新オプションを選択するときは、次の手順で行います。

1 「ホーム」にある「マカフィー 更新」をクリック

2 「更新の設定」をクリック

3 自動更新を受信するオプションを選択する

- 「更新を自動的にダウンロードしてインストールする。」
- 「更新をダウンロードするが、インストール前に通知する。」
- 「更新が使用可能になったら通知する。」

4 「適用」をクリック

◆自動更新の有効/無効の設定

自動更新は、次の手順で有効または無効にすることができます。



チェック

更新を受信することで、新たに発生する脅威からパソコンを保護することができるため、自動更新を無効にしないことをおすすめします。

1 「ホーム」にある「マカフィー 更新」をクリック

2 「更新の設定」をクリック

3 「有効にする」または「無効にする」をクリック

スケジュール スキャンについて

スケジュール スキャンを設定すると、パソコンを定期的にスキャンし、ウイルス、スパイウェアなどの脅威を確認することができます。

次の手順で、スケジュール スキャンを設定してください。

1 「ホーム」にある「ウイルスおよびスパイウェア対策」をクリック

2 「スケジュール スキャン」をクリック

3 「スケジュール スキャン」で、ステータスが「無効」の場合は「有効にする」をクリック

4 「スキャンスケジュールを設定」をクリックし、スキャンのスケジュールを選択する



チェック

独自のスキャンスケジュールを設定する場合は、「独自のスキャンスケジュールを作成」にチェックをつけ、スキャンを開始する時刻と、月/週/日のいずれかを設定してください。

5 スキャン中のパソコンのリソース消費を最小限にするには、「最小限のコンピューターリソースを使用してスキャンを実行」を選択する

6 パソコンのバッテリー消費を最小限にするには、「電源プラグ使用時にのみスキャンを開始」を選択する

7 「適用」をクリック

以上でスケジュール スキャンの設定は終了です。

ファイル/フォルダのセキュリティ監視について

アプリケーションのインストール、アンインストール、または使用中に警告を受けたときは、対象のアプリケーションが安全なものであることを確認した上で、マカフィー リブセーフのヘルプをご覧ください。スキャン対象外に設定してください。

ボリューム削除時のウィンドウについて

「ディスクの管理」より「ボリュームの削除」を行うと、ボリューム使用中を表す警告ウィンドウが表示される場合がありますが動作に影響はありません。

警告ウィンドウが表示された場合は、「はい」 ボタンをクリックしてください。

インストール



チェック

- デスクトップにある「マカフィー リブセーフ インストーラ」アイコンをダブルクリックすることで簡単にインストールできます。
- 手順の途中で「ユーザー アカウント制御」画面でMicrosoft Windowsの署名が表示されますが、「はい」をクリックして進んでください。
- 本機を再セットアップした場合は、デスクトップに「マカフィー リブセーフ インストーラ」アイコンは表示されません。

マカフィー リブセーフのインストール

本機を再セットアップした場合は、次の手順に従ってマカフィー リブセーフをインストールしてください。

1

Windowsを起動する

2

アプリ画面 (P. 12)を表示する

3

アプリの一覧で「ファイル名を指定して実行」をタップ

4

「名前」に次のように入力し、「OK」ボタンをタップ

C:¥drv¥Nxsetup.exe

5

「マカフィー リブセーフ」を選択し、「インストール」ボタンをタップ

これ以降の操作は画面の指示に従ってください。

6

「インストール完了」と表示されたら、「完了」ボタンをタップ

以上でマカフィー リブセーフのインストールは終了です。

アンインストール

マカフィー リブセーフのアンインストール

1

Windowsを起動する

2

「コントロール パネル (P. 12)」を表示する

3

「プログラム」の「プログラムのアンインストール」をクリック

4 「マカフィーリブセーフ - インターネットセキュリティ」を選択し、「アンインストールと変更」をクリック

これ以降の操作は画面の指示に従ってください。

5 「ソフトウェアが削除されました。」と表示されたら、「今すぐ再起動」ボタンをクリック

Windowsが再起動します。

以上でマカフィー リブセーフのアンインストールは終了です。

メンテナンスと管理

[070000-28]

- 内蔵フラッシュメモリのメンテナンス..... 234
- お手入れについて..... 236

内蔵フラッシュメモリのメンテナンス

[070200-28]

➤ バックアップ.....	234
➤ 復元.....	234
➤ その他のメンテナンス.....	235

内蔵フラッシュメモリ内の大切なデータを守り、トラブルを予防するには、データのバックアップが重要です。また、突然のトラブルを予防するために、定期的にメンテナンスを行うことも大切です。ここでは、内蔵フラッシュメモリのバックアップ方法、および内蔵フラッシュメモリのメンテナンスについて説明しています。

バックアップ

Windowsではファイルとフォルダ、またはコンピュータ全体をバックアップすることができます。大切なデータを保護するには、定期的にバックアップしてください。バックアップの方法についての詳細は、Windowsのヘルプをご覧ください。

復元

ファイルの復元

お客様が作成したファイル（データファイル）を紛失、あるいは損傷してしまった場合、ファイルの復元を行うことにより、ファイルをバックアップした時の状態に戻すことができます。また、ファイルの復元は個別、グループ単位で復元することができます。ファイルの復元の方法についての詳細は、Windowsのヘルプをご覧ください。



チェック

ファイルの復元を行うときは、すべてのアプリケーションを終了してください。

システムの復元

本機の動作が不安定になるなど、システムにトラブルが起きてしまった場合には、「システムの復元」を実行すると、もとの状態に戻すことができます。システムの復元の方法については、『再セットアップガイド』をご覧ください。



チェック

- システムの復元を行うときは、すべてのアプリケーションを終了してください。
- システムの復元では、お客様が作成したファイル（データファイル）を復元することはできません。

■ その他のメンテナンス

内蔵フラッシュメモリ内のデータの障害をチェックし、効率的に利用するために、次のメンテナンスツールがインストールされています。

これらのツールについて詳しくは、Windowsのヘルプをご覧ください。

チェック ディスク

内蔵フラッシュメモリや内蔵フラッシュメモリ内のデータの障害を検査するためのツールです。

ファイルシステムやFAT（ファイルアロケーションテーブル）、クラスタ、ディレクトリツリー構造などをチェックすることができます。

ディスク クリーンアップ

不必要なファイルを削除し、内蔵フラッシュメモリの空き容量を増やすためのツールです。

お手入れについて

[070300-20]

お手入れを始める前に



チェック

- 可燃性のエアダスターは使用しないでください。発火・火災の原因となることがあります。
- シンナーやベンジンなど、揮発性の有機溶剤は使わないでください。これらの有機溶剤を含む化学ぞうきんも使わないでください。キーボードなどを傷め、故障の原因になります。
- 水やぬるま湯は、絶対に本体やキーボードに直接かけないでください。故障の原因になります。

準備するもの

軽い汚れのとき

乾いたきれいなやわらかい布

ひどい汚れのとき

水かぬるま湯を含ませて、よくしぼったやわらかい布

お手入れのしかた



チェック

- お手入れの前には、必ず本体や周辺機器の電源を切ってください。
使用していないときも、スリープ状態になっている場合があります。一度、Windowsを起動してから、電源を切ってください。
電源コードのプラグはコンセントから抜いてください。電源を切らずにお手入れを始めると、感電することがあります。
- 水やぬるま湯は、絶対に直接かけないでください。故障の原因になります。
- シンナーやベンジンなどの有機溶剤は、使用しないでください。外装を傷めたり、故障の原因になったりします。

本体、キーボード

やわらかい布でふいてください。

汚れがひどいときは、水かぬるま湯を布に含ませ、よくしぼってからふき取ってください。

液晶ディスプレイ

やわらかい布でふいてください。化学ぞうきんやぬらした布は使わないでください。

ディスプレイの画面は傷などが付かないように軽くふいてください。

電源コード／ACアダプタ

やわらかい布でふいてください。

電源コードのプラグを長期間コンセントに接続したままにすると、プラグにほこりがたまることがありますので、定期的に清掃してください。

マウス

やわらかい布でふいてください。

汚れがひどいときは、水かぬるま湯を布に含ませ、よくしぼってからふき取ってください。

マウスの底面のセンサーにほこりなどが付着して、マウスの移動を正しく読み取ることができなくなる場合があります。センサー周辺の汚れやほこりを軽くはらってください。



チェック

むやみにセンサー部分に触れると、故障の原因になります。市販の専用の光学式マウス専用クリーナーを使用するか、エアーブラシなどを使って汚れを取り除いてください。

指紋センサ（ライン型）

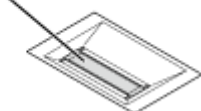


チェック

- センサは直接指で触れるため、指の汚れが付着します。常にセンサをきれいにし、ご使用ください。
- ボールペンなど先の尖ったものを使用しないでください。

センサ部分をやわらかい布で拭いてください。

センサ部分



別売のOSを利用する

[080000-08]

➤ 別売のOSを利用する.	239
-----------------------	-----

別売のOSを利用する

[080100-00]

本機でボリュームライセンスや市販パッケージなどの別売OS（お使いの装置専用の「再セットアップ用メディア」以外）を利用する場合に必要な装置固有のドライバおよびセットアップ手順を、次のサイトで紹介しています。

- NECの「ビジネスPC」サイト
<http://jpn.nec.com/bpc/>

NECの「ビジネスPC」サイトで「サポート情報（ダウンロード）」を選択して、「ご使用中のお客様」から「ドライバ・ソフトウェア」をクリックし、「ドライバ・ソフトウェア」の「モジュール、ドライバ」から、必要なドライバを選択してください。



チェック

- 利用できるOSは機種によって異なりますので、ご注意ください。
- ご利用にあたり、使用許諾契約書への同意が必要になります。また、いくつか制限事項がありますので、必ずご利用前にサイト中の制限事項や注意事項および「ご利用前に必ずお読みください」「ドライバ利用手順」を確認してください。
ドライバ適用時には、特別な手順が必要なドライバがありますので必ず各ドライバの「SETUP.TXT」を確認してください。
また、OS自体に起因するトラブルに関しましては対応しかねますので、OS媒体の購入元にお問い合わせください。

トラブルの予防と解決のヒント

[090000-28]

➤	トラブルの予防.....	241
➤	ウイルスから守る.....	243
➤	トラブル発生に備えて.....	245
➤	解決のヒント.....	246
➤	Windowsヘルプの紹介.....	249

電源は正しい順序で操作する



参照

正しい電源の入れ方と切り方

「本機の機能」の「電源」 - 「[電源の入れ方と切り方 \(P. 36\)](#)」

Windowsを最新の状態に保つ

Windows® Update、またはMicrosoft® Updateでは最新かつ重要な更新プログラムが提供されています。Windowsを最新の状態に保つために、Windows® Update、またはMicrosoft® Updateを定期的の実施してください。



チェック

- PCの安定動作およびセキュリティ向上のため、Windows® Update、またはMicrosoft® Updateを可能な限りOSのセットアップ直後に実施してください。アップデートの前にInternet Explorerのダウングレードなど、必要な作業項目がある場合は、各手順に従って対応してください。
- 本機には更新プログラムがインストールされています。更新プログラムをアンインストールすると、修正されていた問題が発生する可能性がありますので、更新プログラムのアンインストールは行わないでください。

チェック ディスクを使って定期的に内蔵フラッシュメモリのメンテナンスを行う

チェック ディスクを使って、定期的に内蔵フラッシュメモリにエラーがないかどうかを調べてください。チェック ディスクは、次の手順で表示することができます。

また、チェック ディスク以外のメンテナンスについては、「メンテナンスと管理」の「[内蔵フラッシュメモリのメンテナンス \(P. 234\)](#)」をご覧ください。



チェック

手順の途中で「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、画面の表示を確認し操作してください。



参照

「ユーザー アカウント制御」画面

「はじめに」の「[ユーザー アカウント制御](#)」について (P. 11)」

1

アプリ画面 (P. 12)を開き、アプリの一覧で「PC」をクリック

2 エラーチェックする内蔵フラッシュメモリのアイコンを右クリックし、表示されたメニューから「プロパティ」をクリック

3 「ツール」タブをクリック

4 「チェック」ボタンをクリック

5 オプションを設定して「開始」ボタンをクリック

保守契約を結び定期的にメンテナンスをする

本機を長時間連続で運用するなど、信頼性を必要とする設備として利用する場合は、必ず保守契約を行い、定期的にメンテナンスを実施してもらうとともに、有寿命部品などの交換を依頼してください。

改造をしない

本機のマニュアルに記載されている方法以外で、本機の改造や修理をしないでください。



チェック

本機のマニュアルに記載されている方法以外で改造や修理をした製品については、当社のサービスの対象外となります。

➤ ウイルスとは.....	243
➤ マカフィー リブセーフを使ってウイルスを駆除する.....	244

■ ウイルスとは

ウイルス（コンピュータウイルス）とはプログラム的一种です。
ユーザー（使用者）が気づかないうちにシステムに入り込み、異常なメッセージを表示するものや、プログラムやデータの一部を破壊するものなど、さまざまなものがあります。

ウイルスの感染を防ぐために

ウイルスの感染を少しでも防止するために、次の方法を参考にしてください。

- オリジナルプログラムは、ライトプロテクト措置、バックアップの確保等の安全な方法で保管する
- 出所が不明なCDなどのメディアは使用しない
- マクロ感染型ウイルスのおそれがあるので、出所が不明なデータファイルを開かない
- プログラムを実行する時は、ウイルス検査を済ませてから使用する
（インターネットからプログラムをダウンロードするときも、直接実行せず、いったんディスクに保存し、ウイルス検査を済ませてから使用する）
- ウイルスチェックを定期的に行う
- ウイルスパターンファイルはこまめに更新する
- ソフトウェアのセキュリティホールをふさぐ

また、定期的にデータのバックアップを作成しておくことをおすすめします。
万一ウイルスに感染してしまった場合にも、ドライブを初期化し、バックアップからデータを復元することで復旧できます。

ウイルスを発見したら

ウイルスを駆除するには、該当ファイルを削除して、アプリケーションを再インストールすることが一番安全で確実な方法です。

ただし、発見されたウイルスがブートセクタ型の場合、ブートセクタがウイルスに感染した可能性のある段階ではこの方法は使えません。

また、二次感染を防ぐため、ウイルスが発見されたパソコンで使用した媒体をすべて検査する必要があります。

本機添付のマカフィー リブセーフをご使用の場合は「マカフィー リブセーフを使ってウイルスを駆除する (P. 244)」をご覧ください。

マカフィー リブセーフ以外のセキュリティ対策ソフトをご使用の場合、使用されているセキュリティ対策ソフトの指示に従ってください。



チェック

パソコンの電源は切らないでください。ウイルスによっては症状が悪化することがあります。

ウイルスの被害届について

日本では、ウイルスを発見した場合、所定の機関への届出が義務付けられています。

届出をしなくても罰則の規定はありませんが、今後の対策や被害状況の把握のためにも積極的な報告をお願いします。

届け出先：独立行政法人 情報処理推進機構（IPA）

IPAセキュリティセンター

FAX： 03-5978-7518

E-mail： virus@ipa.go.jp

URL： <http://www.ipa.go.jp/security/>

同機構ではウイルスに関する相談を下記の電話でも対応しています。

（IPA）コンピュータウイルス110番

TEL：03-5978-7509

■ マカフィー リブセーフを使ってウイルスを駆除する

ウイルスの感染を検査するには

マカフィー リブセーフを使ったウイルス検査には、次のような方法があります。

◆脅威を検査する

ファイルを開く、保存する、またはダウンロードする時に検査を実行します。

◆すぐに検査する（カスタムスキャン）

ウイルスに感染していないかの検査を、その場ですぐに実行します。

外部からファイルを受け取ったときなどには「カスタムスキャン」を実行し、受け取ったファイルがウイルスに感染していないことを確認することをおすすめします。

◆定期的に検査する（スケジュール スキャン）

設定した実行タイミングに応じて、ウイルス感染の検査を自動的に実行します。

ウイルスを検出した場合

ウイルスが検出された場合、削除されたウイルス名やスキャンの概要が表示されます。

スキャン中にセキュリティ脅威が検出されると、脅威の種類に応じて自動的に処理されます。

新種のウイルスに備えるには

新たに発生するセキュリティ脅威からパソコンを保護するには、マカフィーソフトウェアを常に最新の状態にしておく必要があります。

■ 大切なデータはバックアップをとっておく

トラブル発生によるデータの消失や破損に備え、大切なデータはバックアップをとっておくことをおすすめします。

■ あらかじめ復元ポイントを作成しておく

Windowsの設定の変更や、周辺機器の接続などをする場合に、あらかじめ復元ポイントを作成しておくことで、Windowsの設定を復元ポイント作成時の状態まで戻すことができます。

復元ポイント作成後に行った変更によってトラブルが発生した場合の解決策として有効です。

復元ポイントの作成方法は、「[コントロール パネル \(P. 12\)](#)」を表示し、「システムとセキュリティ」→「システム」→「システムの保護」→「作成」で行ってください。

システムの復元については、『再セットアップガイド』をご覧ください。

■ あらかじめ「回復ドライブ」を作成しておく

本機は、内蔵フラッシュメモリ内にシステム復旧時に必要な「回復ドライブ」を作成するためのデータを格納しています。ファイルの破損などにより、Windowsが正常に起動しないときに備え、市販のUSBフラッシュメモリを使用して、あらかじめ「回復ドライブ」を作成しておくことをおすすめします。

「回復ドライブ」の作成／使用方法は、『再セットアップガイド』をご覧ください。

解決のヒント

[090300-28]

パソコンは、さまざまなアプリケーションや周辺機器を組み合わせるため、予期しないトラブルが発生することがあります。

トラブルをうまく解決するためには、いくつかのポイントがあります。

落ちついて対処する

あわてて電源を切ったり、タッチパネルを何度も操作したりしないでください。

本機が反応していない（フリーズした）ように見えても、アプリケーションなどの処理に時間がかかっているだけのこともあります。

しばらく待って、処理が終わり操作ができるようにならないか確認してください。

メッセージが表示されている場合は記録する

本機で発生している問題の状況を示している場合や、サポートに問い合わせる際に有効な情報である場合があります。数字や英語など意味のわからないメッセージであってもメモにとるなどして記録してください。

トラブル発生直前に行った変更を確認する

トラブルが発生する直前に、周辺機器の取り付けやアプリケーションのインストールなどの変更をした場合、その変更がトラブルの原因になっている場合があります。行った変更を元に戻すことができるならば、1つずつ元に戻し、トラブルが発生しなくならないか確認してください。原因がわかると対処しやすくなります。

セーフモードを利用する

Windowsの状態や設定などの理由でトラブルが発生し、通常の手順で起動できないときは、セーフモードで本機を起動して、状態を調べたり、設定を変更したりできます。

詳しくは、「[セーフモードでWindowsを起動する \(P. 340\)](#)」をご覧ください。

システム情報を利用する

本機の構成情報や関連情報などを収集、表示し、システムの問題を解決するために必要なデータをすばやく探すことができます。

システム情報を表示するには、次の手順で行ってください。

- 1 「**コントロール パネル (P. 12)**」を表示し、「**システムとセキュリティ**」→「**管理ツール**」→「**システム情報**」をダブルクリック

システムの復元を利用する

本機に行った不適切な変更を取り消し、設定を元に戻すことができます。

システムの復元を表示するには、次の手順で行ってください。

1 「コントロール パネル (P. 12)」を表示し、「システムとセキュリティ」→「システム」→「システムの保護」→「システムの復元」をクリック

システムの復元の方法については、『再セットアップガイド』をご覧ください。

Windowsのヘルプを使う

「Windowsヘルプの紹介 (P. 249)」をご覧ください。

「トラブル解決Q&A」でトラブルが起きている項目を確認し、あてはまるトラブルの記載がないか探す

あてはまる記載があったら、その記載をお読みください。

周辺機器やアプリケーションのマニュアルやヘルプ、READMEファイルを見る

周辺機器やアプリケーションに関してトラブルが発生した場合は、それらに添付のマニュアルやヘルプ、READMEファイルを確認してください。

NECの「ビジネスPC」サイトを見る

NECの「ビジネスPC」サイトでは、企業向け情報機器に関する最新のサポート情報やアップデート情報を紹介しています。
<http://jpn.nec.com/bpc/>をご覧ください。最新の情報をご確認ください。

BIOSセットアップユーティリティの設定を工場出荷時の設定値に戻す

「システム設定」の「BIOSセットアップユーティリティについて」-「工場出荷時の設定値に戻す」をご覧ください。BIOSセットアップユーティリティの設定を工場出荷時に戻してみてください。

BIOSセットアップユーティリティについて詳しくは、「システム設定」の「BIOSセットアップユーティリティについて」をご覧ください。



参照

BIOSセットアップユーティリティについて

「システム設定」の「BIOSセットアップユーティリティについて (P. 184)」

システムを修復する

Windowsが起動できなくなった場合、『再セットアップガイド』をご覧ください。システムを修復してください。

トラブルチェックシートに記入して問い合わせる

NECのお問い合わせ先については、本機添付の『保証規定&修理に関するご案内』をご覧ください。

なお、お問い合わせの際には、どんなトラブルかを、『保証規定&修理に関するご案内』にある「トラブルチェックシート」に記入してください。また、必ず保証書を準備してください。型番や保守に必要な情報が記載されています。

本機と別に購入した周辺機器やアプリケーションに関するトラブルは、その製品のお問い合わせ先にご相談ください。本機に添付されていたものでも、アプリケーションの問題は、そのアプリケーションのお問い合わせ先からの方が適切な回答を得られます。

本機に添付されているアプリケーションのお問い合わせ先

本機添付の『ソフトウェア使用条件適用一覧/添付ソフトウェアサポート窓口一覧』に従い、各社へお問い合わせください。その他のアプリケーションについては、本機添付の『保証規定&修理に関するご案内』をご覧ください。

Windowsヘルプの紹介

[090400-08]

Windowsには、機能の紹介やトラブルが起きた場合に役立つ機能や操作、解決方法などが記載された「ヘルプ」があります。

「トラブル解決Q&A」の中から解決策が見つからなかったときは、サポート窓口に問い合わせる前にWindowsのヘルプから解決策を探してみてください。

Windows 8.1のヘルプ

表示方法

[アプリ画面 \(P. 12\)](#)を開き、アプリの一覧で「ヘルプとサポート」をクリックすると、「Windows ヘルプとサポート」画面が表示されます。



問題解決方法

◆キーワードで検索する

次の手順で、キーワードを入力して検索することができます。

1 「Windows ヘルプとサポート」画面の「検索」欄に調べたい項目やキーワードを入力する

2 「検索」欄の横の  をクリック

検索結果が表示されます。

3 検索結果から見たい項目をクリック

トラブル解決Q&A

[100000-28]

➤ 電源.	253
➤ バッテリー.	272
➤ タッチパネル.	274
➤ マウス.	276
➤ 表示.	280
➤ 文字入力.	295
➤ ファイル保存.	300
➤ LAN機能.	302
➤ 無線LAN機能.	309
➤ モバイルブロードバンド.	317
➤ サウンド.	321
➤ 印刷.	326
➤ 内蔵フラッシュメモリ.	330
➤ 周辺機器.	338
➤ Bluetooth機能.	344
➤ NFCポート.	347
➤ 指紋センサ.	349
➤ アプリケーション.	353
➤ 再セットアップ.	362
➤ その他.	365

[100100-28]

➤ はじめに確認してください.	254
➤ 電源が入らない.	255
➤ ディスプレイに何も表示されない.	256
➤ Windowsが起動しない.	258
➤ 「自動修復」画面が表示された.	259
➤ 「パスワードが正しくありません。入力し直してください。」と表示された.	260
➤ パスワードを忘れてしまった.	261
➤ 電源が切れない.	262
➤ 自動的にスリープ状態にならない.	264
➤ スリープ状態または休止状態から復帰しようとしたらWindowsのサインイン画面が表示された.	265
➤ スリープ状態から復帰できない、復帰に失敗した.	266
➤ 休止状態にできない.	267
➤ 休止状態から復帰できない、復帰に失敗した.	268
➤ Windowsの電源設定ができない.	269
➤ 本機を一定時間放置すると、スリープ状態になってしまう.	270
➤ デタッチャブルキーボードやUSBマウスでスリープ状態から復帰する／しないを設定したい.	271

はじめに確認してください

[100102-28]

本機とACアダプタやバッテリー、電源コード、ACコンセントなど、周辺機器の接続を確認してください。

電源が入らない、画面が表示されない、などの場合、本機と電源コード・ACコンセント、バッテリー、周辺機器などの接続が正しく行われていない可能性があります。

本機や使用している周辺機器のマニュアルをご覧ください、一度接続をやりなおしてみてください。

使用しているアプリケーションや周辺機器が、スリープ状態や休止状態に対応しているか確認してください。

アプリケーションや周辺機器によっては、使用しているとスリープ状態や休止状態にならないものや、正常に動作しないものがあります。

正常に動作しなくなった場合は、一度本機の電源を切って、電源を入れなおしてください。



チェック

本機の電源を切った場合、スリープ状態になる前の状態に復帰できません。作業中だったデータは失われます。

Q : 電源が入らない

[100101-28]



チェック

次のことをチェックしても電源が入らない、起動しない場合は、本機の故障が考えられます。ご購入元に相談するか、NECにご相談ください。



参照

NECのお問い合わせ先について
『保証規定 & 修理に関するご案内』

A : バッテリーが切れている可能性があります。

本機をバッテリーのみで使用している場合、バッテリーが切れている可能性があります。

本機にACアダプタを接続し、ACコンセントに接続して充電を行ってください。バッテリーを充電しながら、本機を使用することもできます。



参照

バッテリーの充電について
「本機の機能」の「バッテリー」 - 「[バッテリーの充電 \(P. 55\)](#)」

A : 購入後、最初に電源を入れるときは、必ずACアダプタを使用します。

ACアダプタが正しく接続されているか確認してください。バッテリーを使用するには、充電が必要になります。

Q : ディスプレイに何も表示されない

[100603-28]

A : 本機の電源が入っていないか、スリープ状態または休止状態になっている可能性があります。

本機の電源が入っていないか、スリープ状態または休止状態になっています。電源スイッチを押して本機を起動するか、スリープ状態・休止状態から復帰させてください。



参照

- **スリープ状態からの復帰方法について**
「本機の機能」の「電源」 - 「スリープ状態 (P. 41)」
- **休止状態からの復帰方法について**
「本機の機能」の「電源」 - 「休止状態 (P. 44)」

A : 次のことを試してみてください。

次のことを試して、ディスプレイが表示されないか確認してください。

- **外部ディスプレイのみに画面を出力する設定になっていないか確認してください**

外部ディスプレイを接続し、画面の出力先を外部ディスプレイのみにしている場合、本機の液晶ディスプレイに画面は表示されません。画面の出力先を確認してください。



参照

画面の出力先の切り替えについて

「本機の機能」の「外部ディスプレイ (P. 88)」

- **タッチパネルなどのポインティングデバイス进行操作してみてください**

電源プランの設定などにより、ディスプレイが省電力状態になっている可能性があります。タッチパネルなどのポインティングデバイス进行操作して、ディスプレイの省電力状態が解除されないか確認してください。

- **液晶ディスプレイの輝度が適切か確認してください**

液晶ディスプレイの輝度が、画面が見えにくい値になっている可能性があります。
液晶ディスプレイの輝度を調整してみてください。



参照

液晶ディスプレイの輝度の調整について

「本機の機能」の「液晶ディスプレイ」 - 「画面表示の調整 (P. 83)」

- **液晶ディスプレイで表示できない解像度になっていないか確認してください**

強制的に本体の電源を切った後、セーフモードでWindowsを起動して解像度を確認し、表示できない解像度だった場合は、表示可能な解像度に設定してください。



参照

- **強制的に電源を切る方法**
「電源」の「電源が切れない」 - 「[強制的に電源を切る \(P. 262\)](#)」
- **セーフモードでWindowsを起動する方法**
「周辺機器」の「別売の周辺機器を取り付けたが動作しない、周辺機器を取り付けたら本機が起動しなくなった、他の機能が使えなくなった」 - 「[セーフモードでWindowsを起動する \(P. 340\)](#)」

- **DirectXを使用するアプリケーションを使用している場合は、アプリケーションの設定を確認してください**
DirectXを使用するアプリケーションを実行すると、画面が表示されなくなることがあります。アプリケーションに添付のマニュアルを参照し、表示解像度を320×200ドット、640×400ドット以外に変更すると、障害を回避できることがあります。



メモ

本機では、320×200ドット、640×400ドットの解像度でしか使えないアプリケーションは、正常に動作しない場合があります。



チェック

これらのチェックを行ってもディスプレイに何も表示されない場合は、故障が考えられます。ご購入元、またはNECにご相談ください。



参照

NECのお問い合わせ先について
『保証規定 & 修理に関するご案内』

Q : Windowsが起動しない

[100103-28]



チェック

次のことをチェックしても、Windowsが起動できない場合は、内蔵フラッシュメモリがフォーマット（初期化）されてしまったか、システムが壊れている可能性があります。『再セットアップガイド』をご覧ください、本機のシステムを復旧、または再セットアップしてください。



参照

システムの復旧、再セットアップについて
『再セットアップガイド』

A : USBメモリや外付けのディスクドライブなどを使用している場合は、それらを取り外してください。

起動ディスクとして使用可能な周辺機器が取り付けられていると、それらの機器から起動しようとしてWindowsが起動しない場合があります。

A : BIOSセットアップユーティリティの設定を工場出荷時に戻してください。

BIOSセットアップユーティリティの設定が不正になっている可能性があります。

「システム設定」の「BIOSセットアップユーティリティについて」 - 「[工場出荷時の設定値に戻す \(P. 189\)](#)」をご覧ください、BIOSセットアップユーティリティの設定を工場出荷時に戻してみてください。

Q : 「自動修復」画面が表示された

[100104-08]

A : Windowsが正常に起動できなかった場合に表示されます。

「復元」ボタンをクリックしシステムの復元を行ってください。

PCを修復できなかった場合は、画面の指示に従い「PCのリフレッシュ」等を行ってください。

Q : 「パスワードが正しくありません。入力し直してください。」 と表示された

[100106-28]

A : キャップスロックの状態を確認し、もう一度パスワードを入力してください。

キャップスロックの状態によって、入力される文字が異なり、パスワードを正しく入力できない場合があります。キャップスロックでキャップスロックの状態を確認し、オン／オフを切り替えて、もう一度パスワードを入力してください。

キャップスロックのオン／オフはデタッチャブルキーボードの【Shift】 + 【Caps Lock】で切り替えることができます。

A : ユーザー名を確認し、もう一度パスワードを入力してください。

選択したユーザー名を確認し、選択したユーザーのパスワードをもう一度正しく入力してください。

Q : パスワードを忘れてしまった

[100107-28]

Windowsのパスワードを忘れてしまった場合

A : 忘れてしまったパスワードを復元することはできません。次のいずれかの方法で対処してください。

- サインインに失敗した場合、再度表示されるWindowsのサインイン画面にパスワードのヒントが表示されるので、そのヒントを確認しパスワードを思い出す
- 別のユーザーでサインインする
- 管理者（Administrator）権限を持つユーザーでサインインして、パスワードを変更する
- 「パスワード リセット ディスク」を使って新しいパスワードを作成する



メモ

「パスワード リセット ディスク」について

「コントロール パネル (P. 12)」を表示し、「ユーザー アカウントとファミリー セーフティ」→「ユーザー アカウント」の「パスワード リセット ディスクの作成」で作成してください。



チェック

お使いのコンピュータの管理者（Administrator）権限を持つユーザーすべてのパスワードを忘れてしまった場合、Windowsの設定のほとんどは変更できなくなってしまうので注意してください。

スーパバイザパスワードを忘れてしまった場合

A : NECにお問い合わせください。



チェック

- パスワード解除処置は、保証期限内でも有償です。
- パスワード解除処置は、NECでの対応となります。
- パスワード解除処置は、原則として修理対応となりますので、121コンタクトセンターへお問い合わせください。



参照

NECのお問い合わせ先について

『保証規定&修理に関するご案内』

Q：電源が切れない

[100112-28]

A：アプリケーションに異常が起きていないか確認してください。

「電源の入れ方と切り方」の手順で電源が切れない場合、アプリケーションがフリーズ（ハングアップ）するなどの異常を起こしていることが考えられます。

異常を起こしているアプリケーションがないか確認し、あった場合は「アプリケーション」の「[アプリケーションを強制的に終了させたい \(P. 357\)](#)」の手順で異常を起こしているアプリケーションを強制的に終了してから、もう一度、電源を切る操作を行ってください。



チェック

アプリケーションを強制的に終了させると、保存していないデータの変更が反映されない場合や、データが消えてしまう場合があります。



参照

正しい電源の入れ方と切り方

「本機の機能」の「電源」 - 「[電源の入れ方と切り方 \(P. 36\)](#)」

この方法でも正常に電源を切ることができない場合は、次の手順で本機を強制的に終了させてください。

●強制的に電源を切る



チェック

- 強制的に電源を切って終了させた場合、保存していないデータは消えてしまいます。また、直前に保存したデータが破損、または消えてしまう場合があります。
- 内蔵フラッシュメモリへアクセス中に電源スイッチを押すと、パソコンが故障する原因となることがあります。
- 電源スイッチでスリープ状態になるように設定されている場合、以下の操作をすると、電源が切れずに省電力状態になることがあります。そのようなときは、いったん電源スイッチから手を離し、もう一度電源スイッチを4秒以上押し続けて本機を強制的に終了させてください。なお、工場出荷時の状態では、電源スイッチでスリープ状態になるように設定されています。

本機の電源を強制的に切る場合は、4秒以上電源スイッチを押し続けてください。

●電源を強制OFFできない場合

4秒以上電源スイッチを押し続けても電源が切れない場合には、もう一度4秒以上電源スイッチを押し続けてください。それでも電源が切れない場合は、ご購入元、またはNECにご相談ください。



参照

NECのお問い合わせ先について
『保証規定 & 修理に関するご案内』

Q：自動的にスリープ状態にならない

[100201-28]

A：使用中の電源プランの設定を確認してください。

電源プランの設定で、自動でスリープ状態にならない設定にしていないか確認してください。



参照

電源プランの設定

「本機の機能」の「電源」 - 「電源の設定 (P. 45)」

A：一定間隔で本機にアクセスする周辺機器を使用していないか確認してください。

双方向通信をするプリンタなど、一定間隔で本機にアクセスする周辺機器を接続している場合、自動的にスリープ状態にならない場合があります。

A：実行中のアプリケーションがある場合は終了してみてください。

Q : スリープ状態または休止状態から復帰しようとしたらWindowsのサインイン画面が表示された

[100203-08]

A : サインインするユーザーを選択し、パスワードを入力してWindowsにサインインしてください。

スリープ状態または休止状態から復帰するときに、サインイン画面が表示されないようにするには、次の手順を行ってください。



チェック

手順の途中で「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、画面の表示を確認し操作してください。



参照

「ユーザー アカウント制御」画面

「はじめに」の「[「ユーザー アカウント制御」について \(P. 11\)](#)」

1

「コントロール パネル (P. 12)」を表示する

2

「システムとセキュリティ」をクリックし、「電源オプション」の「スリープ解除時のパスワードの要求」をクリック

3

「現在利用可能ではない設定を変更します」をクリック

4

「スリープ解除時のパスワード保護」欄で「パスワードを必要としない」を選択し、「変更の保存」ボタンをクリック

以上で設定は完了です。

Q : スリープ状態から復帰できない、復帰に失敗した

[100205-28]

A : バッテリ残量が少なくなっている可能性があります。

ACアダプタを取り付けACコンセントに接続した状態で本機の電源を入れると、データが復帰できる場合があります。



チェック

休止状態に移行せずに電源が切れた場合は、スリープ状態になる前の状態に復帰できません。
作業中だったデータは失われます。

Q：休止状態にできない

[100207-08]

A：内蔵フラッシュメモリの空き領域が不足している可能性があります。

休止状態は内蔵フラッシュメモリに本機のメモリなどの状態を記録するため、内蔵フラッシュメモリに一定の空き領域が必要です。

内蔵フラッシュメモリの空き領域が十分にあるか確認してください。

Q：休止状態から復帰できない、復帰に失敗した

[100209-08]

A：休止状態の間に、周辺機器の取り外しなど機器構成の変更をしなかったか確認してください。

休止状態の間に、周辺機器の取り外しなど機器構成の変更をすると、休止状態からの復帰ができなくなり、作業中のデータが失われる場合があります。

機器構成を変更する場合は、一度休止状態から復帰し、本機の電源を切ってから行ってください。

Q : Windowsの電源設定ができない

[100210-08]

A : 権限を制限されたユーザーでサインインしていないか確認してください。

本機を複数の人で使用している場合は、管理者によってユーザーの設定できる項目に制限がかけられている場合があります。

このような場合は、管理者に依頼して制限を解除してもらうか、または管理者（Administrator）権限を持つユーザーでサインインして省電力の設定を行う必要があります。

Q : 本機を一定時間放置すると、スリープ状態になってしまう

[100211-28]

A : 工場出荷時は、省電力のため自動でスリープ状態になるように設定してあります。

自動でスリープ状態になるのを無効にしたい場合は、Windowsの電源プランの設定を変更してください。



参照

電源プランの設定

「本機の機能」の「電源」 - 「電源の設定 (P. 45)」

Q : デタッチャブルキーボードやUSBマウスでスリープ状態から復帰する／しないを設定したい

[100212-28]



チェック

機種によって「電源の管理」タブが表示されない場合があります。その場合は他の方法でスリープ状態から復帰を行ってください。

A : 次の手順で設定を行ってください。

- 1 「デバイス マネージャー (P. 12)」を開く
- 2 「マウスとそのほかのポインティング デバイス」または「キーボード」をダブルクリック
- 3 設定を変更するデタッチャブルキーボードまたはUSBマウスをダブルクリック
- 4 「電源の管理」タブをクリック
- 5 次のように設定する
 - スリープ状態から復帰するように設定する場合
「このデバイスで、コンピューターのスタンバイ状態を解除できるようにする」にチェックを付ける
 - スリープ状態から復帰しないように設定する場合
「このデバイスで、コンピューターのスタンバイ状態を解除できるようにする」のチェックを外す
- 6 「OK」ボタンをクリック

以上で設定は完了です。

[100300-28]

- タスク バーの通知領域に電源アイコンが表示されない. 273

Q : タスク バーの通知領域に電源アイコンが表示されない

[100302-08]

A : 次の手順で設定してください。

- 1 「コントロール パネル (P. 12)」を表示する
- 2 「デスクトップのカスタマイズ」をクリックし、「タスク バーとナビゲーション」をクリック
- 3 「タスク バー」タブをクリックし、「通知領域」の「カスタマイズ」ボタンをクリック
- 4 「電源」の動作欄で「アイコンと通知を表示」を選択する
- 5 「OK」ボタンをクリック
- 6 「OK」ボタンをクリック

Q&A：タッチパネル

[102800-28]

- タッチした位置と反応する位置がずれる、タッチパネルに反応しない領域がある..... 275

Q：タッチした位置と反応する位置がずれる、タッチパネルに反応しない領域がある

[102802-28]

A：タッチパネルの設定をリセットしてみてください。

タッチパネルの設定をリセットし、ご購入時の状態に戻してみてください。

タッチパネルの設定をリセットしても、問題が解決しない場合は、本機の故障が考えられます。ご購入元に相談するか、NECにご相談ください。



参照

- **タッチパネルの設定のリセットについて**
「本機の機能」の「タッチパネル」 - 「タッチパネルの設定」 - 「[タッチパネル操作時の表示、画面の回転に関する設定をする \(P. 64\)](#)」
- **NECのお問い合わせ先について**
『保証規定 & 修理に関するご案内』

[100500-28]

- はじめに確認してください. 277
- マウスを動かしても、何も反応しない. 278
- マウスの動きが悪い. 279

はじめに確認してください

[100503-28]

マウスと本機が正しく接続されていることを確認してください。

マウスが反応しない、動きが悪い場合は、マウスと本機との接続が緩んだり外れたりしていないか確認してください。

Q : マウスを動かしても、何も反応しない

[100501-28]

A : マウスポインタがになっていないか確認してください。

マウスポインタがになっている場合は、本機がプログラムの処理をしているので、マウスをクリックしても操作は受け付けられません。処理が終わるまでお待ちください。

しばらく待ってもマウスからの操作ができない場合は、プログラムに異常が発生して動かなくなった（フリーズした）可能性があります。アプリケーションを強制終了してください。この場合、保存していなかったデータは消去されます。



参照

アプリケーションの強制終了

「アプリケーション」の「[アプリケーションを強制的に終了させたい \(P. 357\)](#)」

A : マウスの設定が正しく行われているか確認してください。

他社製USBマウスを使用している場合は、ドライバなどの設定が必要になる場合があります。設定が正しく行われているか確認してください。

Q : マウスの動きが悪い

[100502-00]

A : マウスのセンサー周辺が汚れていないか確認し、汚れている場合は掃除してください。

レーザー式や光学式マウスをお使いの場合、底面のセンサーにほこりなどが付着して、マウスの移動を正しく読み取ることができなくなる場合があります。センサーの周辺の汚れやほこりを軽く払ってください。



チェック

マウスのお手入れについては、「メンテナンスと管理」の「お手入れについて (P. 236)」をご覧ください。

A : レーザー式や光学式マウスをお使いの場合は、光沢のない無地の紙の上で動作するか確認してください。

レーザー式や光学式マウスは、マウス底面に光源があり、それをセンサーで検知することでマウスの動きを判断しています。次のような表面では正しく動作しない（操作どおりにマウスポインタが動かない）場合があります。

- 反射しやすいもの（鏡、ガラスなど）
- 網点の印刷物など、同じパターンが連続しているもの（雑誌や新聞の写真など）
- 濃淡のはっきりした縞模様や柄のもの
- 光学式マウスの場合、光沢があるもの（透明、半透明な素材を含む）

操作どおりにマウスポインタが動かないときは、光沢がない無地の印刷用紙やそれぞれのマウス（レーザー式または光学式）に対応したマウスパッドなどの上で操作してください。

[100600-28]

➤ はじめに確認してください.	281
➤ 電源を入れてしばらくすると、画面が真っ暗になる.	282
➤ 表示できるはずの高解像度を選択できない.	283
➤ ディスプレイに何も表示されない.	284
➤ 画面が回転しない.	286
➤ 画面の色調を調整したい.	287
➤ 再生中の動画がとぎれる、なめらかに再生されない.	288
➤ 動画の再生中に画面が消えてしまう.	289
➤ 画面の表示位置やサイズがおかしい.	290
➤ 外部ディスプレイで画面が流れるように表示される.	291
➤ HDMI接続したテレビや外部ディスプレイに映像が表示されない.	292
➤ microHDMIでテレビに接続すると、画面の周りがはみ出してしまい、表示されない部分がある.	293
➤ デスクトップ上のアイコンの名前が隠れてしまう.	294

はじめに確認してください

[100618-28]

本機や外部ディスプレイの電源の状態を確認してください。

画面が表示されない、途中で消えるなどの場合は、本機がスリープ状態や休止状態になっていたり、外部ディスプレイ使用時は外部ディスプレイの省電力機能が動作したり、電源が切れていないか確認してください。

外部ディスプレイ使用時は、本機と外部ディスプレイの接続を確認してください。

外部ディスプレイを使用している場合は、本機と外部ディスプレイが正しく接続されているか、また正しいケーブルを使用しているか確認してください。

Q：電源を入れてしばらくすると、画面が真っ暗になる

[100601-28]

A：液晶ディスプレイの電源が切れている可能性があります。

使用中の電源プランで「ディスプレイの電源を切る」が設定されている場合、液晶ディスプレイの電源が切れている可能性があります。タッチパネルなどのポインティングデバイスやキーボードを操作することで、液晶ディスプレイの電源が入り、画面が表示されます。元に戻らない場合は、本機がスリープ状態になっている可能性があります。

A：本機がスリープ状態になっている可能性があります。

「本機の機能」 - 「電源」 - 「スリープ状態」をご覧ください。スリープ状態から復帰させてください。
一定時間経過後にスリープ状態にならないように設定したい場合は、Windowsの電源プランの設定を変更してください。



参照

- **スリープ状態からの復帰方法について**
「本機の機能」の「電源」 - 「[スリープ状態 \(P. 41\)](#)」
- **電源プランの設定**
「本機の機能」の「電源」 - 「[電源の設定 \(P. 45\)](#)」

Q：表示できるはずの高解像度を選択できない

[100602-28]

A：外部ディスプレイを使用している場合、プラグアンドプレイ（DDC）対応ディスプレイでも、ディスプレイの種類によっては、高解像度などサポートしている表示モードの一部を選べないことがあります。

「本機の機能」の「外部ディスプレイ」 - 「ディスプレイに合わせた設定 (P. 96)」をご覧ください。ディスプレイの種類を指定してください。

Q : ディスプレイに何も表示されない

[100603-28]

A : 本機の電源が入っていないか、スリープ状態または休止状態になっている可能性があります。

本機の電源が入っていないか、スリープ状態または休止状態になっています。電源スイッチを押して本機を起動するか、スリープ状態・休止状態から復帰させてください。



参照

- **スリープ状態からの復帰方法について**
「本機の機能」の「電源」 - 「スリープ状態 (P. 41)」
- **休止状態からの復帰方法について**
「本機の機能」の「電源」 - 「休止状態 (P. 44)」

A : 次のことを試してみてください。

次のことを試して、ディスプレイが表示されないか確認してください。

- **外部ディスプレイのみに画面を出力する設定になっていないか確認してください**

外部ディスプレイを接続し、画面の出力先を外部ディスプレイのみにしている場合、本機の液晶ディスプレイに画面は表示されません。画面の出力先を確認してください。



参照

画面の出力先の切り替えについて
「本機の機能」の「外部ディスプレイ (P. 88)」

- **タッチパネルなどのポインティングデバイス进行操作してみてください**

電源プランの設定などにより、ディスプレイが省電力状態になっている可能性があります。タッチパネルなどのポインティングデバイス进行操作して、ディスプレイの省電力状態が解除されないか確認してください。

- **液晶ディスプレイの輝度が適切か確認してください**

液晶ディスプレイの輝度が、画面が見えにくい値になっている可能性があります。
液晶ディスプレイの輝度を調整してみてください。



参照

液晶ディスプレイの輝度の調整について
「本機の機能」の「液晶ディスプレイ」 - 「画面表示の調整 (P. 83)」

- **液晶ディスプレイで表示できない解像度になっていないか確認してください**

強制的に本体の電源を切った後、セーフモードでWindowsを起動して解像度を確認し、表示できない解像度だった場合は、表示可能な解像度に設定してください。



参照

- **強制的に電源を切る方法**
「電源」の「電源が切れない」 - 「[強制的に電源を切る \(P. 262\)](#)」
- **セーフモードでWindowsを起動する方法**
「周辺機器」の「別売の周辺機器を取り付けたが動作しない、周辺機器を取り付けたら本機が起動しなくなった、他の機能が使えなくなった」 - 「[セーフモードでWindowsを起動する \(P. 340\)](#)」

- **DirectXを使用するアプリケーションを使用している場合は、アプリケーションの設定を確認してください**
DirectXを使用するアプリケーションを実行すると、画面が表示されなくなることがあります。アプリケーションに添付のマニュアルを参照し、表示解像度を320×200ドット、640×400ドット以外に変更すると、障害を回避できることがあります。



メモ

本機では、320×200ドット、640×400ドットの解像度でしか使えないアプリケーションは、正常に動作しない場合があります。



チェック

これらのチェックを行ってもディスプレイに何も表示されない場合は、故障が考えられます。ご購入元、またはNECにご相談ください。



参照

NECのお問い合わせ先について
『保証規定 & 修理に関するご案内』

Q：画面が回転しない

[100620-28]

■ 画面が自動回転しない場合

A：画面の自動回転が一時的に停止（ロック）されていないか確認してください。

画面の自動回転がロックされていると、自動回転しません。

画面の自動回転のロック／ロック解除は、画面回転ロックボタンを押すことで切り替えることができます。画面回転ロックボタンを押し、自動回転の設定を確認してください。

Q：画面の色調を調整したい

[100606-28]

A：次の手順で調整してください。

- 1 「コントロール パネル (P. 12)」を表示する
- 2 「デスクトップのカスタマイズ」の「画面の解像度の調整」をクリック
- 3 「詳細設定」をクリック
- 4 「インテル(R) HD グラフィックス・コントロール・パネル」タブをクリック
- 5 「グラフィックス・プロパティー」ボタンをクリック
- 6 「ディスプレイ」をクリック
- 7 左上の「ディスプレイ」をクリックし、表示されたメニューから「ディスプレイの設定」をクリック
- 8 「色」タブをクリック

表示される画面で色調の調整を行ってください。

Q：再生中の動画がとぎれる、なめらかに再生されない

[100607-28]

A：動画の再生を行うアプリケーション以外のアプリケーションを終了してください。

動画の再生には処理能力を多く必要とするものもあり、複数のアプリケーションを使用中に動画の再生を行うと、再生がとぎれる場合や、なめらかに再生ができない場合があります。

A：再生中はウィンドウの大きさや位置を変更しないでください。

動画の再生中に、ウィンドウの大きさや位置を変更すると、音飛びや画像の乱れの原因になる場合があります。

Q：動画の再生中に画面が消えてしまう

[100608-08]

A：電源の設定を確認してください。

MPEG形式の動画を再生中にスリープ状態や休止状態に移行した場合や、ディスプレイの省電力機能やパワーマネジメント機能が働いた場合、再生画面が消えてしまいます。

動画を再生するときは、スリープ状態や休止状態およびディスプレイの省電力機能やパワーマネジメント機能をオフにしてください。

Q：画面の表示位置やサイズがおかしい

[100610-28]

A：ディスプレイストレッチ機能の設定を確認してください。

ディスプレイストレッチ機能が無効の状態、デスクトップの解像度を液晶ディスプレイの解像度よりも小さい解像度に設定した場合、画面は液晶ディスプレイ中央に表示され、周辺には黒い枠が表示されます。

画面を液晶ディスプレイ全体に拡大表示したい場合は、ディスプレイストレッチ機能を有効にしてください。



参照

ディスプレイストレッチ機能について

「本機の機能」の「液晶ディスプレイ」 - 「ディスプレイストレッチ機能 (P. 86)」

A：外部ディスプレイを使用している場合は、ディスプレイ側で表示位置やサイズを調整してください。



参照

表示位置やサイズの調整について

ディスプレイに添付のマニュアル

Q：外部ディスプレイで画面が流れるように表示される

[100611-28]

A：お使いのディスプレイのディスプレイ情報ファイルを最新のものに更新してください。

一部のDDC対応ディスプレイにおいて、ディスプレイ情報ファイルがないためにディスプレイの同期がとれず、画面が流れるように表示される場合があります。

この場合には、ディスプレイ製造元より最新のディスプレイ情報ファイルを入手し、セットアップしてください。

Q : HDMI接続したテレビや外部ディスプレイに映像が表示されない

[100616-28]

A : 出力先がmicroHDMIコネクタに設定されているか確認してください。



参照

画面の出力先の切り替えについて

「本機の機能」の「外部ディスプレイ (P. 88)」

A : 接続しているテレビや外部ディスプレイの設定を確認してください。

接続しているテレビや外部ディスプレイのマニュアルをご覧ください、次のことを確認してください。

- 入力信号の設定はあっているか
- 複数の入力に対応している場合、本機と接続したHDMIコネクタからの信号を表示する設定になっているか

Q : microHDMIでテレビに接続すると、画面の周りがはみ出してしまい、表示されない部分がある

[100617-28]

A : テレビの設定をアンダースキャンに変更してください。

テレビのオーバースキャン機能（従来のテレビ方式との互換性を持たせるために、画面の周囲を表示しない機能）によるものです。テレビの設定をアンダースキャンに変更してください。
設定方法について詳しくはテレビの取扱説明書をご覧ください。

A : 表示の大きさを調節してください。

次の手順で表示の大きさを調節してください。

- 1 「コントロール パネル (P. 12)」を表示する
- 2 「デスクトップのカスタマイズ」の「画面の解像度の調整」をクリック
- 3 「詳細設定」をクリック
- 4 「インテル(R) HD グラフィックス・コントロール・パネル」タブをクリック
- 5 「グラフィックス・プロパティ」ボタンをクリック
- 6 「ディスプレイ」をクリック
- 7 左上の「ディスプレイ」をクリックし、表示されたメニューから「ディスプレイの設定」をクリック
- 8 「ディスプレイの選択」欄で「デジタルテレビ」をクリック
- 9 「スケーリング」の項目で任意の設定に変更する

Q : デスクトップ上のアイコンの名前が隠れてしまう

[100621-08]

A : 「アイコンの自動整列」を有効にしてください。

画面の解像度やアイコンサイズを変更した場合、デスクトップ上のアイコンの名前が一部隠れてしまうことがあります。そのような場合は、次の手順で「アイコンの自動整列」を有効にしてください。

1 デスクトップの何もない場所を右クリック

2 「表示」の「アイコンの自動整列」を有効にする

[100700-28]

- はじめに確認してください. 296
- キーボードのキーを押しても、何も反応しない. 297
- 記号などで入力できない文字がある. 298
- 別売のキーボードを接続したが、キーを押しても反応しない。使えないキーがある. 299

はじめに確認してください

[100701-28]

デタッチャブルキーボードと本体が正しく接続されているか確認してください。

キャップスロックの状態を確認してください。

キャップスロックの状態により、大文字／小文字の入力が変わります。

- **キャップスロックがオン**

【Shift】を押していないときは大文字が、押しているときは小文字が入力されます。

- **キャップスロックがオフ**

【Shift】を押していないときは小文字が、押しているときは大文字が入力されます。

タッチキーボードの場合、キャップスロックのオン／オフは  または  をクリックすることで切り替えることができます。

デタッチャブルキーボードの場合、キャップスロックのオン／オフは【Shift】 + 【Caps Lock】で切り替えることができます。

日本語入力の入力モードを確認してください。

日本語入力が入力したいモードになっているか確認し、必要に応じてモードを切り替えてください。

タッチキーボードの場合、日本語入力と英字入力を切り替えるときは、スペースキーの隣にある  または  を押します。

デタッチャブルキーボードの場合、日本語入力と英字入力を切り替えるには、【半角/全角】または【Caps Lock】を押します。

Q : キーボードのキーを押しても、何も反応しない

[100706-28]

A : マウスポインタがになっていないか確認してください。

マウスポインタがになっている場合は、本機がプログラムの処理をしているので、キーボードからの操作は受け付けられません。処理が終わるまでお待ちください。

しばらく待ってもキーボードからの操作ができない場合は、プログラムに異常が発生して動かなくなった（フリーズした）可能性があります。アプリケーションを強制終了してください。この場合、保存していなかったデータは消去されます。



参照

アプリケーションの強制終了

「アプリケーション」の「[アプリケーションを強制的に終了させたい \(P. 357\)](#)」

A : 別売のキーボードを使用している場合は、本機との接続を確認してください。

Q：記号などで入力できない文字がある

[100702-08]

A：日本語入力システムを使用しても入力できない文字は、文字コード表を使って入力します。

文字コード表は次の手順で表示します。

1 アプリ画面 (P. 12)を開く

2 「文字コード表」をクリック



参照

文字コード表の使い方

Windowsのヘルプ

Q：別売のキーボードを接続したが、キーを押しても反応しない。使えないキーがある

[100703-08]

A：キーボードの設定を行ってください。

使用しているキーボードにマニュアルやドライバが添付されている場合は、キーボードのマニュアルに従って設定やドライバのインストールを行ってください。

マニュアルやドライバが添付されていない場合は、次の手順でキーボードの設定を行ってみてください。



チェック

この方法で設定すると別売のキーボードも使えますが、キーボードによっては、一部のキーが使えなくなることがあります。

- 1 「デバイス マネージャー (P. 12)」を開く
- 2 「キーボード」をダブルクリック
- 3 表示されたキーボードから設定するキーボード名をダブルクリック
- 4 「ドライバー」タブをクリックし、「ドライバーの更新」ボタンをクリック
- 5 「コンピューターを参照してドライバー ソフトウェアを検索します」をクリック
- 6 「コンピューター上のデバイス ドライバーの一覧から選択します」をクリック

以後は、接続したキーボードの種類などを参考に画面の指示に従って設定してください。

[100800-28]

➤ 内蔵フラッシュメモリに保存できない.....	301
--------------------------	-----

Q : 内蔵フラッシュメモリに保存できない

[101602-28]

A : 内蔵フラッシュメモリの空き領域を確認してください。

内蔵フラッシュメモリの空き領域を確認してください。足りない場合は「[内蔵フラッシュメモリの空き領域が足りない \(P. 333\)](#)」に従って空き領域を増やしてください。内蔵フラッシュメモリの空き領域よりもサイズが大きいファイルは保存できません。

[100900-28]

- はじめに確認してください. 303
- ネットワークに接続できない. 304
- ドライブやフォルダが共有できない. 305
- 動作が不安定になった. 308

はじめに確認してください

[100905-28]

本機とLANケーブル、ハブなどのネットワーク機器が正しく接続されているか確認してください。

ネットワークに接続できない、ネットワークを利用した機能が使えない場合は、本機とLANケーブル、ハブなどのネットワーク機器が正しく接続されているか確認してください。

Q : ネットワークに接続できない

[100901-00]

A : プロトコルやドメイン、ワークグループの設定を間違えていないか確認してください。

詳しくはネットワークの管理者にご相談ください。

Q：ドライブやフォルダが共有できない

[100902-08]

A：「Microsoft ネットワーク用ファイルとプリンター共有」を使用する設定になっているか確認してください。

次の手順で確認してください。



チェック

手順の途中で「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、画面の表示を確認し操作してください。



参照

「ユーザー アカウント制御」画面

「はじめに」の「[ユーザー アカウント制御](#)」について (P. 11)」

- 1 「コントロール パネル (P. 12)」を表示する
- 2 「ネットワークとインターネット」をクリックし、「ネットワークと共有センター」をクリック
- 3 左のメニューから「アダプターの設定の変更」をクリック
- 4 LAN接続のアイコンを右クリックし、表示されたメニューから「プロパティ」をクリック
- 5 「ネットワーク」タブの「この接続は次の項目を使用します」欄に「Microsoft ネットワーク用ファイルとプリンター共有」が表示され、チェックが付いていることを確認する

チェックが付いていない場合は、チェックを付けてください。



チェック

「Microsoft ネットワーク用ファイルとプリンター共有」が組み込まれていない場合は、共有ドライブやフォルダを使うことはできません。このサービスは、「Microsoft ネットワーク用ファイルとプリンター共有」をインストールすると使えるようになります。

- 6 「OK」ボタンをクリック

7



をクリック

8



をクリック

A : 「共有の詳細設定」で設定を確認してください。

次の手順で確認してください。



チェック

手順の途中で「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、画面の表示を確認し操作してください。



参照

「ユーザー アカウント制御」画面

「はじめに」の「ユーザー アカウント制御」について (P. 11)

1

「コントロール パネル (P. 12)」を表示する

2

「ネットワークとインターネット」をクリックし、「ネットワークと共有センター」をクリック

3

左のメニューから「共有の詳細設定の変更」をクリック

4

ネットワーク プロファイルごとに、設定を確認し必要に応じて設定を変更する



メモ

ネットワーク プロファイルの設定項目が表示されていない場合は、をクリックしてください。

設定可能な項目は次の通りです。

項目	説明
ネットワーク探索	他のネットワーク コンピュータやデバイスを参照できるかどうか、また、本機が他のネットワーク コンピュータから参照できるかどうかを設定します。
ファイルとプリンターの共有	本機で共有しているファイルとプリンタをネットワーク上のユーザーからアクセスできるようにするかどうかを設定します。
パブリック フォルダーの共有	ネットワーク上のユーザーが、本機のパブリックフォルダ内のファイルにアクセスできるようにするかどうかを設定します。
メディア ストリーミング	ネットワーク上のユーザーやデバイスが、本機のピクチャ、ミュージック、ビデオにアクセスできるかどうか、また、本機でネットワーク上のメディアを検出できるようにするかどうかを設定します。
ファイル共有の接続	ファイル共有の接続で使用する暗号化のビット数を設定します。
パスワード保護共有	共有ファイルや、本機に接続しているプリンタ、パブリックフォルダへのアクセスを、本機のユーザー アカウントとパスワードを持つ人のみに制限するかどうかを設定できます。
ホームグループ接続※	ホームグループ接続の管理を、Windowsが行うか、ユーザー アカウントとパスワードで行うかを設定します。

※ ネットワーク プロファイル「パブリック」では設定できません。

5 「変更の保存」 ボタンをクリック

A : ドライブやフォルダを共有する設定にしているか確認してください。

ネットワークに接続された他のコンピュータから本機のドライブやフォルダを参照するには、共有したいドライブやフォルダを共有するように設定する必要があります。

共有したいドライブ、フォルダを右クリックし、表示されたメニューの「共有」から設定を行ってください。

A : 共有するドライブやフォルダのアクセス許可の設定を確認してください。

共有するドライブやフォルダは、共有するユーザーごとにアクセス許可の設定を行うことができます。アクセス許可の設定を確認し、必要に応じて設定を変更してください。

Q：動作が不安定になった

[100904-08]

A：LANに接続して通信中にスリープ状態や休止状態にすると、本機が正常に動作しなくなることがあります。

LANに接続して通信中にスリープ状態や休止状態にすると、本機が正常に動作しなくなることがあります。通信中にスリープ状態や休止状態にしないでください。

Windowsの電源プランで自動的にスリープ状態になる設定をしている場合は、設定を解除してください。

[101000-28]

- はじめに確認してください. 310
- 通信ができない. 311
- 通信がとぎれる、または通信速度が遅い. 312
- 「ネットワーク」で相手のコンピュータが表示されない. 314
- 「ネットワーク」上のコンピュータのアイコンをダブルクリックしても内容が表示されない. 315
- 接続している無線LANアクセスポイントから、いつのまにか切断されてしまう. 316

はじめに確認してください

[101006-28]

無線LAN機能がオンになっていることを確認してください。



参照

無線LAN機能のオン/オフについて

「本機の機能」の「無線LAN機能」 - 「無線LAN機能のオン/オフ (P. 130)」

接続先の機器の電源が入っているか確認してください。



参照

接続先の機器に添付のマニュアル

ネットワーク名（SSID）が正しく設定されているか確認してください。

- 無線LANアクセスポイントと接続する場合は、ネットワーク名（SSID）の設定を無線LANアクセスポイントと同じ設定にする必要があります。
- 複数の無線LANアクセスポイントが存在する環境で、接続する無線LANアクセスポイントを限定したい場合は、無線LANアクセスポイントごとに異なるネットワーク名（SSID）を設定してください。

接続しようとしている機器が、無線LAN対応機器か確認してください。

無線LAN対応機器以外は使用できません。

Q：通信ができない

[101001-28]

次の項目を確認してください。また、「通信がとぎれる、または通信速度が遅い (P. 312)」もあわせてご覧ください。

A：データ暗号化の設定を行っている場合、ネットワーク セキュリティ キーが正しく設定されているか確認してください。

接続先の無線LANアクセスポイントやコンピュータには、すべて同じネットワーク セキュリティ キーを設定する必要があります。

A：使用するチャンネルは正しく設定されているか確認してください。

本機が対応しているチャンネルは、次の通りです。

無線LANアクセスポイントのチャンネルを本機が使用できるチャンネル範囲に設定してください。

- **IEEE802.11b (2.4GHz) 対応機器、またはIEEE802.11g (2.4GHz) 対応機器と通信する場合**
1～13chまでのチャンネル
- **IEEE802.11a (5GHz) 対応機器と通信する場合**
36、40、44、48、52、56、60、64、100、104、108、112、116、120、124、128、132、136、140chのいずれか
- **IEEE802.11n (2.4/5GHz) 対応機器と通信する場合**
1～13chまでのチャンネル
36、40、44、48、52、56、60、64、100、104、108、112、116、120、124、128、132、136、140chのいずれか



チェック

以下のチャンネルは、無線LANアクセスポイントからの電波を受信してから通信を開始するため、接続するまでに時間がかかる場合があります。

- 12、13、36、40、44、48、52、56、60、64、100、104、108、112、116、120、124、128、132、136、140ch

A：本機や接続したい無線LAN対応機器の環境設定が、正しく設定されているか確認してください。

設定を確認し、必要に応じてもう一度設定してください。

Q：通信がとぎれる、または通信速度が遅い

[101002-28]

A：接続したい無線LAN対応機器との距離が遠すぎないか確認してください。

電波環境を確認し、電波環境が悪い場合は、無線LAN対応機器までの距離を近づけてみてください。
無線LAN対応機器間の距離は、機器の仕様により異なります。

A：接続先のIEEE802.11g対応無線LANアクセスポイントの電波到達範囲内に、IEEE802.11bのみに対応した他の無線機器が存在する場合、IEEE802.11gでの通信速度が低下します。



チェック

IEEE802.11bのみに対応した無線機器が別の無線LANアクセスポイントに接続していても、電波が到達するだけで速度に影響があります。

A：周囲で2.4GHz周波数帯を利用する機器（電子レンジなど）を使用していると、2.4GHz無線LAN対応機器の通信が不安定になる場合があります。

2.4GHz無線LAN対応機器と2.4GHz周波数帯を利用する機器（電子レンジなど）は離して使用することをおすすめします。

A：2.4GHz無線LAN対応機器とBluetooth機器など同じ周波数帯を利用する機器を同時に通信をした場合、それぞれの機器の通信速度や通信距離が低下する場合があります。

2.4GHz無線LAN対応機器とBluetooth機器など、同じ周波数帯を利用する機器のいずれか一方をオフにするか離して使用することをおすすめします。

A：1つの無線LANアクセスポイントに接続する機器の台数が増えると、1台あたりの転送速度が低下する場合があります。

A：大きなサイズのファイルを転送すると、途中で通信が切断される場合があります。

大きなサイズ（約100MB以上）のファイルを転送すると、途中で通信が切断される場合があります。無線LANで接続するときは、転送するファイルのサイズに注意してください。

A：IEEE802.11n（2.4/5GHz）に対応した無線LAN機器と接続する際に、データ転送レートが54Mbps以下になる場合があります。

次の設定を確認してください。

- 無線LANアクセスポイントと本機の暗号化方式がAESとなっていること
- 無線LANアクセスポイントのWMM（Wi-Fi Multimedia）の機能が有効になっていること



参照

接続先の機器に添付のマニュアル

Q : 「ネットワーク」で相手のコンピュータが表示されない

[101003-20]

A : ネットワークに接続されているコンピュータに、同一のコンピュータ名が使用されている可能性があります。

コンピュータ名を確認し、他のコンピュータの名前とは異なるコンピュータ名を設定してください。

A : 相手のコンピュータに「Microsoft ネットワーク用ファイルとプリンター共有」が組み込まれているか確認してください。

相手のコンピュータに「Microsoft ネットワーク用ファイルとプリンター共有」が組み込まれていないと、「ネットワーク」で相手のコンピュータは表示されません。相手のコンピュータに「Microsoft ネットワーク用ファイルとプリンター共有」を組み込んでください。

A : TCP/IPが組み込まれているか確認してください。

TCP/IPが組み込まれているかを確認し、接続するネットワークにあわせてIPアドレスを正しく設定してください。

A : 周囲の電波状況は適切な状態か確認してください。

電波状態が悪い場合、接続する相手との距離を短くする、または本機と相手との間に障害物があるときは障害物をなくしてから再度接続してください。

A : 相手のコンピュータが起動した直後で、ネットワークへの接続が完了していない可能性があります。

相手のコンピュータが起動した直後の場合は、数分たってからもう一度接続状況を確認してください。

Q : 「ネットワーク」上のコンピュータのアイコンをダブルクリックしても内容が表示されない

[101004-20]

A : 相手のコンピュータに共有しているフォルダやプリンタなどがない可能性があります。

相手のコンピュータ上で共有化したいフォルダやプリンタを共有する設定にしてください。

Q：接続している無線LANアクセスポイントから、いつのまにか切断されてしまう

[101005-20]

A：周囲に複数の無線LANアクセスポイントが存在する場合、無線LANアクセスポイントの設定によっては電波の状況に応じて自動的に他の無線LANアクセスポイントに接続が切り替わることがあります。

Q&A：モバイルブロードバンド

[102300-28]

- はじめに確認してください. 318
- 通信ができない. 319

はじめに確認してください

[102302-28]

BIOSセットアップユーティリティでワイヤレスデバイスが有効になっていることを確認してください。

BIOSセットアップユーティリティの「Security」メニュー→「I/O Port Access」→「Wireless WAN」が「On」に設定されていることを確認してください。

「Off」に設定されている場合は、モバイルブロードバンドを使用することができません。



参照

BIOSセットアップユーティリティおよび設定項目について

「システム設定」の「BIOSセットアップユーティリティについて (P. 184)」および「設定項目一覧 (P. 191)」

モバイルブロードバンドがオンになっていることを確認してください。



参照

モバイルブロードバンドの切り替えについて

「本機の機能」の「モバイルブロードバンド」 - 「モバイルブロードバンドのオン/オフ (P. 146)」

Q：通信ができない

[102301-28]

A：ドコモminiUIMカードが取り付けられているか、認識されているか確認してください。

ドコモminiUIMカードが取り付けられていない、または認識されていない場合は通信できません。本機の電源を切ってから、ドコモminiUIMカードを取り付けなおしてください。

A：ご使用のドコモminiUIMカードがXi回線契約済みであるか、確認してください。

「docomo LTE Xi（クロッシィ）」を使用するためには、NTTドコモのXi回線契約済みのドコモminiUIMカードが必要です。FOMA回線契約のみのドコモminiUIMカードは、本機ではご使用になれません。またMVNOの提供するサービスをご使用の場合も、「docomo LTE Xi（クロッシィ）」に対応したカードが必要になります。

A：初期設定を間違えていないか、確認してください。

通信できない場合は、初期設定を間違えている可能性があります。設定内容が正しいかご確認ください。

A：モバイルブロードバンドがオンになっているか、確認してください。

モバイルブロードバンドのオン/オフを確認し、オフになっている場合はオンにしてください。



参照

モバイルブロードバンドのオン/オフについて

「本機の機能」の「モバイルブロードバンド」 - 「[モバイルブロードバンドのオン/オフ \(P. 146\)](#)」

A：セキュリティを有効にしている場合、認証に失敗していないか確認してください。

セキュリティを有効に設定している場合、認証用のPINコードダイアログで正しいPINコードを入力しないとセキュリティ機能が働いて通信できません。

認証ダイアログを閉じてしまった場合、モバイルブロードバンドのオン/オフをすることで、再度、認証ダイアログを表示することができます。



チェック

- PINを3回連続して間違えた際、自動的にかかる「PINロック」を解除するには、ご契約時に提供された「PINロック解除キー(PUK)」が必要になります。
「PINロック解除キー(PUK)」は契約時にお渡しする契約申込書（お客様控え）に記載されている8桁の数字となります。
※ドコモショップ以外で新規にご契約されたお客様は、My docomo、ドコモインフォメーションセンター、ドコモショップにてご確認ください。
- PINロック解除キー(PUK)を10回連続して間違えると、完全にロックされます。
完全にロックされた場合にはドコモminiUIMカードと本人確認書類（運転免許証など）をお持ちのうえ、お近くのドコモショップまでご相談ください。
 - NTTドコモ ウェブサイト：<http://www.nttdocomo.co.jp/>
 - ドコモインフォメーションセンター：
受付時間：午前9：00～午後8：00
ドコモの携帯電話からの場合：（局番なし）151（無料）
※一般電話などからはご利用いただけません。

一般電話などからの場合：0120-800-000（無料）
※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

Q&A : サウンド

[101200-28]

- はじめに確認してください. 322
- 音が出ない. 323
- HDMI接続した機器から音声が出力されない. 324

はじめに確認してください

[101205-28]

本機の音量が適切に設定されているか確認してください。

適切な音量に設定されているか確認し、必要に応じて調節してください。



参照

音量の調節について

「本機の機能」の「サウンド機能」 - 「[音量の調節 \(P. 110\)](#)」

外部の機器に接続している場合は、接続している機器の音量、本機と外部の機器との接続を確認してください。

Q : 音が出ない

[101201-28]

A : HDMI接続で音声出力する設定にしているか確認してください。

HDMI接続で音声出力する設定にしている場合、本機のスピーカやライン/ヘッドフォン共用出力から音声は出力されません。

本機のスピーカやライン/ヘッドフォン共用出力から音声出力する場合は、次の手順で設定を変更してください。

1 「コントロール パネル (P. 12)」を表示する

2 「ハードウェアとサウンド」をクリック

3 「サウンド」をクリック

「サウンド」が表示されます。

4 「再生」タブをクリック

5 「スピーカー」をクリックし、「既定値に設定」をクリック

6 「スピーカー」にチェックが付いていることを確認し、「OK」をクリック

Q : HDMI接続した機器から音声出力されない

[101209-28]

A : HDMIの映像が正しく表示されているか確認してください。

映像が正しく表示されていない場合は、「表示」の「HDMI接続したテレビや外部ディスプレイに映像が表示されない (P. 292)」を参照し、テレビや外部ディスプレイとの接続、設定を確認してください。

A : 接続している機器が、HDMIの音声出力のサンプリングレートに対応しているか確認してください。

次の手順で確認してください。

1 「コントロール パネル (P. 12)」を表示する

2 「ハードウェアとサウンド」をクリック

3 「サウンド」をクリック

「サウンド」が表示されます。



チェック

「インテル(R) ディスプレイ用オーディオ」にチェックが付いていない場合は、チェックを付けて「既定値に設定」をクリックしてください。

4 「再生」タブをクリック

5 「Intel SST Audio Device(WDM)」をクリックし、「プロパティ」をクリック

6 「詳細」タブをクリック

7 「既定の形式」欄の設定が接続先の機器に対応していることを確認する



参照

対応しているサンプリングレートについて
接続している機器のマニュアル

A : 音声の出力設定を確認してください。

音声を、本機のスピーカやライン/ヘッドフォン共用出力から出力する設定になっている場合、HDMI接続で音声は出力されません。

HDMI接続で音声を出力するには、次の手順で出力先を設定してください。

1 「コントロール パネル (P. 12)」を表示する

2 「ハードウェアとサウンド」をクリック

3 「サウンド」をクリック

「サウンド」が表示されます。

4 「再生」タブをクリック

5 「Intel SST Audio Device(WDM)」をクリックし、「既定値に設定」をクリック

6 手順5で選択した項目にチェックが付いていることを確認し、「OK」をクリック

[101300-28]

- はじめに確認してください. 327
- プリンタから印刷が正しくできない. 328
- PDF形式のマニュアルがうまく印刷できない. 329

はじめに確認してください

[101303-28]

プリンタの接続や状態を確認してください。

プリンタのマニュアルをご覧ください。プリンタが正しく接続されているか、プリンタの状態は正常か確認してください。

プリンタのケーブルが指定または推奨のものか確認してください。

プリンタによっては、プリンタの製造元が指定または推奨するケーブルを使用しないと、印刷がうまくいかないものがあります。使用しているプリンタのマニュアルをご覧ください。ケーブルを確認してください。

使用するプリンタ用のドライバがインストールされているか、またドライバは正しく設定されているか確認してください。

新しくプリンタを使用する場合は、プリンタドライバのセットアップが必要です。また、プリンタドライバの設定によっては正しく印刷されない場合があります。



参照

プリンタドライバのセットアップ、プリンタドライバの設定
プリンタに添付のマニュアル

使用したいプリンタが「通常使うプリンター」に設定されているか確認してください。

使用したいプリンタが「通常使うプリンター」に設定されていないと、アプリケーションで印刷先を指定しない限り、印刷されない場合や、別のプリンタから印刷される場合があります。
「通常使うプリンター」の設定をする場合は、次の手順で行います。

1 「コントロール パネル (P. 12)」を表示する

2 「ハードウェアとサウンド」をクリックし、「デバイスとプリンター」をクリック

3 「プリンター」欄で、使用したいプリンタのアイコンにチェックが付いているか確認する

チェックが付いていない場合には、使用したいプリンタのアイコンを右クリックし、表示されたメニューから「通常使うプリンターに設定」をクリックしてください。

Q : プリンタから印刷が正しくできない

[101301-20]

A : プリントサーバに接続されているプリンタの場合、プリントサーバを確認してください。

プリンタがプリントサーバに接続されている場合は、プリントサーバでエラーが表示されていないか確認してください。

A : ネットワークに接続されているプリンタの場合、ネットワークの機器を確認してください。

ネットワークに接続しているプリンタの場合、本機からプリンタまでの経路にあるネットワーク機器にエラーが発生したり、電源が切れていたりしないか確認してください。

A : プリンタのテスト印字を実行してみてください。

プリンタには一般にテスト印字する機能があります。この機能を使ってプリンタのテスト印字を行ってください。テスト印字ができない場合は、プリンタの故障が考えられます。プリンタの製造元にご相談ください。

Q : PDF形式のマニュアルがうまく印刷できない

[101302-00]

A : 白抜きの文字やグラデーション、図形などがうまく印刷できない場合は次の対処方法を試してみてください。

- Adobe Readerの「印刷」ダイアログボックスの「詳細設定」ボタンをクリックして、「画像として印刷」にチェックを付けるか、プリンタのプロパティの中から「きれい」、「高品位」などを選択する
- プリンタドライバを最新のものにする
- プリンタが複数ある場合は、印刷先を別のプリンタに切り替え、同様に試してみる

Q&A : 内蔵フラッシュメモリ

[101600-28]

- 内蔵フラッシュメモリに障害が起きた. 331
- 内蔵フラッシュメモリに保存できない. 332
- 内蔵フラッシュメモリの空き領域が足りない. 333
- 領域作成できる容量が、カタログなどに記載されている値より少ない. 334
- 複数のパーティションを利用したい. 335
- 内蔵フラッシュメモリをメンテナンスする方法を知りたい. 337

Q : 内蔵フラッシュメモリに障害が起きた

[101601-08]

A : エラーチェックプログラムで、内蔵フラッシュメモリの障害を確認してください。

軽い障害であれば、ディスクのエラーチェックプログラムを使って障害を修復することができます。



参照

内蔵フラッシュメモリのエラーチェックプログラムについて

「メンテナンスと管理」の「[内蔵フラッシュメモリのメンテナンス \(P. 234\)](#)」

Q : 内蔵フラッシュメモリに保存できない

[101602-28]

A : 内蔵フラッシュメモリの空き領域を確認してください。

内蔵フラッシュメモリの空き領域を確認してください。足りない場合は「[内蔵フラッシュメモリの空き領域が足りない \(P. 333\)](#)」に従って空き領域を増やしてください。内蔵フラッシュメモリの空き領域よりもサイズが大きいファイルは保存できません。

Q : 内蔵フラッシュメモリの空き領域が足りない

[101603-08]

A : ディスク クリーンアップを実行し、不要なファイルを削除してください。

次の手順でディスク クリーンアップを表示し、不要なファイルを削除してください。

- 1 「**コントロール パネル (P. 12)**」を表示し、「システムとセキュリティ」→「管理ツール」をクリックし、「ディスク クリーンアップ」をダブルクリック

「ディスク クリーンアップ」が表示されます。

以後は画面の指示に従って操作してください。



参照

ディスク クリーンアップについて
Windowsのヘルプ

A : 使用しないアプリケーションをアンインストールしてください。

使用しないアプリケーションを内蔵フラッシュメモリからアンインストールすると、内蔵フラッシュメモリの空き領域を増やすことができます。



参照

- 添付アプリケーションのアンインストール
「[便利な機能とアプリケーション \(P. 200\)](#)」
- 別売のアプリケーションのアンインストール
アプリケーションに添付のマニュアル

Q：領域作成できる容量が、カタログなどに記載されている値より少ない

[101604-28]

A：計算方法の違いによるもので、故障ではありません。

カタログなどに記載されている内蔵フラッシュメモリの容量は、 $1\text{MB}=1,000,000$ バイトで計算しています。これに対し、内蔵フラッシュメモリを領域作成するときには、 $1\text{MB}=1,024\times 1,024=1,048,576$ バイトで計算しているため、容量が少なく表示されることがありますが、故障ではありません。

GB（ギガバイト）についても、同様の記述となっています。

A：内蔵フラッシュメモリに、システム復旧時に必要なデータなどを格納する領域があるためです。

本機の内蔵フラッシュメモリには、Windowsの起動や復旧に必要なファイルを格納するため、約7GBの容量が確保されています。そのため、使用可能な容量がその領域の分だけ少なくなります。

この領域にあるデータは削除しないでください。

Q：複数のパーティションを利用したい

[101605-28]

A：「ディスクの管理」でドライブ構成を変更することができます。

工場出荷時において1台目の内蔵フラッシュメモリでお客様が利用可能な領域はCドライブのみの1パーティション（ボリューム）です。

Cドライブを分割して、複数のパーティションを利用することもできます。

工場出荷時の構成から、Cドライブを縮小して作成された未割り当ての領域に1つのパーティションを作成する場合は、次の手順で行います。



チェック

Cドライブの容量は35GB以上に設定してください。Cドライブの容量を35GB未満に設定した状態では、「Cドライブのみ再セットアップ」を行うことができません。

- 1 「コントロール パネル (P. 12)」を表示する
- 2 「システムとセキュリティ」をクリックし、「管理ツール」をクリック
- 3 「コンピューターの管理」をダブルクリック
- 4 左側のツリーの「記憶域」→「ディスクの管理」をクリック
- 5 (C:)と表示されているボリュームを選択し、右クリック
- 6 「ボリュームの縮小」をクリック
- 7 「縮小する領域のサイズ (MB)」欄に任意のサイズを入力する
ここで入力するサイズが、新たに作成するパーティションの最大値になります。
- 8 「縮小」ボタンをクリック
- 9 ボリュームの縮小後に確保された未割り当て領域を選択し、右クリック
- 10 「新しいシンプル ボリューム」をクリック
- 11 「次へ」ボタンをクリック

12 「シンプル ボリューム サイズ (MB)」欄に任意のボリュームサイズを入力し、「次へ」ボタンをクリック

13 「次のドライブ文字を割り当てる」が選択されていることを確認し、「次へ」ボタンをクリック

14 「このボリュームを次の設定でフォーマットする」が選択されていることを確認し、「次へ」ボタンをクリック

15 「完了」ボタンをクリック



チェック

- 作成したパーティションに対して「パーティションをアクティブとしてマーク」を選択しないでください。
- 「回復パーティション」は、縮小することはできません。



メモ

- 必要に応じて、ドライブ文字を変更することもできます。
- 「ボリュームの縮小」は、環境によっては実施できない場合があります。



参照

- 「ボリュームの縮小」について
「コンピューターの管理」のヘルプ
- ディスクの管理の使用方法
「ディスクの管理」のヘルプ
- 内蔵フラッシュメモリについて
「本機の機能」の「[内蔵フラッシュメモリ \(P. 100\)](#)」

Q：内蔵フラッシュメモリをメンテナンスする方法を知りたい

[101606-08]

A：内蔵フラッシュメモリのメンテナンスについては以下をご覧ください。

内蔵フラッシュメモリを長時間使用している間に、まれに内蔵フラッシュメモリ自体や保存されているデータに障害を起こすことがあります。しかし、小さな障害であれば、付属のユーティリティを使うことですぐに復旧することができます。小さな障害であっても、放置すると被害が拡大するおそれがあります。これを防ぐために、こまめに内蔵フラッシュメモリをメンテナンスしてください。



参照

内蔵フラッシュメモリのメンテナンスについて

「メンテナンスと管理」の「[内蔵フラッシュメモリのメンテナンス \(P. 234\)](#)」

メンテナンスをするためのユーティリティには、ドライブのエラーをチェックするためのエラーチェックプログラムがあります。

◆エラーチェックプログラムについて

エラーチェックプログラムを使うと、内蔵フラッシュメモリ自体や内蔵フラッシュメモリに保存されているデータに障害がないかどうか調べることができます。



参照

内蔵フラッシュメモリのエラーチェックプログラムについて

Windowsのヘルプ

◆不良セクタ、スキップセクタについて

内蔵フラッシュメモリは、きわめて精密に製造されますが、データが高密度で記録されるため、読み出しエラーの起こりやすい場所ができることがあります。これを「不良セクタ」または「スキップセクタ」といいます。

エラーチェックプログラムを実行すると「不良セクタ」と表示されることがありますが、これは、不良セクタを使わないように予防されたことを表しており、異常ではありません。

[101800-28]

- はじめに確認してください. 339
- 別売の周辺機器を取り付けたが動作しない、周辺機器を取り付けたら本機が起動しなくなった、他の機能が使えなくなった. 340
- 周辺機器のドライバをインストールできない、ドライバを更新できない. 343

はじめに確認してください

[101803-28]

お使いの周辺機器が、本機やWindows 8.1に対応しているか確認してください。

周辺機器によっては、本機やWindows 8.1で動作しないものや、別途Windows 8.1に対応したドライバが必要なものがあります。

また、32ビット版と64ビット版では、使用するドライバが異なります。周辺機器のマニュアルで確認してください。

周辺機器が正しく接続されているか確認してください。

コネクタやネジが緩んだり外れたりしていないか、接続が正しく行われているか確認してください。



参照

周辺機器の接続について

周辺機器に添付のマニュアル

Q：別売の周辺機器を取り付けたが動作しない、周辺機器を取り付けたら本機が起動しなくなった、他の機能が使えなくなった

[101801-28]

A：周辺機器の設定を確認してください。

周辺機器によっては、設定の変更やドライバなどのインストールが必要な場合があります。



参照

周辺機器の設定やドライバのインストールについて
周辺機器に添付のマニュアル

周辺機器のドライバのインストールによりトラブルが発生し、Windowsの通常起動ができなくなった場合など、次の手順に従って、セーフモードでWindowsを起動し、トラブルを起こしたドライバのアンインストールを行うことができます。

I. セーフモードでWindowsを起動する

1 チャーム バーを表示し、「設定」をクリック

2 「PC設定の変更」をクリック

3 「保守と管理」→「回復」をクリックし、「PCの起動をカスタマイズする」の「今すぐ再起動する」をクリック

「オプションの選択」画面が表示されます。

4 「トラブルシューティング」→「詳細オプション」→「スタートアップ設定」をクリック

5 「再起動」をクリック

本機が再起動します。

6 「スタートアップ設定」画面が表示されたら、【F4】を押す

本機がセーフモードで起動します。

7 サインイン画面が表示された場合は、ユーザー名を選択し、パスワードを入力する

Ⅱ. 取り付けた周辺機器のドライバを無効にする

- 1 「デバイス マネージャー (P. 12)」を開く
- 2 取り付けた周辺機器のアイコンをダブルクリック
- 3 「ドライバー」タブをクリックして「無効」ボタンをクリック
- 4 「はい」ボタンをクリック
- 5 「OK」ボタンをクリック
- 6 Windowsを再起動し、通常モードで起動する

Ⅲ. 周辺機器を使いたいときはドライバを更新する

周辺機器の最新のドライバを用意してください。

- 1 「デバイス マネージャー (P. 12)」を開く
 - 2 取り付けた周辺機器のアイコンをダブルクリック
 - 3 「ドライバー」タブをクリックして「ドライバーの更新」ボタンをクリック
- 以降は画面の指示に従ってください。



メモ

最新のドライバは周辺機器メーカーのホームページなどからダウンロードしてください。また、Windows® Updateでも周辺機器のドライバを更新できることがあります。

A : リソースの設定を確認してください。

古い周辺機器などには、リソースが競合していると動作しない場合や、リソースの競合により本機の動作が不安定になる場合があります。次の手順でリソースの設定を確認してください。



チェック

- 使用中のアプリケーションがある場合は、すべて終了しておいてください。
- 次の手順を行う場合は、管理者 (Administrator) 権限を持つユーザーで行ってください。

- 1 「デバイス マネージャー (P. 12)」を開く

2 設定を確認するデバイスの種類をダブルクリック

3 設定を確認するデバイスをダブルクリック

4 「リソース」タブをクリック



チェック

「リソース」タブが表示されていない場合は、そのデバイスのリソースの確認、変更はできません。

5 「競合するデバイス」欄を確認する

- 競合しているデバイスがない場合
「競合なし」と表示されます。
- 競合しているデバイスがある場合
競合しているデバイスの名前が表示されます。

6 「OK」ボタンをクリック

競合しているデバイスがあった場合、リソースの設定を変更することで正常に動作するようになる場合があります。
リソースの設定変更の方法については、次の手順で表示される「Microsoft 管理コンソール」のヘルプをご覧ください。

1 「デバイス マネージャー (P. 12)」を開く

2 「ヘルプ」メニュー→「トピックの検索」をクリック

Q：周辺機器のドライバをインストールできない、ドライバを更新できない

[101802-08]

A：権限を制限されたユーザーでサインインしていないか確認してください。

本機を複数の人で使用している場合は、管理者によってユーザーの設定できる項目に制限がかけられている場合があります。

このような場合は、管理者に依頼して制限を解除してもらうか、または管理者（Administrator）権限を持つユーザーでサインインしてドライバのインストールや更新を行う必要があります。

Q&A : Bluetooth機能

[102600-28]

- はじめに確認してください. 345

はじめに確認してください

[102601-28]

Bluetooth機能がオンになっていることを確認してください。



参照

Bluetooth機能のオン/オフについて

「本機の機能」の「Bluetooth機能」 - 「Bluetooth機能のオン/オフ (P. 167)」

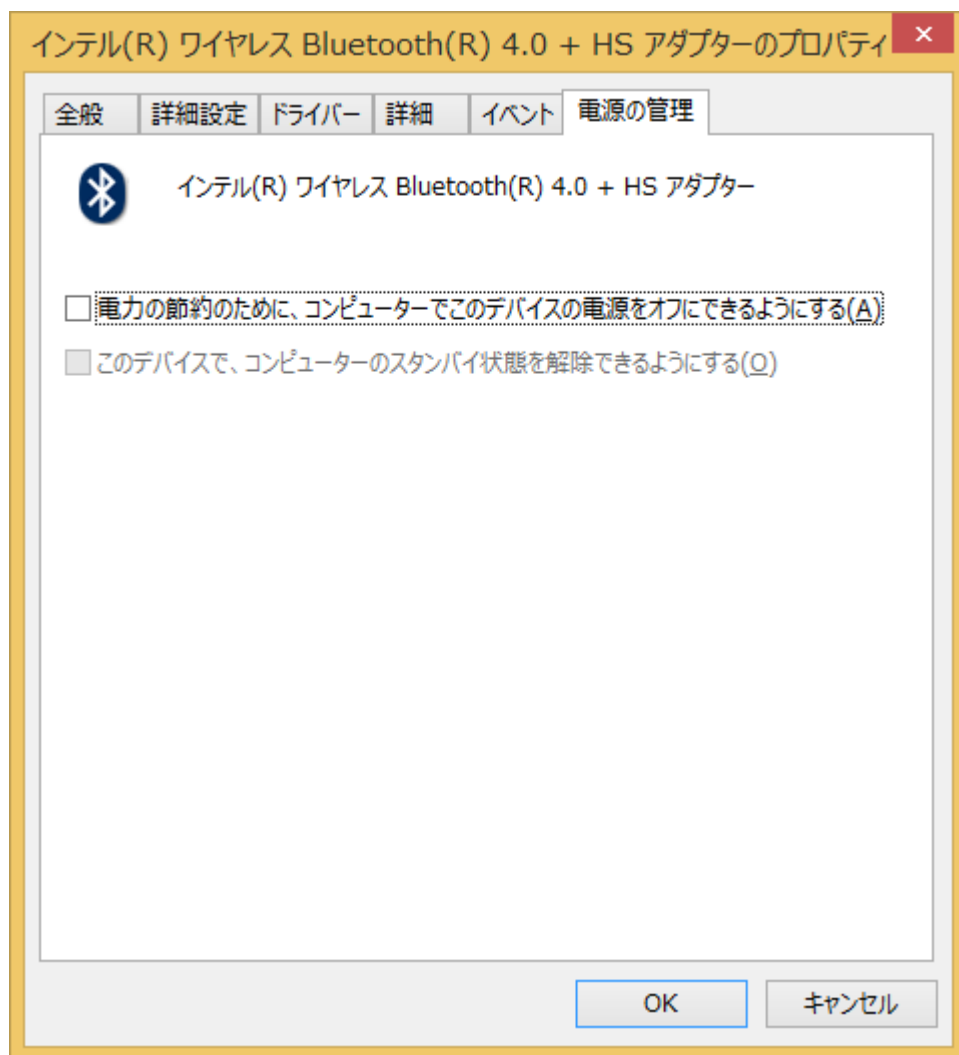
Bluetooth機能を「デバイス マネージャー」でオンにしているにも関わらず、Bluetooth機能が使用できない場合（「デバイス マネージャー」でBluetoothに「！」が付くなど）は、BIOSセットアップユーティリティでBluetooth機能をオフにして、再度オンにしてみてください。

Bluetooth機能を一定時間使用していなくても通信が切れないようにするには、「電源の管理」の設定を変更してください。

Bluetooth機器を一定時間使用していない場合、通信が切れて動作しなくなることがあります。

Bluetooth機器を一定時間使用していなくても通信が切れないようにするには、次の手順に従って「電源の管理」の設定を変更してください。

- 1 「デバイス マネージャー (P. 12)」を開く
- 2 「Bluetooth」をダブルクリック
- 3 「インテル(R) ワイヤレス Bluetooth(R) 4.0 + HS アダプター」をダブルクリック
- 4 「電源の管理」タブをクリック
- 5 「電力の節約のために、コンピューターでこのデバイスの電源をオフにできるようにする」のチェックを外す



メモ

画面はモデルによって異なります。

6 「OK」 ボタンをクリック

[102700-28]

- NFC対応カード、またはNFC対応機器をかざしても何も反応しない、データを読み取れない. 348

Q : NFC対応カード、またはNFC対応機器をかざしても何も反応しない、データを読み取れない

[102701-28]

A : NFC機能がオンになっていることを確認してください。



参照

NFC機能のオン／オフについて

「本機の機能」の「NFCポート」 - 「NFC機能のオン／オフ (P. 180)」

A : カードを正しくかざしているか確認してください。

「NFC対応カード、またはNFC対応機器のかざし方 (P. 179)」をご覧ください。また、カードの向きを変えて何度か試してください。

A : お使いのカードが本機の「NFCポート」に対応しているか確認してください。

お使いのカードの発行元に確認してください。

[102900-28]

- 指紋登録ができない. 350
- 照合でエラーとなる. 351
- 認証がスムーズにいかない、照合結果にムラがある. 352

Q：指紋登録ができない

[102901-28]

A：正しく指を動かしてください。

指の動かし方が正しくないと、指紋登録することができません。「指紋の読み取り方」をご覧ください、正しく指を動かして登録してください。



参照

指の動かし方について

「本機の機能」の「セキュリティ機能」 - 「指紋認証機能」 - 「[指紋の読み取り方 \(P. 173\)](#)」

A：指紋の特徴が少ないと、登録できないことがあります。

異なる指に変更し、登録してください。

Q：照合でエラーとなる

[102902-28]

A：指紋センサに汗や汚れが付いていると、照合できないことがあります。

乾いたきれいなやわらかい布でセンサ部分の汚れを軽く拭き取ってください。



参照

指紋センサのお手入れについて

「メンテナンスと管理」の「お手入れについて」 - 「指紋センサ（ライン型）（P. 237）」

A：正しく指を動かしてください。

指の動かし方が正しくないと、指紋登録することができません。「指紋の読み取り方」をご覧ください、正しく指を動かして登録してください。



参照

指の動かし方について

「本機の機能」の「セキュリティ機能」 - 「指紋認証機能」 - 「指紋の読み取り方（P. 173）」

Q：認証がスムーズにいかない、照合結果にムラがある

[102903-28]

温度や湿度、体調によって、指の皮膚の状態が微妙に変化してしまい、そのために照合がうまくいかない場合があります。

■ 指先の状態による傾向と対処法

A：指先が次のようになっていると、認証や照合に失敗することがあります。

- **カサカサで乾燥気味である**
センサ面に指を強めに押しあててください。指に軽く息を吹きかけ適度な湿り気を与えることで効果がある場合があります。
指先の角質化の防止にハンドクリームのご使用をおすすめします。
- **手や指先に汗をかいている、湿っている**
指先の汗をハンカチなどで拭き取ってください。指をセンサ面にあてる際、少し軽めに指を乗せることによって改善される場合があります。
- **指先の皮膚が荒れている**
他の指で再登録することをおすすめします。ハンドクリームなどのご使用をおすすめします。
- **皮膚炎にかかっている**
他の炎症のない指で再登録するか、治癒するまでパスワードでのご利用をお考えください。
- **指先に太いシワがある**
指の中央部に太いシワがあると照合がうまくいかない場合があります。他の指で再登録することをおすすめします。

■ 使用感からの照合の傾向と対処法

A：次のことを確認してください。

- **午前中の照合で認証できない場合が多い**
起きてまもなくは新陳代謝が低下している場合や、皮膚の脂が洗剤などで流されて乾燥状態になっていることがあります。
指先に軽く息を吹きかけ適度な湿り気を与えることで、改善できる場合があります。
また、ハンドクリームなどのご使用をおすすめします。
- **一回で認証できるときと連続で認証できなるときとムラがある**
「指紋の読み取り方」をご覧ください。センサ面への指の動かし方を確認してください。
指をセンサ面にあてる強さにムラがあるかもしれません。ご自分のベストな強さを見極める必要があります。
- **認証できない場合が多い**
「指先の状態による傾向と対処法 (P. 352)」を参考に、再度登録をやり直して、改善するか試してください。



参照

指の動かし方について

「本機の機能」の「セキュリティ機能」 - 「指紋認証機能」 - 「指紋の読み取り方 (P. 173)」

Q&A : アプリケーション

[101900-28]

➤ はじめに確認してください.	354
➤ 表示されなくなった、動作が遅い、動かなくなることがある.	355
➤ アプリケーションをインストールできない.	356
➤ アプリケーションを強制的に終了させたい.	357
➤ アプリケーションが本機で利用できるか知りたい.	358
➤ 使用しているWindowsへの対応が明記されていないWindows用アプリケーションを使用したい.	359
➤ Internet Explorerや関連製品に関するサポート技術情報について知りたい.	360
➤ Internet Explorerが起動しない.	361

はじめに確認してください

[101902-28]

お使いのアプリケーションが、本機やWindows 8.1に対応しているか確認してください。

アプリケーションによっては、本機やWindows 8.1で動作しないものや、別売の周辺機器が必要なものがあります。アプリケーションのマニュアルで「動作環境」や「必要なシステム」を確認してください。

お使いのアプリケーションが、Windows 8.1 32ビットに対応しているか確認してください。

本機では、64ビット版のアプリケーションは使用できません。アプリケーションのマニュアルで確認してください。

Q：表示されなくなった、動作が遅い、動かなくなることもある

[101901-28]

A：スリープ状態／休止状態に対応したアプリケーションを確認してください。

対応していないアプリケーションを使用中にスリープ状態／休止状態になると、正常に動作しなくなることがあります。対応していないアプリケーションを使用中は、スリープ状態／休止状態にしないでください。電源を切ることができなくなった場合には、4秒以上電源スイッチを押し続けて、強制的に電源を切ってください。



参照

強制的に電源を切る方法

「電源」の「電源が切れない」 - 「強制的に電源を切る (P. 262)」

A：アプリケーションのアンインストールを中断した場合は、Windowsを再起動してください。

アプリケーションのアンインストールを中断した後に、そのアプリケーションが動作しなくなった場合は、Windowsを再起動してください。

それでも動作しない場合は、アプリケーションの再インストールが必要です。

A：内蔵フラッシュメモリの中にデータがたくさん蓄積されたため空き領域が減っていないか確認してください。

内蔵フラッシュメモリの中にデータがたくさん蓄積され、空き領域が減ると、Windowsの動作が遅くなる可能性があります。内蔵フラッシュメモリに十分な空き領域があるか確認してください。

必要のないデータを削除したり、アプリケーションをCドライブ以外のドライブにインストールして、Cドライブからアンインストールしてください。をご覧ください。詳しくは、「内蔵フラッシュメモリ」の「内蔵フラッシュメモリの空き領域が足りない (P. 333)」をご覧ください。

A：メモリやシステムリソースが不足している可能性があります。

複数のアプリケーションを同時に表示したり、多くのメモリを使うアプリケーションを使用していると、メモリやシステムリソースが不足し、新たにアプリケーションが表示できなくなったり、動作が遅くなる、動かなくなることがあります。

他のアプリケーションを表示しているときは、それらを終了してから使用してください。それでも起動できなかったり、動作が遅いときは本機を再起動してください。

A：ユーザー名に環境依存文字を使用していないか確認してください。

ユーザー名に環境依存文字を使用していると、アプリケーションによっては正しく動作しない場合があります。

Q : アプリケーションをインストールできない

[101908-08]

A : 権限を制限されたユーザーでサインインしていないか確認してください。

本機を複数の人で使用している場合は、管理者によってユーザーの設定できる項目に制限がかけられている場合があります。

このような場合は、管理者に依頼して制限を解除してもらうか、または管理者（Administrator）権限を持つユーザーでサインインしてアプリケーションのインストールを行う必要があります。

A : ユーザー名に環境依存文字を使用していないか確認してください。

ユーザー名に環境依存文字を使用していると、アプリケーションによっては正しく動作しない場合があります。

A : アプリケーションのインストール先が内蔵フラッシュメモリ以外のドライブになっていないか確認してください。

内蔵フラッシュメモリにインストールして使用するアプリケーションのインストール先が内蔵フラッシュメモリ以外のドライブになっていた場合は、インストール先を内蔵フラッシュメモリに変えて、インストールしなおしてください。

A : アプリケーションを新しくインストールするときに、内蔵フラッシュメモリに一定の空き領域が必要な場合があります。

アプリケーションを新しくインストールするときに、内蔵フラッシュメモリに一定の空き領域が必要な場合があります。アプリケーションに添付のマニュアルをご覧ください。内蔵フラッシュメモリに必要な空き領域を確認してください。内蔵フラッシュメモリの空き領域が足りない場合は、空き領域のある他のドライブにインストールしてください。



メモ

アプリケーションによっては、必要最低限の機能だけをインストールしたり、使用する機能だけを選択してインストールすることで、必要な空き容量を減らせる場合があります。



参照

内蔵フラッシュメモリの空き領域を増やすには

内蔵フラッシュメモリの「[内蔵フラッシュメモリの空き領域が足りない \(P. 333\)](#)」

Q : アプリケーションを強制的に終了させたい

[101909-28]

A : アプリケーションがフリーズするなどの異常を起こしていて、電源が切れないなどの問題が起きている場合、次の方法で異常を起こしているアプリケーションを強制的に終了してください。



チェック

この方法でアプリケーションを終了させると、保存していないデータは消えてしまうことがあります。

この方法で異常を起こしていたアプリケーションが終了できた場合は、「本機の機能」の「電源」 - 「電源の入れ方と切り方」の手順で電源を切ってください。



参照

正しい電源の入れ方と切り方

「本機の機能」の「電源」 - 「電源の入れ方と切り方 (P. 36)」

Q : アプリケーションが本機で利用できるか知りたい

[101910-00]

A : アプリケーションのカタログなどで必要な動作環境を確認するか、製造元に確認してください。

アプリケーションが必要とする動作環境は、アプリケーションによって異なります。アプリケーションのカタログなどで必要な動作環境について確認するか、アプリケーションの製造元に確認してください。

Q : 使用しているWindowsへの対応が明記されていない
Windows用アプリケーションを使用したい

[101911-08]

A : アプリケーションの製造元に確認してください。

Windows 8.1への対応が明記されていない、Windows用アプリケーションが使用できるかどうかは、アプリケーションによって異なります。

アプリケーションの製造元に確認してください。アプリケーションの使用についての情報や、使用に必要なアップデートプログラムなどが入手できる場合があります。

Q : Internet Explorerや関連製品に関するサポート技術情報について知りたい

[101913-08]

A : Internet Explorerやその関連製品に関するサポート技術情報は、次の手順で調べることができます。

1 インターネットに接続する

2 Internet Explorerを表示し、ウィンドウの最上部を右クリック

3 「メニュー バー」をクリック

メニュー バーが表示されます。

4 表示されたメニューバーの「ヘルプ」→「Internet Explorer ヘルプ」をクリック

Microsoft社のサポートページが表示されます。この後は、そのページの説明に従って操作してください。

Q : Internet Explorerが起動しない

[101915-08]

A : セキュリティポリシーを設定していないか、確認してください。

セキュリティポリシーを設定すると、Internet Explorerが起動しない場合があります。このような場合は、Internet Explorerの拡張保護モードを無効にする必要があります。下記の手順で、Internet Explorerの拡張保護モードを無効にしてください。

- 1 「コントロール パネル (P. 12)」を表示する
 - 2 「ネットワークとインターネット」をクリックし、「インターネット オプション」をクリック
 - 3 「詳細設定」タブを開き、「拡張保護モードを有効にする」のチェックを外す
-

Q&A：再セットアップ

[102000-28]

- 「再セットアップをすることはできません。」と表示される. 363
- 再セットアップが終了しない. 364

Q : 「再セットアップをすることはできません。」 と表示される

[102001-08]

A : 本機の機種情報が書き換わっている可能性があります。

ご購入元、またはNECにお問い合わせください。



参照

NECのお問い合わせ先について

『保証規定 & 修理に関するご案内』

Q : 再セットアップが終了しない

[102003-28]

A : 工場出荷時の状態に戻す方法では、処理に時間がかかる場合があります。

ドライブの領域を変更すると、本機の使用状況により、処理に時間がかかる場合があります。

[102100-28]

- 日付や時刻が正しく表示されない. 366
- クリップなどの異物が本体内部に入ってしまった. 367
- 本機が動かなくなった（フリーズした）. 368
- マニュアルをなくしてしまった. 369

Q：日付や時刻が正しく表示されない

[102101-28]

A：日付や時刻を設定しなおしてください。

日付や時刻がずれた場合は、次の手順に従って日付と時刻を設定しなおしてください。



チェック

手順の途中で「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、画面の表示を確認し操作してください。



参照

「ユーザー アカウント制御」画面

「はじめに」の「[ユーザー アカウント制御](#)」について (P. 11)」

1 「コントロール パネル (P. 12)」を表示する

2 「時計、言語、および地域」をクリックし、「日付と時刻」をクリック

3 「日付と時刻の変更」をクリック

4 日付と時刻を設定する

5 「OK」ボタンをクリック

6 「OK」ボタンをクリック

以上で日付と時刻の設定は完了です。

A：内蔵のカレンダー用電池が十分に充電されていない可能性があります。

本機の内蔵時計はカレンダー用電池で動いています。内蔵のカレンダー用電池が十分に充電されていないと、日付や時刻が正しく表示されないことがあります。

本機購入後すぐや、本機を電源に接続せずに2カ月以上使用しないでいた後などには、本機にACアダプタを取り付け、約40時間以上、ACコンセントに接続したままにして、カレンダー用電池を充電してから、日付と時刻を設定しなおしてください。

Q：クリップなどの異物が本体内部に入ってしまった

[102102-20]

A：異物が入り込んでしまった場合は、すぐに電源を切ってACアダプタを取り外し、ご購入元にお問い合わせください。



チェック

そのままお使いになると、発煙、発火や故障の原因になります。

Q：本機が動かなくなった（フリーズした）

[102105-28]

A：Windowsの起動中やデータの処理中でないことを確認し、強制的に電源を切ってください。

本機が反応していないときは、電源スイッチを4秒以上押し続けて、強制的に電源を切り、5秒以上待ってから、もう一度電源を入れます。

何か異常が発見された場合は、画面の指示に従ってください。問題が解決したら、そのままお使いください。



参照

強制的に電源を切る方法

「電源」の「電源が切れない」 - 「強制的に電源を切る (P. 262)」

システムに重大な問題が発見されたことを伝えるメッセージが表示された場合は、システムの復旧、または再セットアップが必要になります。詳しくは、『再セットアップガイド』をご覧ください。

Q : マニュアルをなくしてしまった

[102108-00]

A : NEC「ビジネスPC」サイトの「電子マニュアルビューア」では、本機のマニュアル
をご覧ください。

アフターケア、改造について

[110000-00]

➤ 保守サービスについて.....	371
➤ 添付品の再入手方法について.....	372
➤ 消耗品と有寿命部品について.....	373
➤ 24時間以上の連続使用について.....	375
➤ 本製品の改造、修理について.....	376

保守サービスについて

[110100-00]

保守サービスのご相談は、ご購入元、NECなどで承っております。お問い合わせ窓口やお問い合わせの方法など、詳しくは『保証規定&修理に関するご案内』をご覧ください。



チェック

- ご購入元、NECなどに本製品の修理を依頼される際は、設定したパスワードは解除しておいてください。
- 故障箇所によっては、本製品購入後に内蔵フラッシュメモリやメモリ内に保存されたデータを完全には復旧できない場合がありますので、あらかじめご了承ください。



参照

NECのお問い合わせ先について

『保証規定&修理に関するご案内』

添付品の再入手方法について

[110200-08]

■「再セットアップ用メディア」を入手したい

「再セットアップ用メディア」はメディアオーダーセンターより有償で入手することができます。
「再セットアップ用メディア」入手についてのお問い合わせは、下記のホームページをご覧ください。

お問い合わせ先：

PC98-NXシリーズ メディアオーダーセンター

ホームページアドレス：

<http://nx-media.ssnet.co.jp/>

消耗品と有寿命部品について

[110300-20]

本製品には、消耗品と有寿命部品が含まれています。

安定してご使用いただくためには、定期的な保守による部品交換が必要になります。

特に長時間連続して使用する場合には、安全等の観点から早期の部品交換が必要です。

本製品のアルミ電解コンデンサは有寿命部品です。寿命が尽きた状態で使用し続けると、電解液の漏れや枯渇に至り、異臭や発煙が発生する場合があります。その場合は直ちに使用を中止し修理を依頼してください（尚、アルミ電解コンデンサの交換は保守部品単位になります）。

標準保証期間内であっても、有償となる場合があります。特に長時間連続して使用する場合には、安全等の観点から早期の部品交換が必要です。

消耗品と有寿命部品は次の通りです。

種類	種類の内容説明	該当品または部品（代表例）
消耗品	使用頻度や使用量により消耗の進行が異なります。 お客様ご自身で購入し、交換していただくものです。 バッテリーの交換については、121コンタクトセンターまたはビジネスPC修理受付センターにご相談ください。 保証期間内であっても有償となります。	フロッピーディスク、CD-ROM等の媒体、バッテリーパック、乾電池、USBメモリ、デジタイザーペン用ペン先
有寿命部品	使用頻度や経過時間によって摩耗、劣化の進行に大きな差が生じ、修理による再生ができなくなる部品です。 本体の保証期間内であっても部品代は有償となる場合があります。 詳しくは、121コンタクトセンターまたはビジネスPC修理受付センターにご相談ください。	ディスプレイ（CRT、LCD）、内蔵フラッシュメモリ光学ドライブ（DVD-ROMドライブ等）、フロッピーディスクドライブ、キーボード、マウス、ファン、指紋センサ、ACアダプタ、デジタイザーペン 本製品には、有寿命部品（ディスプレイ、光学ドライブ、内蔵フラッシュメモリ電源、ACアダプタ、マザーボード、グラフィックボード等の内蔵基板など）が含まれています。 これらのユニットの中には有寿命部品であるアルミ電解コンデンサが使用されているものがあります。



メモ

- 記載部品は代表例です。機種により構成が異なります。詳しくは下記のリンクよりご覧ください。
<http://121ware.com/e-manual/m/nx/ac/201405/bios/v1/mst/index.html>
- 有寿命部品の交換時期の目安は、1日8時間のご使用で約5年です。
（ご使用になる頻度や条件により差が生じます。また、上記の目安期限前に交換が必要となることがあります。）
- 本製品の補修用性能部品の保有期間は、PC本体については、製造打切後5年、オプション製品については6年です。
製造打切後5年を経過した本製品（オプション製品は6年）は、修理などの保守サービスを受けることができませんのでご了承ください。



参照

NECのお問い合わせ先について
『保証規定 & 修理に関するご案内』

24時間以上の連続使用について

[110400-00]

本製品は、24時間連続使用を前提とした設計になっておりません。

24時間連続使用した場合、標準保証の対象外となり、製品保証期間内であっても有償修理となります。



参照

NECのお問い合わせ先について

『保証規定 & 修理に関するご案内』

本製品の改造、修理について

[110500-00]

添付されているマニュアルに記載されている以外の方法で、本製品を改造・修理しないでください。



チェック

添付されているマニュアルに記載されている以外の方法で改造・修理された製品は、当社の保証や保守サービスの対象外となります。

譲渡、廃棄について

[120000-00]

➤ 本製品の譲渡について.....	378
➤ 本製品の廃棄方法について.....	379
➤ パソコンの廃棄・譲渡時の内蔵フラッシュメモリ上のデータ消去に関するご注意.....	380
➤ ハードディスクのデータ消去.....	381

本製品の譲渡について

[120100-00]

本製品を第三者に譲渡（売却）する場合は、所定の条件に従ってください。また、本製品を譲り受けられたときには、所定の手続きに従って「お客様登録」を行ってください。

■ 本製品を第三者に譲渡（売却）するお客様へ

本製品を第三者に譲渡（売却）するときは、以下の条件を満たす必要があります。

1. 本機に添付されるすべてのものを譲渡し、複製物を一切保持しないこと
2. 各ソフトウェアに添付されている「ソフトウェアのご使用条件」の譲渡、移転に関する条件を満たすこと
3. 譲渡、移転が認められていないソフトウェアについては、アンインストールした後、譲渡すること（本機に添付されている「ソフトウェアの使用条件適用一覧」をご覧ください）



チェック

- パソコン内のデータには個人的に作成した情報が多く含まれています。第三者に情報が漏れないように譲渡（売却）の際には、これらの情報を削除することをおすすめします。
- 第三者に譲渡（売却）する製品をご登録されている場合は、登録先にて登録削除の手続きを必ずお願いいたします。
 - **121ware に登録されている方**
121ware.comのマイページ（<http://121ware.com/my/>）の保有商品情報で削除の手続きをお願いいたします。
 - **「お客様登録」ページから登録をされている方**
購入品登録のページ（<http://acc.express.nec.co.jp/Main/main.asp>）の購入品一覧より、購入品登録削除の手続きをお願い致します。

■ 本製品を譲り受けられたお客様へ

NECの「121ware」サイトでの登録をお願いします。

<http://121ware.com/my/>より、121wareの「ログインID取得ページ」を取得し、購入商品をご登録くださいますようお願いいたします。

本製品の廃棄方法について

[120200-00]

- 希少資源の再利用のため、不要になったパソコンのリサイクルにご協力ください
- 本製品の所有者が個人の場合、当社が使用済製品の回収を行うときは有償となることがあります。詳細は、下記のホームページで紹介している窓口にお問い合わせください

URL : <http://121ware.com/support/recyclese/>

- 本製品の所有者が事業者の場合、当社が使用済製品の回収を行うときは有償になります。詳細は、下記のホームページで紹介している窓口にお問い合わせください

URL : <http://jpn.nec.com/eco/ja/product/recycle/>

なお、NEC グループの回収・リサイクルシステムに関する詳細については、下記のホームページをご覧ください

URL : <http://jpn.nec.com/eco/ja/>



チェック

- 添付されたマニュアルに記載されている方法以外で機器を改造された場合、その機器を引き取ることができない場合がありますので、ご注意ください。
- 一度内蔵フラッシュメモリに記憶されたデータは、「ごみ箱」から削除したり内蔵フラッシュメモリをフォーマットしたりしても、復元できる場合があります。詳しくは、以下をご覧ください。
 - [パソコンの廃棄・譲渡時の内蔵フラッシュメモリ上のデータ消去に関するご注意. 380](#)

パソコンの廃棄・譲渡時の内蔵フラッシュメモリ上のデータ消去に関するご注意

[120400-08]

本内容は、JEITAが案内する「パソコンの廃棄・譲渡時のハードディスク上のデータ消去に関するご注意」の趣旨に添った内容で記載しています。詳しくは以下のWebサイトをご覧ください。

http://home.jeita.or.jp/page_file/20110511155520_8vAEy2Fi5d.pdf

パソコンを使っていくと、内蔵フラッシュメモリにお客様が作成、使用した重要なデータが記録されていきます。そのため、本機を譲渡または廃棄するときに、これらの重要なデータ内容を消去することが必要となります。ところが、内蔵フラッシュメモリ内に書き込まれたデータを消去するというのは、実はそれほど簡単なことではありません。

一般に「データを消去する」という場合、次の操作を指します。

- データを「ごみ箱」に捨てる
- 「削除」操作を行う
- 「ごみ箱を空にする」コマンドを使って消す
- ソフトで初期化（フォーマット）する
- 再セットアップを行い、工場出荷状態に戻す

これらの操作を行うと、パソコン内部では、内蔵フラッシュメモリ内に記録されたデータのファイル管理情報が変更され、データが見えなくなっているだけという状態になります。

つまり、データは一見消去されたように見えますが、WindowsなどのOSから、それらのデータを呼び出す処理ができなくなっただけで、本来のデータは内蔵フラッシュメモリ内に残っているのです。

データ回復のための特殊なソフトウェアを利用すれば、これらのデータを読み取ることが可能な場合があり、悪意のある人によって、本機の内蔵フラッシュメモリ内の重要なデータが読み取られ、予期しない用途に利用されるおそれがあります。

お客様が廃棄・譲渡等を行う際に、内蔵フラッシュメモリ上の重要なデータの流出トラブルを回避するために、内蔵フラッシュメモリに記録された全データをお客様の責任において消去することが非常に重要です。データを消去するためには、専用ソフトウェアまたはサービス（共に有償）を利用するか、内蔵フラッシュメモリを金づちなどで物理的に破壊して、読めなくすることを推奨します。

また、内蔵フラッシュメモリ上のソフトウェア（OS、アプリケーションソフトなど）を削除することなくパソコンを譲渡すると、ソフトウェアライセンス使用許諾契約に抵触する場合があります。詳しくは「[本製品の譲渡について \(P. 378\)](#)」をご覧ください。

なお、お手元に「再セットアップ用メディア」がある場合は、「再セットアップ用メディア」を利用して内蔵フラッシュメモリのデータを消去することができます。



参照

内蔵フラッシュメモリのデータ消去について
「[ハードディスクのデータ消去 \(P. 381\)](#)」

ハードディスクのデータ消去

[120600-28]

➤ データ消去について.....	381
➤ データを消去する.....	382

データ消去について

本機のハードディスクのデータを消去することができます。

ハードディスクに一度記録されたデータは、「ごみ箱」から削除したり、フォーマットしたりしても復元できる場合があります。

このメニューを選択すると、OS標準のハードディスクのフォーマット機能では消去できないハードディスク上のデータを消去し、復元ツールで復元されにくくします。

本機を譲渡、または廃棄する場合にご利用ください。

本機を譲渡、または廃棄する場合は、「[譲渡、廃棄について \(P. 377\)](#)」もあわせてご覧ください。



チェック

- **内蔵フラッシュメモリ搭載の本機でも使用することができます。**
- ハードディスクのデータ消去には「再セットアップ用メディア」が必要です。
- ハードディスクのデータ消去を実行する前にBIOSセットアップユーティリティの設定値を工場出荷時の状態に戻してください。
工場出荷時の設定値に戻す方法については、「システム設定」をご覧ください。
- ドライブの領域を変更すると、本機の使用状況により、処理に時間がかかる場合があります。



参照

- 「**再セットアップ用メディア**」について
『再セットアップガイド』
- **BIOSセットアップユーティリティ**について
「システム設定」の「[BIOSセットアップユーティリティについて \(P. 184\)](#)」

消去にかかる時間は、消去方式やハードディスクの容量、モデルによって異なります。

また、ハードディスクのデータ消去方式は次の3つの方式があります。

● **かんたんモード (1回消去)**

ハードディスク全体を「00」のデータで1回上書きします。

● **しっかりモード (3回消去)**

米国国防総省NSA規格準拠方式により、ハードディスクのデータ消去を行います。

ランダムデータ1、ランダムデータ2、「00」のデータの順に3回書き込みを行い、3回消去を行うことで、より確実に消去できます。ただし、3回書き込みを行うため、かんたんモードの3倍の時間がかかります。

● しっかりモードプラス（3回消去+検証）

米国国防総省DoD規格準拠方式により、ハードディスクのデータ消去を行います。

「00」、「FF」、「ランダムデータ」の順に3回書き込みを行い、最後に正常にランダムデータが書き込まれているかを検証します。3回消去を行うことで、より確実に消去できます。ただし、3回の書き込み後に検証を行うため、かんたんモードの4倍以上の時間がかかります。

なお、この方法でのハードディスクのデータ消去は、データの復元が完全にできなくなることを保証するものではありません。

データの復元が完全にできないことの証明が必要な場合は、NECフィールディング株式会社に有償のデータ消去を依頼してください。

NEC フィールディングホームページ

<http://www.fielding.co.jp/>

■ データを消去する



チェック

- 『はじめにお読みください』をご覧ください。周辺機器（デタッチャブルキーボードを除く）を取り外してご購入時と同じ状態にしてください。
- ハードディスクのデータの消去は本マニュアルを表示しながら行うことはできません。印刷してご覧ください。

1

電源を入れ、すぐに電源スイッチと音量調整ボタン（+）を同時に押す

BIOSセットアップユーティリティが起動します。

2

BIOSセットアップユーティリティが表示されたら、「再セットアップ用メディア」をUSBコネクタに接続する

3

「F10 Save and Exit」をタップ

4

「Yes」をタップ

5

再起動後、すぐに電源スイッチと音量調整ボタン（+）を同時に押す

BIOSセットアップユーティリティが起動します。

6

「Startup」から「Boot」を選択し、「USB Drive」を一番上にする



メモ

「USB Drive」をタップして選択してから、「USB Drive」が一番上に移動するまで「+/- Change Values」をタップします。

- 7 「F10 Save and Exit」をタップ
- 8 「Yes」が選択されていることを確認して「Yes」をタップ
- 9 「Windows 再セットアップ」画面が表示されたら、「ハードディスクのデータを消去する」をタップ
- 10 「ハードディスクのデータを消去します。よろしいですか？」と表示されたら、「はい」をタップ
- 11 データを消去するハードディスクを選択し、「次へ」ボタンをタップ
- 12 データの消去方式を選択して、「実行」ボタンをタップ
 -  **チェック**
ドライブの領域を変更した場合には、本機の使用状況により、時間がかかる場合があります。
- 13 「ハードディスクのデータ消去を開始しますか？」と表示されたら、「はい」ボタンをタップ
 -  **チェック**
データ消去が中断された場合は、「再セットアップ用メディア」をUSBコネクタに接続したまま、電源を入れてください。自動的に、前回の続きからデータ消去が開始されます。
- 14 「ハードディスクのデータ消去が完了しました。」と表示されたら、「OK」ボタンをタップ
- 15 USBコネクタから「再セットアップ用メディア」を取り外し、「シャットダウン」をタップ

以上でハードディスクのデータ消去は終了です。

仕様一覧など（タイプ別仕様詳細）

[130000-00]

▶ 仕様一覧など（タイプ別仕様詳細）	385
--------------------------	-----

仕様一覧など（タイプ別仕様詳細）

[130100-00]

本機に関する次の情報については、タイプ別仕様詳細に記載しております。

- 仕様一覧



メモ

タイプ別仕様詳細をご覧になるには、インターネットへの接続環境が必要です。

タイプ別仕様詳細は、下記のリンクからご覧ください。

<http://121ware.com/e-manual/m/nx/ac/201405/bios/v1/mst/index.html>

活用ガイド

タイプVT

第2版 2016年3月

©NEC Personal Computers, Ltd. 2016

NECパーソナルコンピュータ株式会社の許可なく複製、改変などを行うことはできません。
